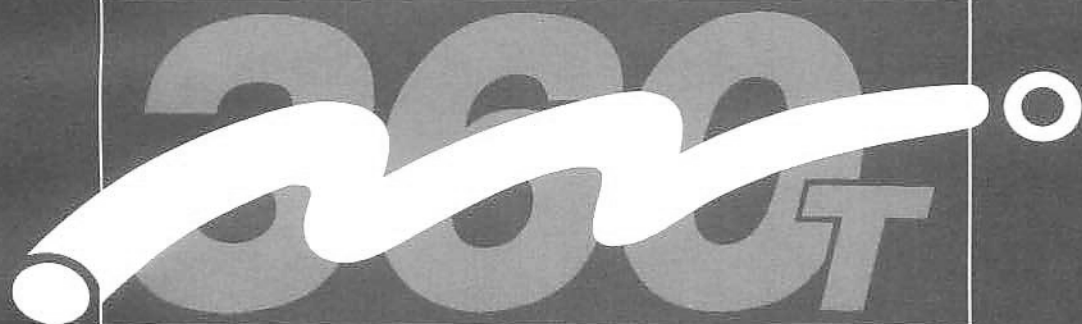


MAX®

マックス テープワープロ

LM-360T **レゾナイン**



取扱説明書

- ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
- この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
- 本書の内容を無断で転載する事は禁じられています。
- 本書の内容に関して、予告なしに変更することがあります。

このたびは、マックステープワープロLM-360Tレタツインをご購入いただき、誠にありがとうございました。

本機はワープロの操作で簡単に電気設備の端子銘板ラベルの作成、マーキングチューブの作成が1台でできるよう、強力で便利な機能が豊富に搭載されています。もちろん、通常のテープワープロとしてお使いいただくうえでも本格派タイプのラベルが作成いただけます。

お客様のお仕事の効率アップときれいなラベル作成のお役にたてますよう、本書をいつもお近くにおいてご愛用いただくために、当取扱説明書にしたがって、お取り扱い頂きますようお願い申し上げます。


ご使用上の注意


本機は住宅地又は隣接地域で使用する事を想定し、電波障害を防止する処置を行っています。しかし、本機をラジオ、テレビの受信機に近接して使用すると受信障害の原因になる事がありますので設置場所に注意してください。


ご使用上の注意


■ 表示について


この取扱説明書および商品は、本機を安全に正しくお使いいただくためにいろいろな表示を使用しています。その表示と意味は次のようになっています。

 **警告:** 取扱を誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。

 **注意:** 取扱を誤った場合、使用者が障害を負う危険性が想定され、絶対に行ってはいけないことや、物的損害のみの発生が想定され、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。また、作成したデータが消失する可能性があり、絶対に行ってはいけないことが書いてあります。


 **お願い** : 本体が故障し修理が必要になる事が想定される操作や、現状復帰するためにリセットなどの操作が必要になるので絶対に行ってはいけないことが書いてあります。


 **メモ** : 操作上のポイントおよび知っていると便利なことが書いてあります。


 **参照** : 説明のページが異なる場合に参照するところが書いてあります。

★ : 機能上の注意点について説明してあります。





■ 絵表示について

 記号は「気をつけるべきこと」を意味しています。













 記号は「してはいけないこと」を意味しています。この記号の中や近く表示は、具体的な禁止内容です。

 記号は「しなければいけないこと」を意味しています。この記号の中の表示は具体的な指示内容です。

⚠ 警告

-  ● 電源は直接コンセントからとり タコ足配線はしない てください。火災の原因になります。
-  ● 濡れた手で電源プラグを 抜き差ししない てください。感電のおそれがあります。
-  ● 故障のまま機械を 使わない てください。煙がでている、変な音やにおいがするなど、故障状態のまま使用すると 火災、感電 の原因になります。すぐに電源プラグを コンセントから抜いて 販売店に修理 をご依頼ください。
-  ● リチウム電池（ボタン型電池）はお子様の 手の届かないところに保管 してください。オプションのメモリーカードには、リチウム電池が使われています。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまった時は、すぐに医師の指示 を受けてください。

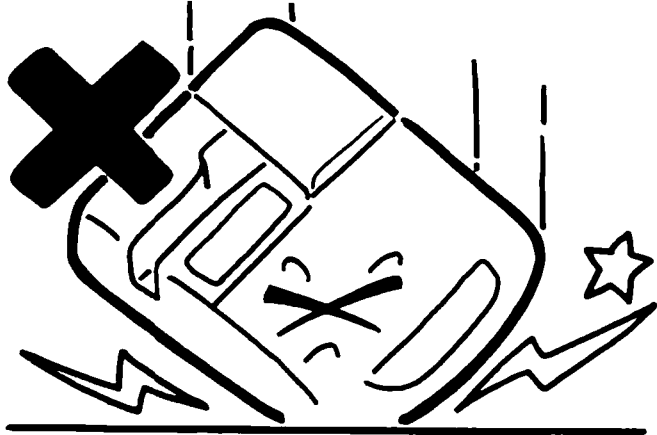
⚠ 注意

-  ● 内部メモリーに保存した内容は、永久的な 保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による 損害、ならびに逸失利益 については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。
-  ● 本機は絶対に 分解または改造しない てください。火災、感電、故障の原因になります。
-  ● 本機の内部に指、ペン、針金などの異物を 差し込まない てください。本機が故障したり、火災の原因になります。
-  ● 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で 使用しない てください。本機が故障したり、原因になります。
-  ● 水、薬品などが 機械にかからない ようにしてください。万一内部に水などが入った場合は、電源プラグをコンセントからすぐに抜いて販売店に修理 をご依頼下さい。そのまま使用すると本機が故障したり、火災、感電の原因になります。
-  ● 紙や布を本機の上に かぶせたり置いたりしない てください。火災や故障の原因になります。
-  ● 本体付属のACアダプタ以外のACアダプタで 使用しない てください。本機が故障したり、火災の原因になります。
-  ● アダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず 電源プラグを持って抜いて ください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
-  ● プリンタヘッドには絶対に さわらない てください。印刷直後のプリンタヘッドは高温になっており、やけどをする恐れがあります。また、手の汚れがプリンタヘッドの故障の原因になることがあります。
-  ● ハーフカッターの刃やハサミには絶対に 手を触れない てください。けがをする恐れがあります。
-  ● 本機の金属部には絶対に 手を触れない てください。けがをする恐れがあります。
-  ● 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ずアダプターを本機から抜いて下さい。また、アダプターを コンセントから抜いて ください。

ご使用上の注意

お願い 機械のトラブルを避け本機の故障を未然に防止するために、下記の事項を必ず守ってください。

- 本機は精密機械です。落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。



- テープカセットカバーをつかんで持ち上げないでください。カバーが落下することがあります。
- 寒い屋外から暖房のきいた室内に持ち込んだときなど、急激な温度変化により、本体内部が結露（けつろ）することがあります。このときは室内に30分以上放置して、露がとれたことを確かめてから使用してください。
- 次のような場所でのご使用や保管はおやめください。
 - ・直射日光の当たるところ
 - ・ほこりの多いところ
 - ・ストーブやスチームなどの近くなど、極端に温度や湿度の高いところ
ご使用の目安となる温度・湿度は、それぞれ10～35℃、20～80%です。
 - ・振動の多いところ
 - ・テレビやラジオ、ステレオなど強い磁界を発生するもののちかく
 - ・水滴のかかるところ
- 重いものや水の入ったものを、本体の上のにせないでください。

- テープをテープカセットから引き出さないでください。
- テープ出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。
- テープ出口からテープを絶対に引っ張らないでください。



- テープ出口をふさいだり、ものを入れたりしないでください。
- 印字品質を確保するため、長時間連続でのプリントはおやめください。
- お手入れの際、シンナーやベンジンなどは使用しないでください。ケースの変形や変色の原因となります。
- 長時間使用しないときは、電池を抜いてから保管してください。電池が液漏れして故障の原因となることがあります。なお、電池を抜くと、本体内部に保存されているファイルなどはすべて消えますのでご了承ください。
- 保管するときや輸送するときは、テープカセットやオプションカートリッジを抜き、ご購入の梱包箱をお使いください。

目次

1. お使いになる前に

ご購入後、一番最初に読んでいただきたい事で、各付属品やそのセットの仕方を説明しています。

1. 1	レタツインLM360Tの特長	-----	9
1. 2	付属品の確認	-----	10
1. 3	ご使用前の準備		
	1. 3. 1	主な各部の名称	----- 11
	1. 3. 2	乾電池の入れ方	----- 12
	1. 3. 3	ACアダプタの使い方	----- 13
	1. 3. 4	カセットの入れ方	----- 14 ~ 15

2. 基本操作

本機各部の名称とその役割・動作のさせ方について記述しています。
操作になれてきますと、「2. 4. 2 **機能** キー早見表」と
「2. 6 機能の概略」だけでも、本機はお使いになれます。

2. 1	電源のON/OFF	-----	17 ~ 18
2. 2	テープ送りの仕方	-----	19
2. 3	印刷と切り離し	-----	20
2. 4	キー入力の仕方		
	2. 4. 1	主に使うキー	----- 21 ~ 22
	2. 4. 2	機能 キー 早見表	----- 23 ~ 25
2. 5	ディスプレイの見方	-----	26
2. 6	機能の概略	-----	27 ~ 29

3. 文字の入力の仕方

LM360Tでの文字の入力の仕方について説明しています。
漢字や促音、記号、特殊な文字の入力の仕方はここをご覧ください。

3. 1 入力方法を選ぶ	3. 1. 1 選べる入力方法	31 ~ 32
	3. 1. 2 ひらがなを入力する	33 ~ 34
	3. 1. 3 カタカナを入力する	35
	3. 1. 4 英数字を入力する	36
	3. 1. 5 記号を入力する	37
	3. 1. 6 アルファベット筆記体の入力	38
	3. 1. 7 6と6、6、6切換え	39
3. 2 漢字を入力する	3. 2. 1 熟語の漢字変換	40
	3. 2. 2 漢字1文字の変換(単漢字変換)	41
	3. 2. 3 JISコードによる漢字の入力	42
	3. 2. 4 読みの短縮と伸ばし	43 ~ 44
3. 3 入力した文字の編集	3. 3. 1 カーソルの移動	45
	3. 3. 2 入力した文章を消す	46
	3. 3. 3 文字の挿入	47

4. 印刷する文字の大きさを変える

LM360Tは文字の高さ、幅が1文字単位で設定できます。
また、文字の間隔は入力文書一括で設定ができます。
端子銘板、チューブへの印刷では「自動サイズ設定」がありますので手動でこれらを設定する必要はほとんどありませんが、よりきめ細かい設定が必要な時は、こちらを参照下さい。

4. 1 文字の高さを変える	49 ~ 50
4. 1. 1 文字の高さを設定する	51
4. 1. 2 1文字の高さを変える	52
4. 1. 3 1行を一括で変更する	53
4. 2 文字の幅を変える(半角・倍角に変える)	54 ~ 55
4. 2. 1 文字の幅を設定する	56
4. 2. 2 1文字の幅を変える	57
4. 2. 3 1行を一括で変更する	58
4. 3 文字の間隔を変える	59
4. 3. 1 文字の間隔を変える	60
4. 3. 2 文字幅を固定して桁合わせ	61

5. 端子銘板のラベルを印刷する

端子銘板用のラベルは、LM360Tの大きな特徴のピッチ印刷機能を使って簡単に作れます。縦ピッチ印刷、仕切り線の印刷、2行印字、ピッチの複写・貼付、自動サイズ設定、ピッチ長補正等、豊富な機能を使いこなす為の項目です。また、連番は端子銘板に充分適応できるように作られていますので 7. 連番の印刷について もご覧いただいでご利用ください。

5. 1	ピッチ印刷	5. 1. 1	ピッチ印刷とは	63 ~ 64
		5. 1. 2	ピッチマークとピッチ長の入力	65 ~ 69
		5. 1. 3	ピッチ長の変更	70
5. 2	①,②,③,④の意味と使い方			71 ~ 72
5. 3	縦・横の設定			73 ~ 74
5. 4	ピッチのカット、仕切り線の設定			75
5. 5	印刷をする	5. 5. 1	文字の自動サイズ設定	76 ~ 78
		5. 5. 2	文字の配置	79 ~ 80
		5. 5. 3	1 mを越える印刷の時は	81
5. 6	マークの削除	5. 6. 1	ピッチ印刷をやめる	82
		5. 6. 2	文中のピッチマークの削除	83
		5. 6. 3	改行マークの削除と挿入	84
5. 7	ピッチ長の補正機能			85 ~ 86
5. 8	入力内容の複写、貼り付け			87

6. チューブに印刷する

LM360Tの端子銘板ラベル作成機能以外のもう一つの特徴は、チューブアタッチメントを使っての一般チューブへの印刷です。

この項目は、他の説明を読まなくとも、ここだけをご覧頂いてもお分かりいただけるようになっていますが、チューブ印刷機能は「ピッチ印刷機能」を利用しておりますので、前項の5. 端子銘板のラベルを印刷する も合わせてご覧いただきますようお願いいたします。

6. 1 チューブアタッチメントのセット	89 ~ 90
6. 2 チューブ長の入力	91
6. 3 チューブの横書きとハーフカットの設定	92 ~ 93
6. 4 チューブのカット位置の指定	94
6. 5 印刷をする	95
6. 5. 1 文字の自動サイズ設定	95
6. 5. 2 印刷の開始・中断と 1 mを越える時の一時停止	96
6. 6 チューブ印刷をやめる	97
6. 7 入力内容の複写と貼り付け	98
6. 8 連番・連続機能との組み合わせ	99
6. 9 低温モードの利用	100
6. 10 6と9、bと6、1と1の区別について	101

7. 連番の印刷について

LM360Tの連番機能は端子銘板、チューブに使用いただけるように作られています。一度この機能を覚えていただければ、連番になっている文字列の入力を簡単に行うことができるようになります。

7. 1 連番印刷とは	-----	103 ~ 104
7. 2 入力の方法		
7. 2. 1 連番マークの入力	-----	105 ~ 106
7. 2. 2 連番マークの編集	-----	107 ~ 108
7. 2. 3 連番マークの削除	-----	109

8. その他の印刷の機能

この項に説明される機能は端子銘板、チューブ印刷ではあまり使われることのない機能ですが、通常のラベルを印刷する上では便利な機能です。

8. 1 連続印刷	-----	111 ~ 112
8. 2 設定した長さの印刷をする	-----	113
8. 3 印刷の左右の余白を決める	-----	114
8. 4 枠囲みを入れる	-----	115
8. 5 改行する	-----	116
8. 6 改ブロックする	-----	117

9. その他の機能

LM360Tの状態設定と、印刷する前にそのイメージを表示させる機能と熟語を記憶させ呼び出す為の機能の説明です。

9. 1	オートパワーオフの取消	-----	119
9. 2	キー音の取消	-----	120
9. 3	イメージ表示	-----	121
9. 4	語句登録		
	9. 4. 1	語句を登録する	----- 122~ 123
	9. 4. 2	登録してある語句を呼び出す	----- 124
	9. 4. 3	登録した語句を削除する	----- 125
	9. 4. 4	登録した語句をすべて削除する	----- 126

10. メモリーカード（別売品）の使い方

オプションのメモリーカードには、入力文書とその設定内容を記憶させることができます。

10. 1	メモリーカードの入れ方	-----	129
10. 2	メモリーカードの初期化の仕方	-----	130
10. 3	文書の登録	-----	131
10. 4	登録文書の呼び出し	-----	132
10. 5	登録文書の削除	-----	133
10. 6	メモリーカードの電池交換	-----	134

目次

11. 資料

LM360Tに搭載されている文字の一覧とLM360Tの仕様一覧です。

11.1	ローマ字入力表	137
11.2	記号一覧	138
11.3	漢字JISコード表	139 ~ 156
11.4	主な仕様	157

12. メンテナンス

キー入力したり、印刷中にLCD表示に表示されるエラーメッセージとその内容一覧と、消耗品のハーフカットユニットの交換方法の説明です。

12.1	エラーメッセージ一覧	158 ~ 159
12.2	ハーフカットユニットの交換	160

13.	消耗品・オプション品一覧	160
-----	--------------	-----

1. お使いになる前に

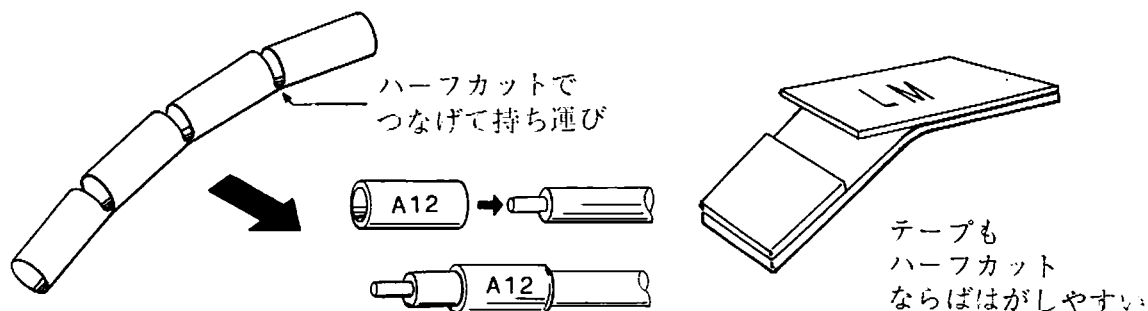
1. 1 レタツインLM-360Tの特長

- 1) 端子銘板のラベル作りに豊富な機能を持ち、しかもそれが簡単に操作できます。
- ・端子台の端子間ピッチに合わせて文字列を配置できるピッチ印刷ができます。
 - ・縦方向／横方向どちらのピッチ印刷も瞬時に切り替えられます。
 - ・ピッチ長の異なる端子台を組み合わせたラベルも1枚で作成できます。
 - ・入力された内容を見栄えのよい文字のサイズ、巾で印刷できるように「自動サイズ設定」機能があります。
 - ・指定のピッチ長の中央に自動配置されます。

横印刷	COM	COM	COM	N 24V	OUT GND	C21	C22	C23
-----	-----	-----	-----	----------	------------	-----	-----	-----

縦印刷	COM	COM	COM	N 24V	OUT GND	C21	C22	C23
-----	-----	-----	-----	----------	------------	-----	-----	-----

- 2) 出張修理時に便利なチューブカセット以外に、量産時に低コストのマックスチューブまたは一般のマーキングチューブにも文字印刷ができます。
- ・チューブアタッチメントをセットすることで、マックスチューブ(Φ3.2、3.6、4.2、5.2)と一般チューブ(Φ3.2、3.6)に端子名等を印刷できます。
 - ・ハーフカットはチューブに対して切り残しを作りますので、バラけずに持ち運ぶことができます。(テープのときも台紙を残してハーフカットしますのでバラバラにならずに、また台紙からはがしやすくなります。)



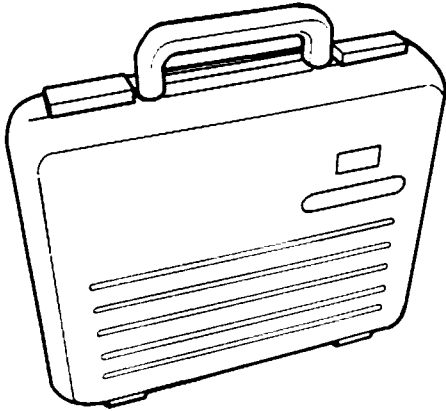
- 3) 枚数指定の連続印刷、アルファベットもできる連番印刷。
- ・両端で同じ印刷のチューブをつくりたいければ2枚、同じ名称の端子名ラベルをつくりたいければその枚数分を指定するだけで行えます。
 - ・8進、10進、16進、アルファベットの連番がスタート／エンドを指定して行えます。番号順の端子名が一回の指定でつくれます。
 - ・自由に桁を増加も減少もできます。

1. 2 付属品の確認

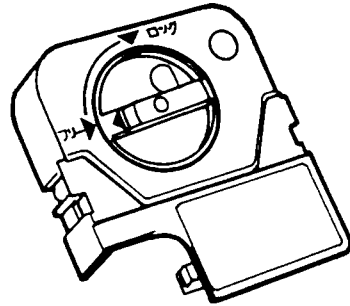
お買い上げのLM-360Tには、以下の付属品が入っています。

ご使用前に確認してください。

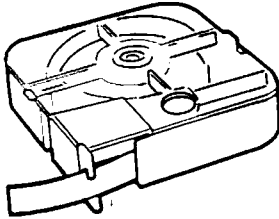
1
お使いになる前に



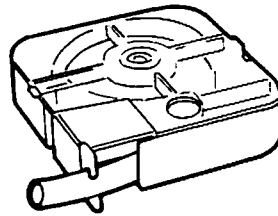
キャリングケース



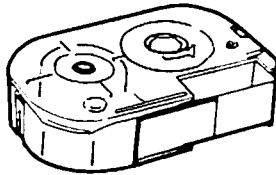
チューブアタッチメント



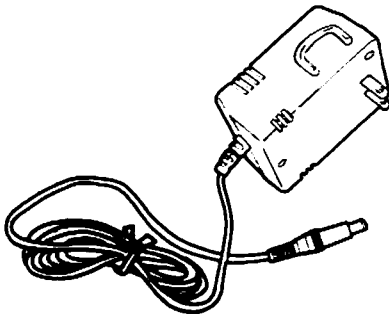
テープカセット（白色テープ）
5、9mm幅 各1巻



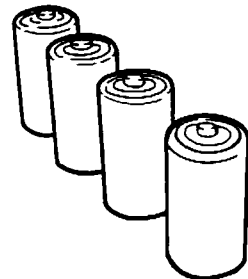
チューブカセット
内径3.2、3.6mm 各1巻



インクリボンカセット（黒色） 1巻



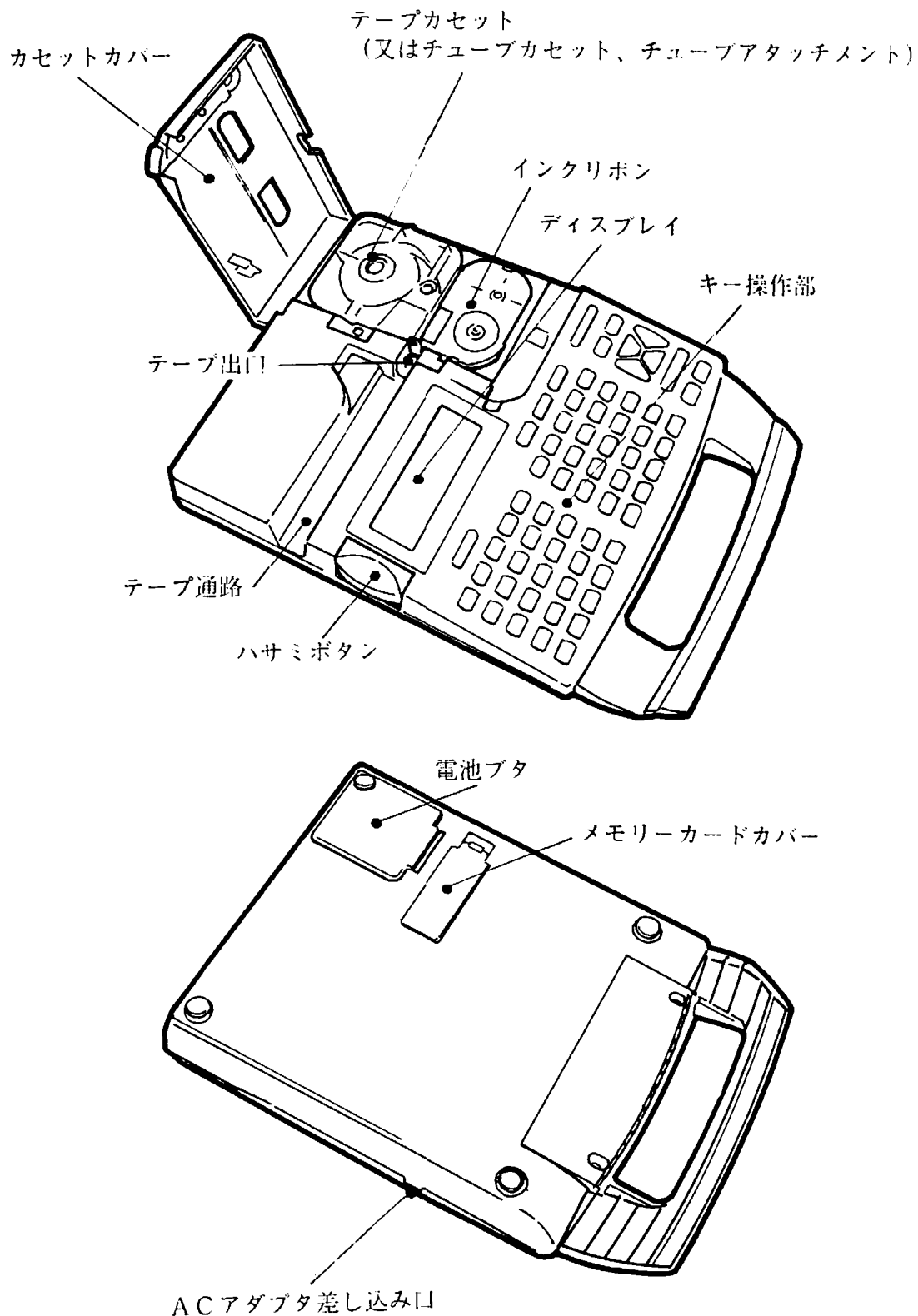
ACアダプタ



単2アルカリ乾電池
（4本）

1. 3 ご使用前の準備

1. 3. 1 主な各部の名称



1. 3 ご使用前の準備

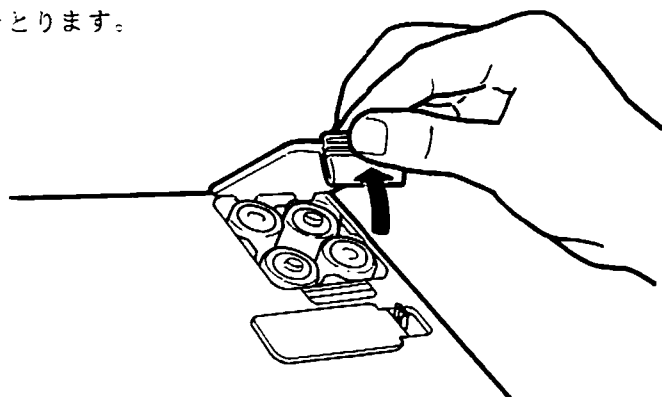
1. 3. 2 乾電池の入れかた

「!電池交換」の表示がでましたら、お早めに電池交換をしてください。電池の交換時は本体内のメモリー内容が消えないように、古い乾電池をはずしてから新しい乾電池をいれるまで約5分以内に交換してください。

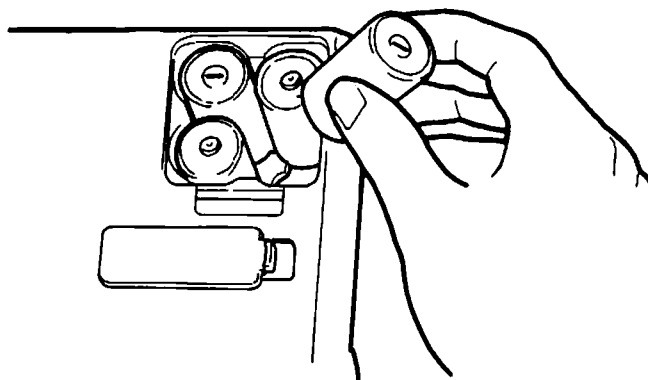
1

お使になる前に

1. 電池フタをとります。



2. アルカリ単2乾電池4本を図の向きにセットします。



お願い 必ず図のようにセットしてください。故障の原因になります。

お願い

乾電池は、必ずアルカリ単2乾電池をご使用ください。マンガン乾電池等では正しく作動しないことがあります。

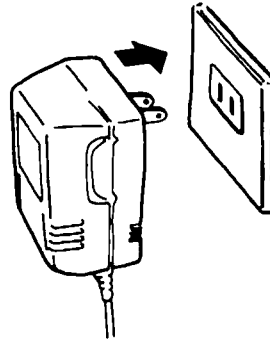
メモ

機能設定の内容や語句登録の内容、画面上の文書等、本体のメモリーは乾電池でバックアップされています。乾電池で印刷する時以外でも、乾電池をセットしておくことをおすすめします。

1. 3 ご使用前の準備

1. 3. 3 ACアダプタの使い方

1. ACアダプタのプラグを家庭用コンセント（100V）に差し込みます。

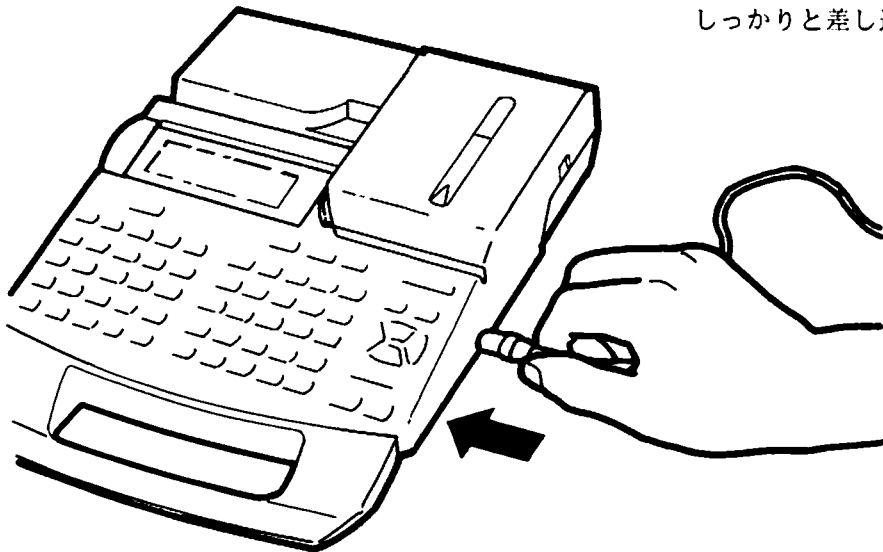


⚠ 注意

- 本体付属のACアダプタ以外のACアダプタで 使用しない ください。本機が故障したり、火災の原因になります。
- アダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らずに必ず 電源プラグを持って抜いて ください。コードが破損して火災や感電の原因になります。
- 表示された電源電圧（AC100V）以外の電圧で 使用しない ください。本機が故障したり、原因になります。

2. ACアダプタのジャックをLM360Tの右側の差し込み口に

しっかりと差し込みます。



⚠ 注意

- 連休等で長期間ご使用にならないときは、安全のために必ずアダプターを本から抜いて下さい。また、アダプターを コンセントから抜いて ください。

1. 3 ご使用前の準備

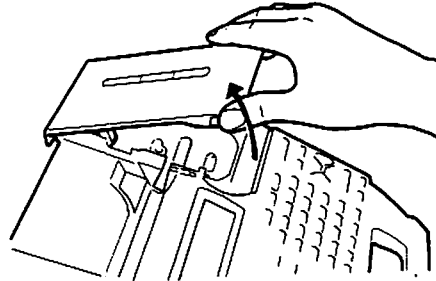
1
お使いになる前に

1. 3. 4 カセットの入れ方

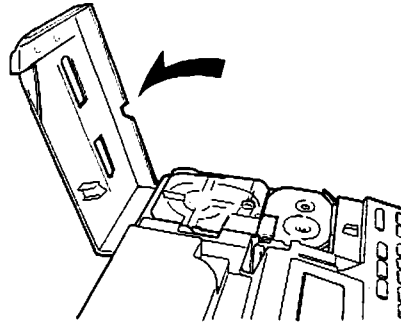
LM360Tのカセットはテープ/チューブカセットとインクリボンカセットが分離されており、各々別個に交換できます。

1) カセットカバーの開けかた

1. ロック解除ボタンを押しながら上へほぼ垂直になるまで開けてください。

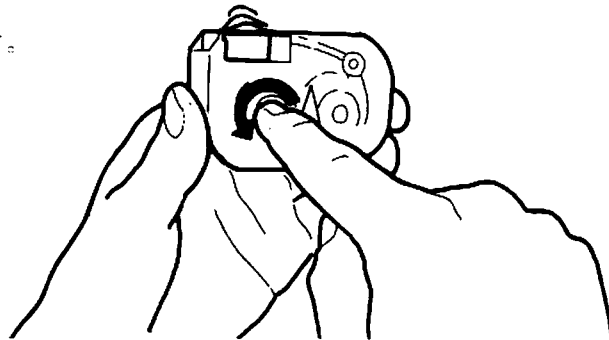


強い力でカバーを開けすぎますとカバーがはずれますが、故障ではありません。



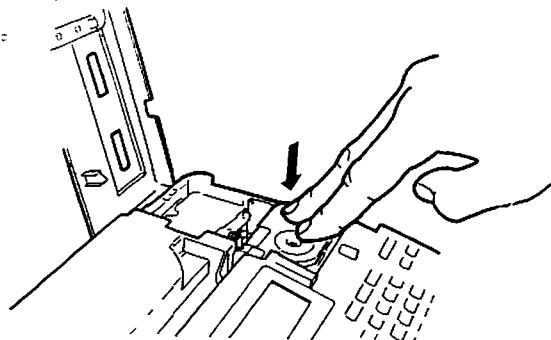
2) インクリボンの入れ方

1. リボンについている「まわり止め」の紙をとってください。
2. リボンのたるみをとります。



お願い リボンはLM-IR312BT、又はLM-IR312RTをご使用下さい。

3. LM360Tの真上から、下に突き当たるまで押ししてセットしてください。



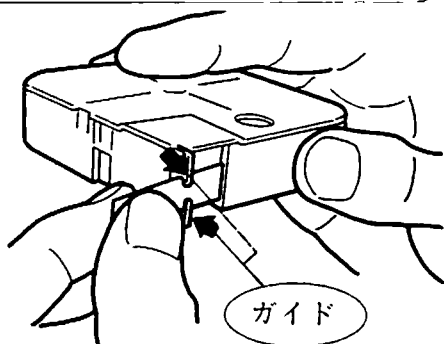
1. 3 ご使用前の準備

3) テープカセットおよびチューブカセットの入れかた

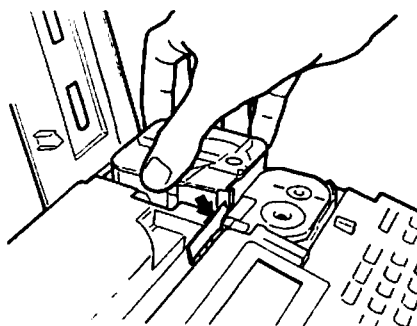


チューブアタッチメントのセットの仕方は 89 ページを参照して下さい。

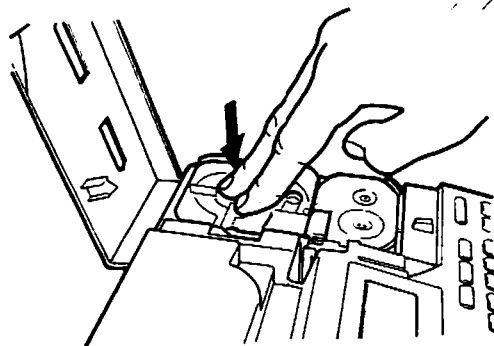
1. テープ (チューブ) がカセットのガイドからはずれていないことを確認してください。万が一はずれているときは、図のようにガイドに通してください。



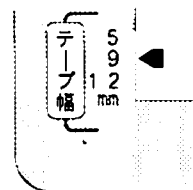
2. テープ (チューブ) を少し引出し、テープ出口の隙間にあわせませす。



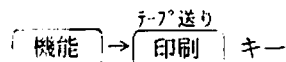
3. 真上から突き当たるまで押してセットします。



セットされているテープまたはチューブの幅に応じて表示のインジケータが点灯します。



リボンやテープを新しくセットしたとき、交換したときはを押して「テープ送り動作」をしてください。(詳しくは 14 ページを参照して下さい)

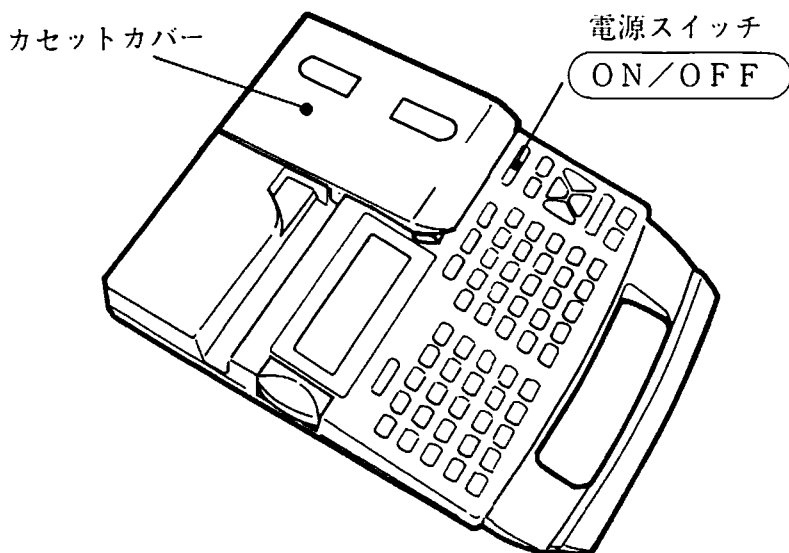


2. 基本操作

2. 1 電源のON/OFF

電源スイッチは、電源OFFの時に押すとONに、電源ONの時に押すとOFFになります。

カセットカバーを開けると電源はOFFになります。また、カセットカバーを閉じたままでは、電源スイッチを押しても電源ONになりません。



● オートパワーオフ ●

電源がONのまま約5分間何も操作されなかったときは、電池の消耗を防ぐ為に自動的に電源がOFFになります。



オートパワーOFFの解除方法は 119 ページを参照してください。



アダプタの接続と取り外し、メモリーカードの接続と取り外しは、電源OFFの状態で行ってください。

メモリーカードの電池交換の際は、電源ONの状態で行ってください。

● 電源OFFの時の入力文書、設定内容の保存 ●

乾電池がセットされている時は、パワーオフになっても確定された文字や機能設定の内容は保存されます。再度ONにした時に、保存されている元の内容が戻ります。

ただし、お買い求めになって最初に電源をONした時や保存した内容が消えてしまったときは、右の図のような画面表示になります。

全登録
メモリー 初期化

★ ACアダプタを使用している場合、パワーオフになった時に乾電池がセットされていないとメモリー内容は保存されません。入力した文字や設定内容、熟語登録内容を保存しておきたいときは、必ず乾電池をセットしておいてください。

乾電池がセットされていて、同時にACアダプタを使っているときは、LM360TはACアダプタからの電源で動作し、パワーをオフした時のメモリーのバックアップには乾電池が使用されます。

⚠ 注意



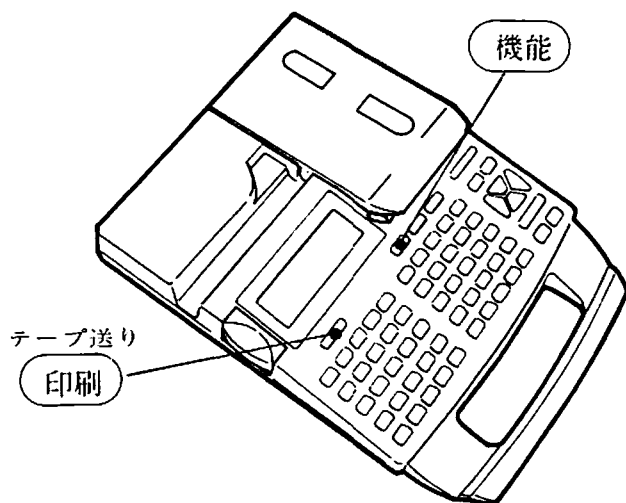
- 内部メモリーに保存した内容は、永久的な 保存はできません。電池消耗、故障、修理などに起因するデータ消失による損害、ならびに逸失利益については、責任を負いかねます。あらかじめご了承ください。

2. 2 テープ送りの仕方

テープ、チューブ、リボンカセットを交換したときや、チューブアタッチメントのご使用前には、それらのたるみをとるために、必ず「テープ送り」をしてください。

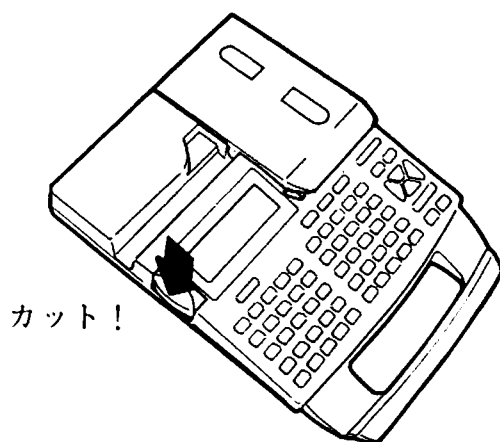
1. カセットカバーを閉めて、電源をONにしてください。

2. **機能** キーを押して **テープ送り** **印刷** キーを押します。



3. 自動的にテープまたはチューブが送り出されてきます。

送り出しがおわったら、ハサミボタンをグッと押して切ってください。



お願い テープの送り出し中はハサミボタンを押さないでください。
出口からテープまたはチューブを手で引っ張り出さないでください。

2. 3 印刷と切り離し

入力した文書を印刷するには、次のようにします。

2

基本操作

1. **印刷** キーを押します。



印刷の間は右の表示がされます。

印刷中 . . .

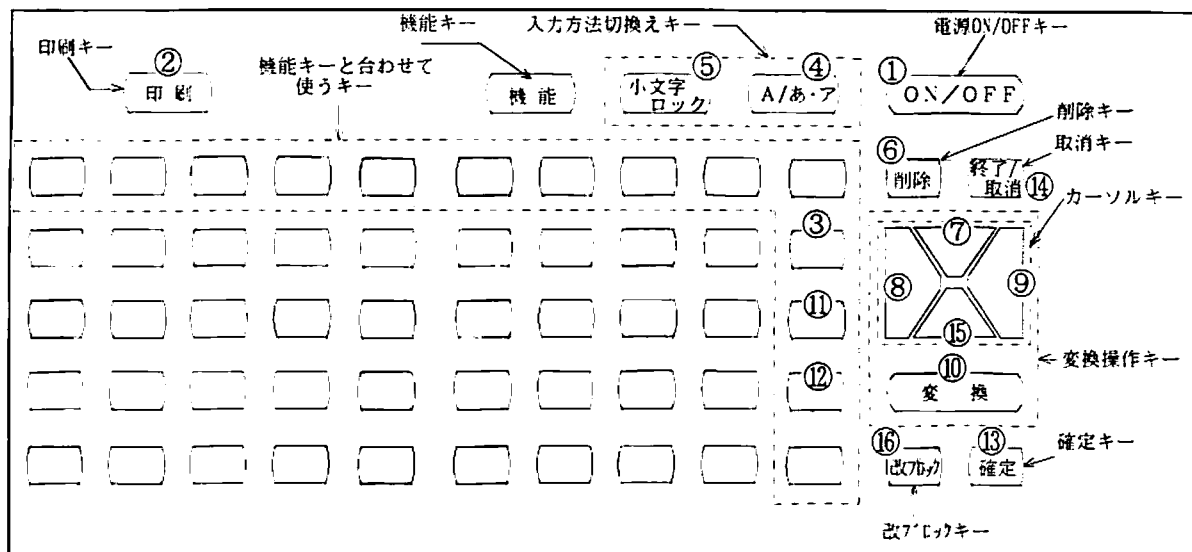
お願い 印刷中はハサミボタンを押さないでください。

2. 印刷されたテープ、チューブが出てきて、「印刷中 . . .」表示が消えたらハサミボタンを押して切ってください。



2. 4 キー入力の仕方

2. 4. 1 主に使うキー



電源のON/OFF

①

ON/OFF

電源をON/OFFします。

印刷に使うキー

②

テープ送り
印刷

入力した文章を印刷します。

機能

テープ送り
印刷

ハサミでカットできる位置までテープの空送りをします。

③

機能

イメージ
も

印刷される内容を画面に表示します。

文字の入力に使うキー

④

ローマ字/かな
A/あ・ア

英数字/ひらがな/カタカナの切り換えをします。

機能

ローマ字/かな
A/あ・ア

ローマ字入力とかな入力を選択します。

⑤

小文字
ロック

英字の小文字や「っやゆよ」等の促音を入力します。

文字・文書を削除する

- ⑥ 削除
- 機能 → 削除 全文削除
- ⑦ 機能 → 文字復活
前候補 文字復活

入力した文字を1字ずつ消します。

入力した文書を一度に消します。

直前に削除された1文字を戻します。

カーソルの移動に使うキー

- ⑧ 読み短縮 読み伸し
- ⑨ 機能 → 読み短縮
- 機能 → 読み伸し

確定文書内のカーソルを左右にうごかします。

確定文書内の文頭にカーソルをうごかします。

確定文書内の文末にカーソルをうごかします。

漢字変換に使うキー

- ⑩ 単漢字
変換
- 機能 → 単漢字
変換
- ⑪ 機能 → 漢JIS
!...
_...
~...
- ⑫ 機能 → 記号
? ろ
- ⑬ 確定
- ⑭ 終了/
取消
- ⑮ 文字復活
前候補 次候補
- 読み短縮 読み伸し

漢字の熟語変換をします。

漢字の単漢字変換をします。

JISコード入力をします。

記号をよびだします。

変換した漢字を確定し確定文書に入れます。
(機能の設定時にも確定キーとして使います)

変換表示した漢字をひらがなにもどします。
印字中に押すと、印字を中止します。

変換候補の選択を戻したり進めたりします。

変換するひらがなの範囲を伸び縮みさせます。

改行に使用するキー

- ⑯ 改行
改行
- 機能 → 改行
改行

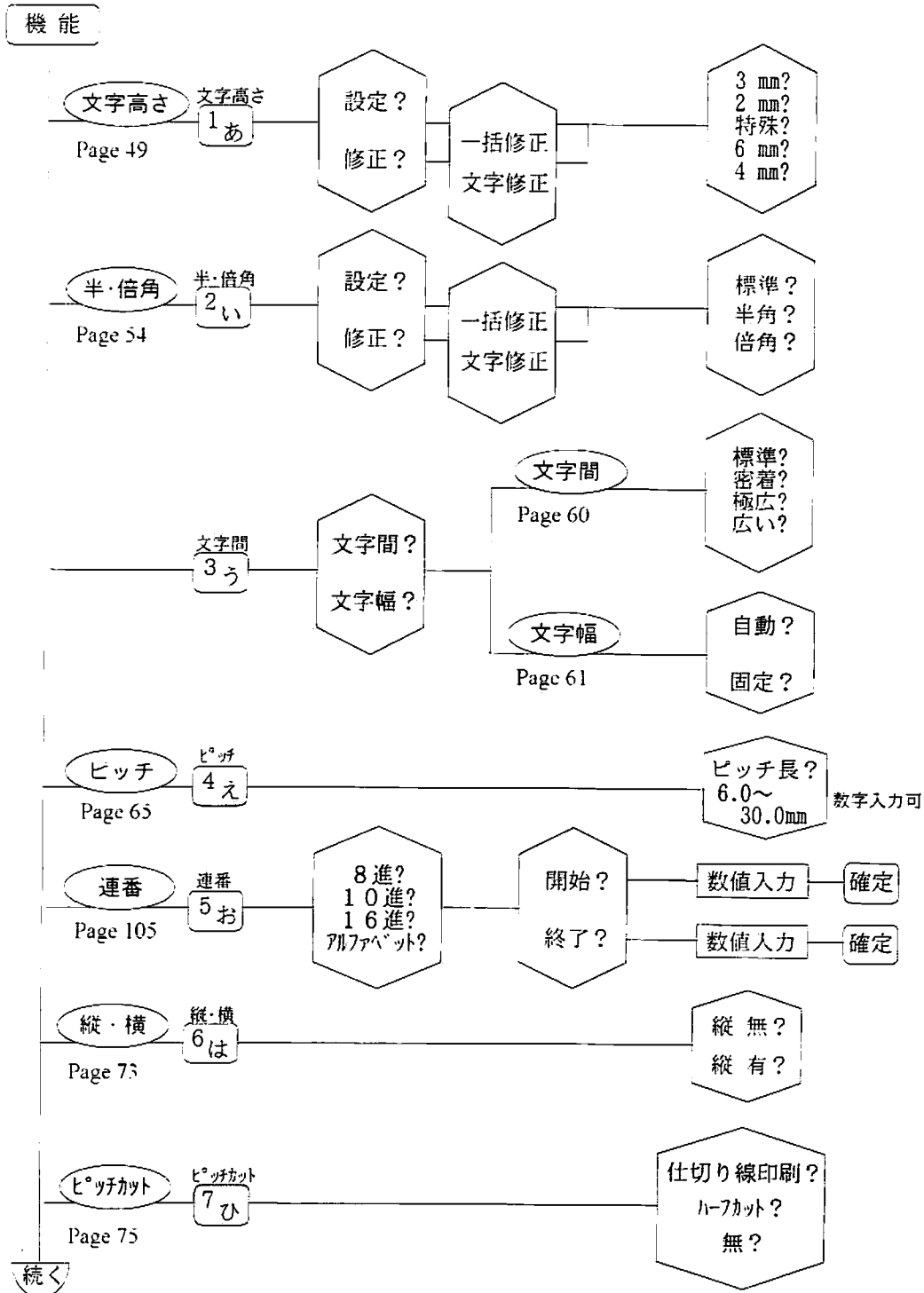
改ブロックマークの ① の入力をします。

改行マークの ②③④ の入力をします。

2. 4 キー入力の仕方

2. 4. 2 機能 キー 早見表

キーの上に印刷されている機能は **機能** キーを押した後にそのキーを押すことでたります。



2. 4 キー入力の仕方

2

基本操作

続く

連続
8 連続
ふ

Page 111

枚数?

数字入力可

カット有り?
カット無し?

複写
I 複写
む

Page 87

貼付
O 貼付
め

Page 87

マージン
9 上

印字長?

印字長

Page 113

自動?

10~300mm?

数字入力可

左マージン?

左マージン

Page 114

長さ?

2~30mm

数字入力可

右マージン?

右マージン

Page 114

長さ?

2~30mm

数字入力可

枠囲み?

枠囲み

Page 115

枠無し?

枠有り?

「6」印字?

「6、9」印字

Page 39

6、9?

6、9?

6、9?

低温モード?

低温モード

Page 100

有?

無?

キー音?

キー音

Page 120

キー音有り?

キー音無し?

パワーオフ?

パワーオフ

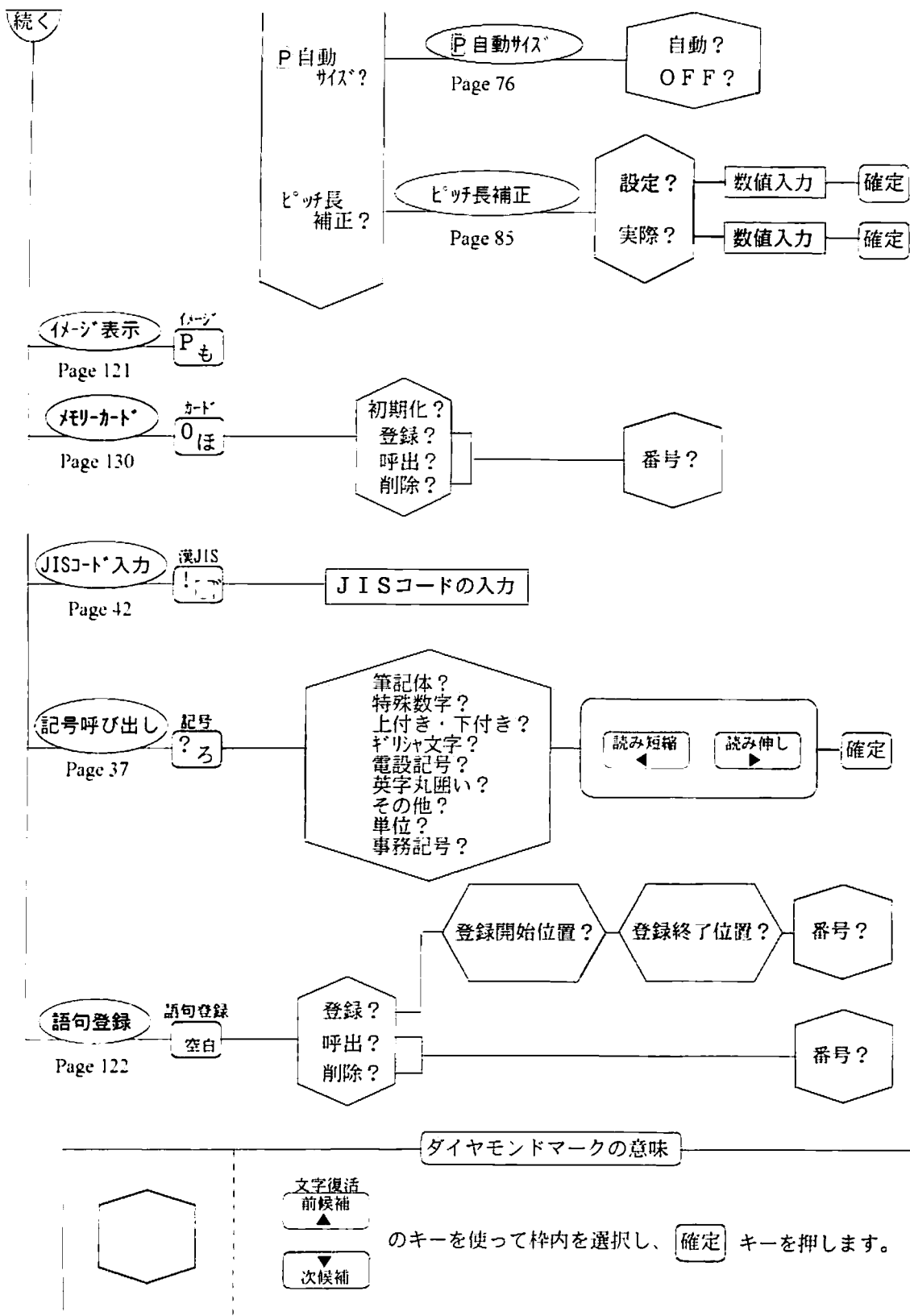
Page 119

オートパワーオフ有り?

オートパワーオフ無し?

続く

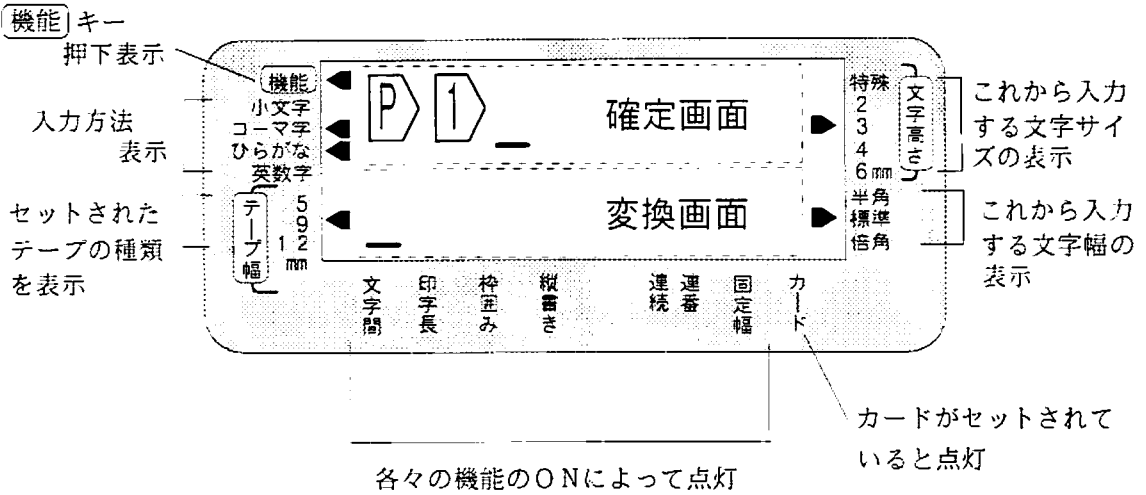
2.4 キー入力の仕方



2.5 ディスプレイの説明

2

基本操作



特殊な表示の説明

P

ピッチ長が設定されていることをしめします。確定文書に一度もこのマークが無いときに **機能** → ^{ピッチ}4え を押すと確定文書の先頭にこのマークが表示されます。先頭にすでにある場合は一番近い 1 のなりにこのマークがはいります。カーソルをこのマークの上にもってきて **機能** → ^{ピッチ}4え キーをおすとそのマークのピッチ長を修正できます。

1

1行目の文章であることをしめすと同時に、ピッチの区切りであることもあらわします。また、ピッチ印刷でないときは改ブロックをすることを示します。 ^{改行}改行か キーで入力できます。

2 3 4

2行目、3行目、4行目の文章であることを示します。

機能 → ^{改行}改行か キーで入力できます。

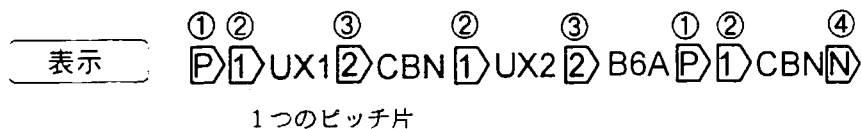
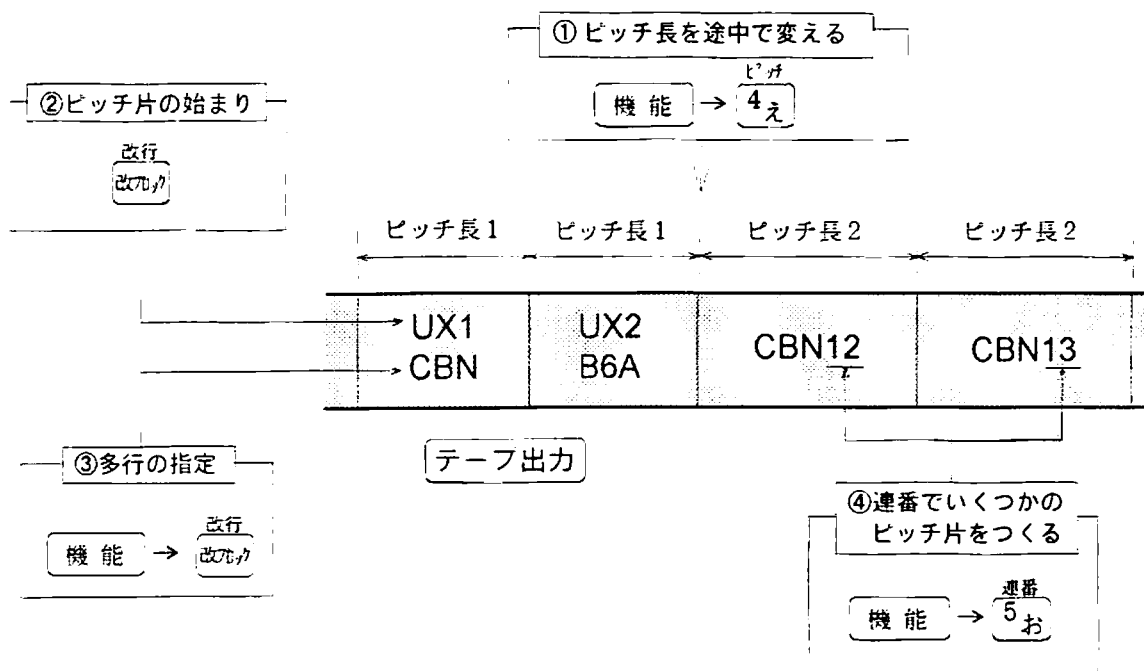
N

連番コードです。この表示がある位置に指定された連番種類（10進、8進、7進、16進等）と開始・終了値によって展開します。

機能 → ^{連番}5お で入力できます。

2. 6 機能の概略

1. ピッチ印刷の文書入力

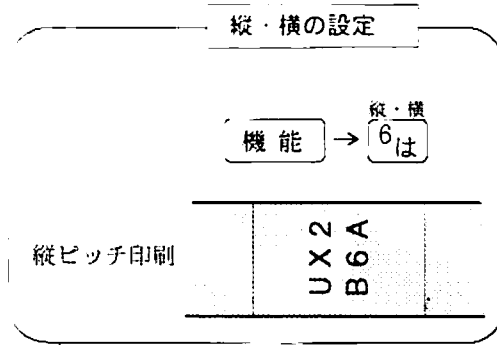


2. 6 機能の概略

2

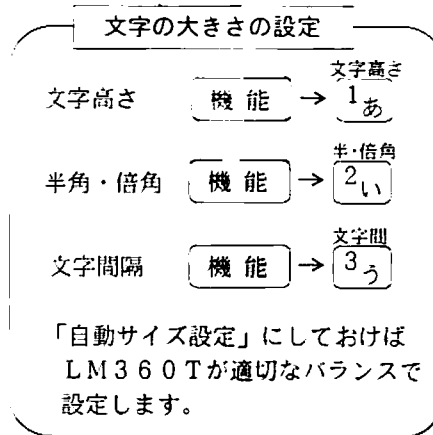
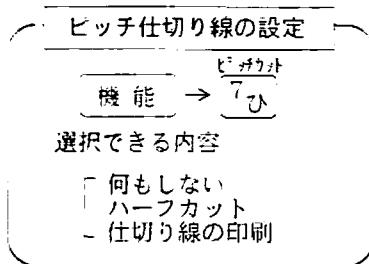
基本操作

2. ピッチ印刷の設定入力



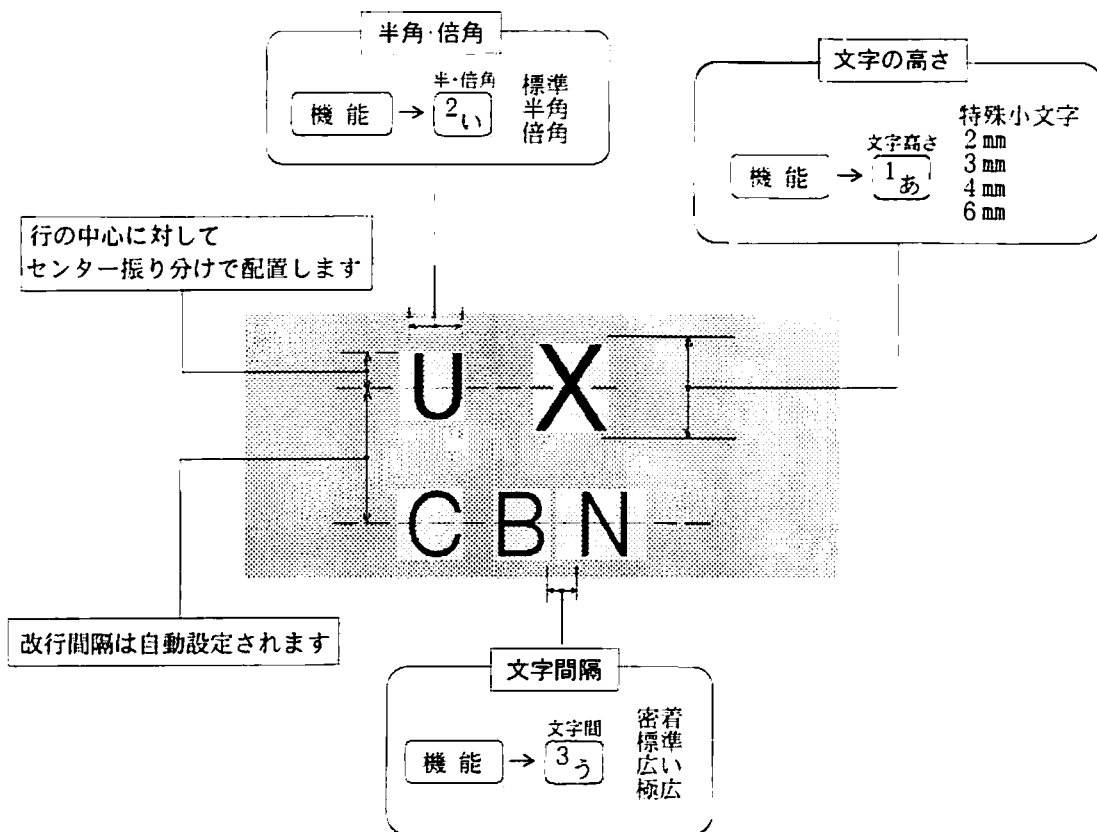
1ピッチ内はそのピッチ長で
センタリングされます

	UX1 CBN	UX2 B6A	CBN12	CBN13	
--	------------	------------	-------	-------	--



2. 6 機能の概略

3. 文字の大きさの設定



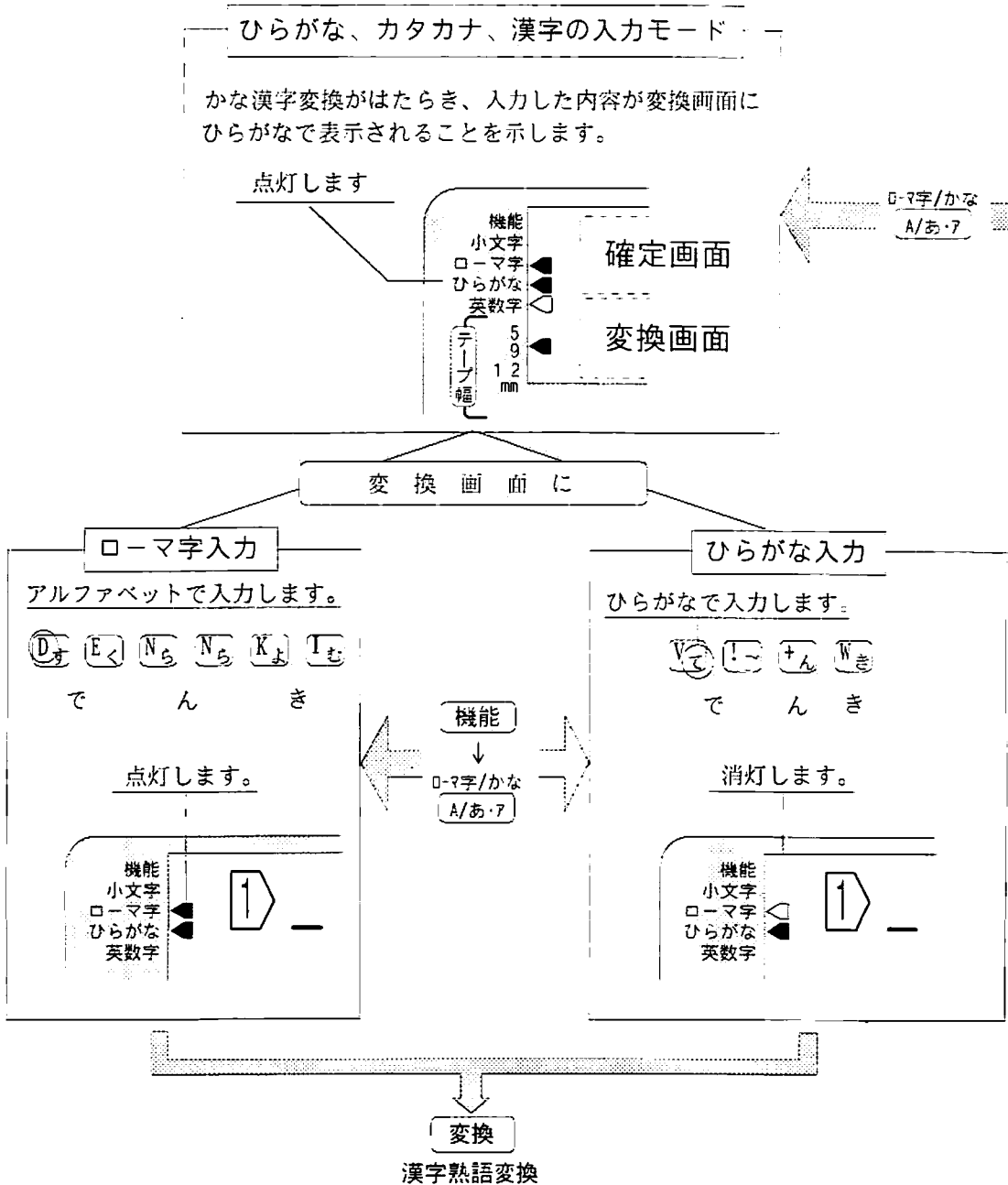
- ★ 文字高さ、文字幅は1文字ずつで設定ができます。ただし、特殊小文字だけは他の高さの文字と混在することができません。
- ★ 特殊小文字は半角・倍角にはできません。設定しても全角で印刷されます。

3. 文字の入力の仕方

3. 1 入力方法を選ぶ

3. 1. 1 選べる入力方法

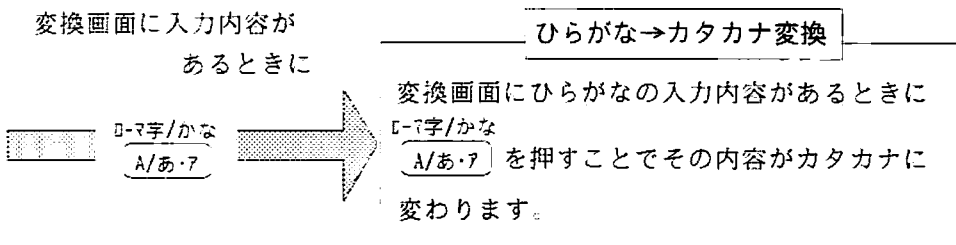
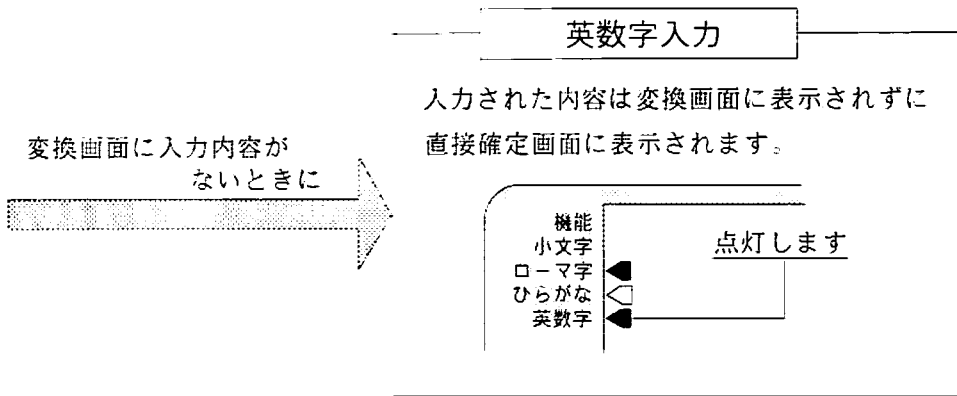
ご購入直後は、ひらがなや漢字などが「ローマ字」入力できるようになっています。日本語入力
は、他に「ひらがな」入力を選ぶことができ、この切換えは **機能** ^{ローマ字/かな} **A/あ・?** キーでおこな
います。



3. 1 入力方法を選ぶ

3

文字の入力の仕方



参 照 ローマ字入力では小さい「つ」の入力などは 資料 11. 1 ローマ字入力表を参照して下さい。また、ひらがな入力での小さい「つ」などは **小文字** キーを押してから「つ」を押すことで入力できます。

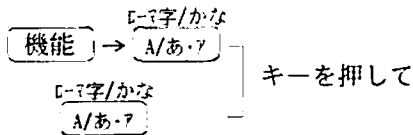
3. 1 入力方法を選ぶ

3. 1. 2 ひらがなを入力する

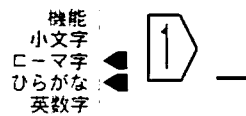
ひらがなを入力する方法を、「ローマ字入力」と「かな入力」のそれぞれで説明します。

例 「ローマ字入力」で「がってん」と入力してみます。

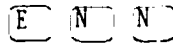
1. 表示のインジケータ ◀ が
右図のようになるように



ください。



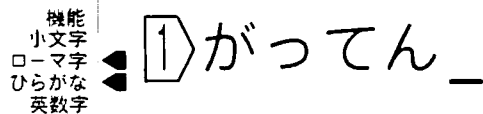
2. G A T T



とローマ字のつづりでキーを押
します。



3. **確定** キーを押すと入力された
ひらがなが確定画面に移ります。



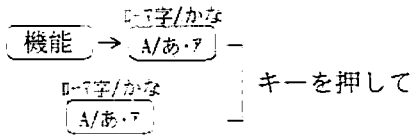
3. 1 入力方法を選ぶ

3

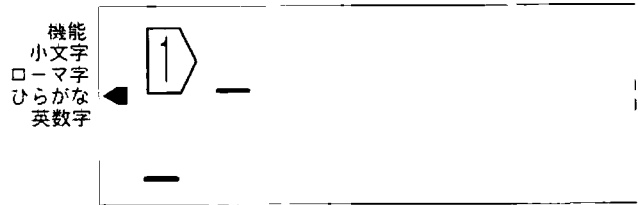
文字の入力の仕方

例 「ひらがな入力」で「がってん」と入力してみます。

1. 表示のインジケータ ← が
右図のようになるように



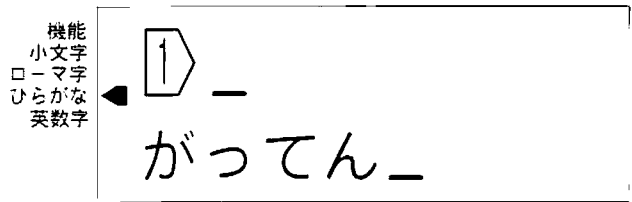
ください。



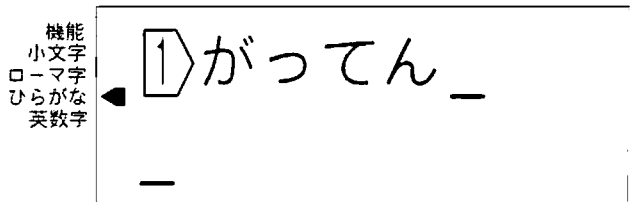
2. か こ 小文字 合 ッ っ 小文字 合 ッ っ

て ん と

小文字 の使い方に注意して入力
してください。



3. 確定 キーを押すと入力され
たひらがなが確定画面に移り
ます。



3. 1 入力方法を選ぶ

3. 1. 3 カタカナを入力する

「カタカナ」の入力は、いったん「ひらがな」で入力しておいて、^{ローマ字/かな}
A/あ・ア キーでカタカナに変換して入力します。

例 「あーす」と入力して「アース」になおします。

1. 「ローマ字入力」でも「ひらがな入力」でもかまいませんので「あーす」と入力します。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

1
あーす_

2. ^{ローマ字/かな}
A/あ・ア キーを押すと「ひらがな」で入力されていた変換画面の内容が「カタカナ」に変わります。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

1
アース_

3. 確定 キーを押すと変換されたカタカナが確定画面に移ります。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

1 アース_
_

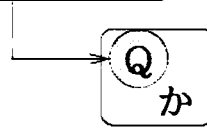
3. 1 入力方法を選ぶ

3

文字の入力の仕方

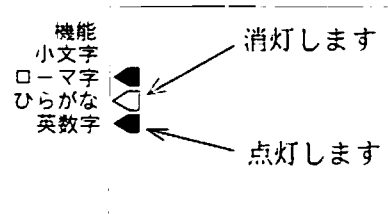
3. 1. 4 英数字を入力する

キーの上面に印刷されている数字やアルファベットを入力します。

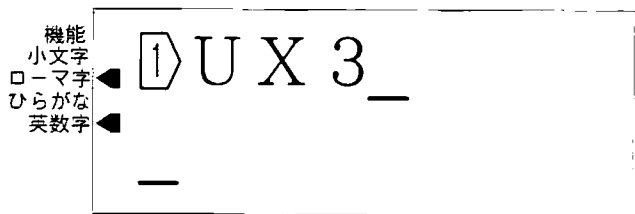


例 「英数字入力」で「UX3」と入力してみます。

1. ひらがな入力の時に A/あ・ア キーを押すと右図のインジケータ ◀ が点灯します。



2. U_み X_ち 3_じ と入力しますと変換表示されないで、そのまま確定画面に移ります。



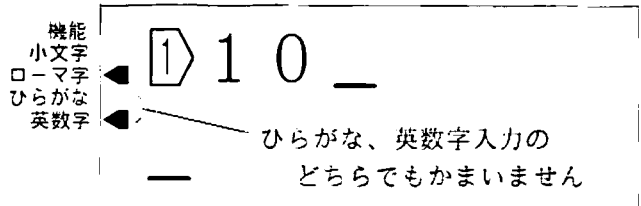
3. 1 入力方法を選ぶ

3. 1. 5 記号を入力する

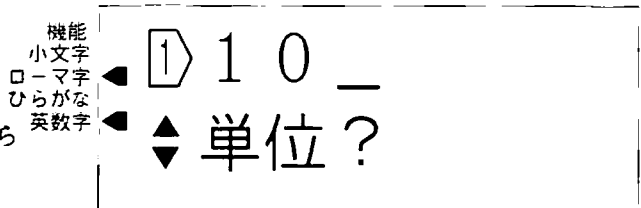
LM360Tには分類別に約270文字の記号が内蔵されています。

参 照 記号一覧が138ページにありますので参考にしてください。
また、巻末のJISコード一覧表を見て、JISコード入力
する(42ページ)こともできます。

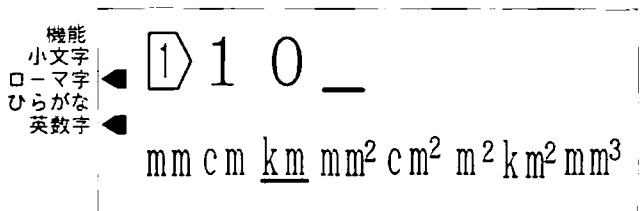
例 「記号入力」で「Km」と入力してみます。



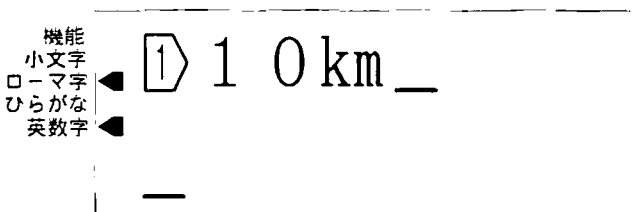
1. **機能** → **記号** を押すと記号の種類をきいてきます。
次候補 や **前候補** で選んだら
確定 を押してください。



2. 内蔵されている記号が表示されますので **読み出し** キーを押してkmを選んで **確定** を押してください。



3. km が確定画面に移ります。



3. 1 入力方法を選ぶ

3. 1. 6 アルファベット筆記体の入力

アルファベットの小文字 a~z までを筆記体 a~z で印刷する方法です。

例 「ℓ」を入力します。

1. **機能** → **記号** を押すと記号の種類をきいてきます。「筆記体？」の表示で **確定** を押してください。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① X 1 _
◆ 筆記体 ?

2. 小文字の筆記体が表示されます。この中には「ℓ」がありませんので **次候補** を押して次を表示させます。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① X 1 _
a b c d e f g h

3. **読み出し** キーを押してカーソルを「ℓ」の位置まで移動し **確定** を押します。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① X 1 _
i j k l m n o p

4. 「ℓ」が確定画面に移ります。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① X 1 ℓ _
_



3

文字の入力の仕方

3. 1 入力方法を選ぶ



3. 1. 7 6と 6、6. の切換え

チューブの6、9の数字は区別しづらいことがありますが、LM360Tでは6、9の下にアンダーバーや点を付けて容易に判別することができます。

1.  →  を押すと右の画面に変わります。

オプション

◆ 印字長？

2.  キーを押して右の選択画面にし、 キーを押します。



オプション

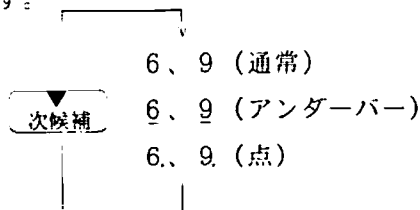
◆ 6、9 印字？

3. 通常の「6、9」が表示されます。

6、9 印字

◆ 6、9

4.  キーを押してアンダーバーか点を選択して  キーを押します。



6、9 印字

◆ 6.、9.

以後、数字キー6、9を入力すると、文書表示や印刷される数字の下に点（アンダーバーが選択されたならアンダーバー）が入ります。



- 既に入力された6、9も、これから入力される6、9にもアンダーバーや点がつきます。逆に通常の6、9が選択された場合も同様に、全てが通常の6、9になります。
- 連番中の6、9も設定に従います。

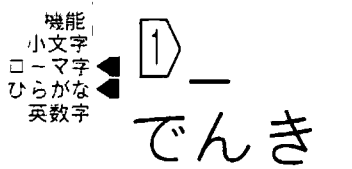
3. 2 漢字を入力する

3. 2. 1 熟語の漢字変換

ひらがなを漢字へ変換して入力する方法です。例の順序に従ってキーを押してください

例 「熟語変換」で「電器」と入力してみます。

1. ローマ字入力で
D E N N K I
ひらがな入力で
でんき



2. 変換 キーを押すと熟語の候補が表示されます。



3. つづけて 変換 キーを押すと次の候補が表示されます。「電器」が表示されるまで 変換 キーを押します。



もし、欲しい候補を行き過ぎたときは 前候補 キーでもとに戻ることができます。また、変換 キーのかわりに 次候補 キーでも次の候補を表示させることができます。

4. 正しく変換されたら 確定 キーを押し、熟語を確定画面に移します。



3

文字の入力の仕方

3. 2 漢字を入力する

3. 2. 2 漢字1文字の変換(単漢字変換)

1文字の漢字を変換させる入力の方法です。例の順序に従ってキーを押してください。

例 「単漢字変換」で「管」と入力してみます。

1. ローマ字入力で
[K] [A] [N] [N]

ひらがな入力で

[か] [ん]

変換画面に入力された全てのひらがなが単漢字変換の対象です。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① _
かん _

2. 機能 → ^{単漢字}変換 とキーを押すと漢字1文字ずつの候補が表示されます。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① _
館間感官缶勘管関

3. ▶読み伸しキーを押して「管」の漢字のところまでカーソルを移動します。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① _
館間感官缶勘管関

もし、表示されている8文字の中に希望の漢字がない場合は **次候補** キーを押して次の8文字の候補を表示させてください。

行き過ぎたときは **前候補** キーでもとに戻ることができます。

4. 正しく変換されたら **確定** キーを押し、漢字を確定画面に移します。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① 管 _
_

3. 2 漢字を入力する

3. 2. 3 JISコードによる漢字の入力

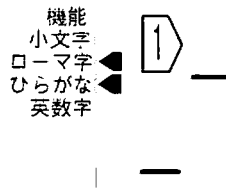
付録の漢字JISコード表から漢字をさがし、対応するコードをキーインして漢字を入力する方法です。

3

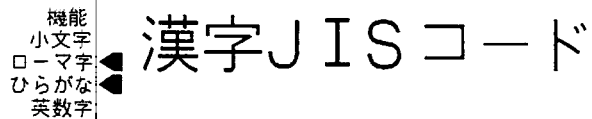
文字の入力の仕方

例 「JISコード入力」で「章」を入力してみます。

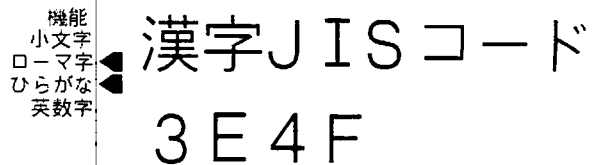
入力の方法はローマ字、ひらがな、英数字のどの状態でもかまいません。ただし、変換画面にはなにも入っていないようにします。



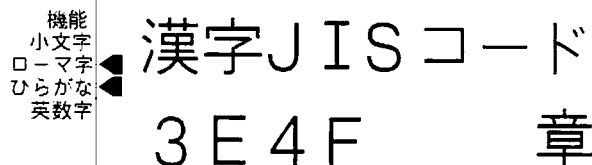
1. **機能** → **漢JIS** キーを押すと画面は右のように変わります。



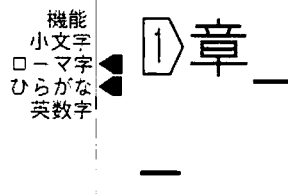
2. 付属の漢字JISコード表から「章」をさがします。「章」の漢字コードは3E4Fですので、これをキーインします。



3. **確定** キーを押すと、「章」が表示されます。



4. もういちど **確定** キーを押すと「章」が確定画面に移り、入力モードに戻ります。



3. 2 漢字を入力する

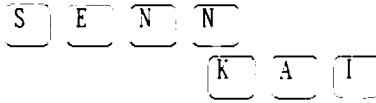
3. 2. 4 読みの短縮と伸ばし

熟語の漢字変換のときに、変換の対象となる部分を短くしたり伸ばしたりして、欲しい漢字熟語を探することができます。

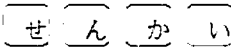
例 「読みの短縮・引き伸ばし」機能を使って「千回」を入力してみます。

1.

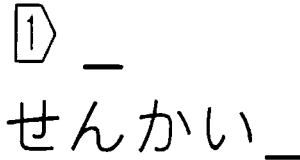
ローマ字入力で



ひらがな入力で



機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字



2.

変換 キーを押すと「旋回」が表示されます。

もう一度 変換 キーを押しても新しい変換漢字はでてきません。

これ以上漢字候補がないことをしめします。

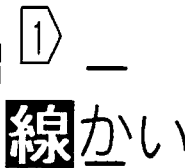
機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字



3.

読み短縮 キーを押して「せん」を変換している位置までカーソルを移動します。

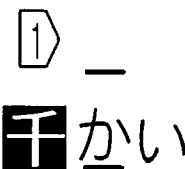
機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字



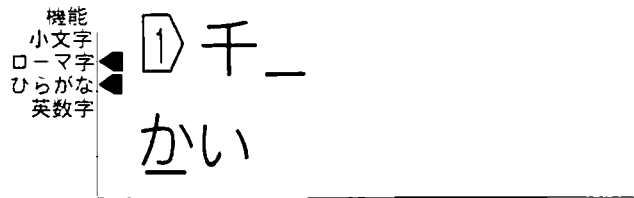
4.

次候補 キーを押して「せん」を「千」に変換します。

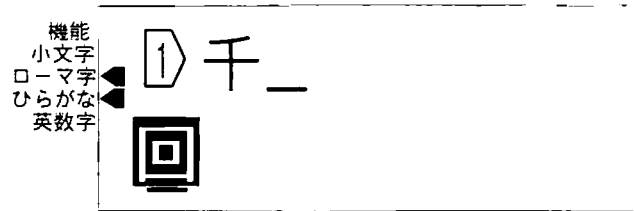
機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字



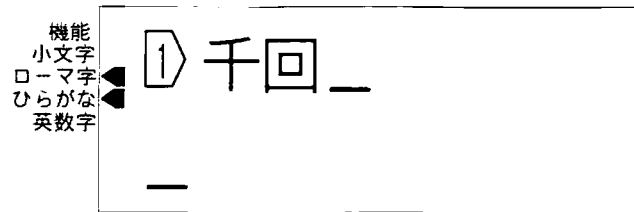
5. **確定** キーを押して「千」を確定画面に移します。



6. 続けて「かい」を「回」に変換する為に **変換** キーを押します。「回」が表示されるまで **次候補** か **変換** を押して下さい。



7. **確定** キーを押して「回」を確定画面に移します。



3. 3 入力した文字の編集

3. 3. 1 カーソルの移動

確定画面や変換画面内のカーソルを移動させます。変換画面に何も入力がないときは確定画面のカーソルが動き、あるときは変換画面のカーソルが動きます。

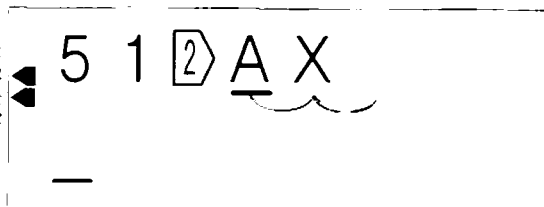
1) 確定画面のカーソルを移動する

変換画面に何も残っていない時に

読み短縮◀キーを押すと確定画面のカーソルが左に移動します。

必要なところまで **読み短縮**◀キーをくり返し押します。

機能
小文字
□-マ文字
ひらがな
英数字



- 同様に **読み伸し**▶キーでカーソルを右に移動できます。



機能



読み伸し▶

キーで確定文書の末尾に、

機能



読み短縮◀

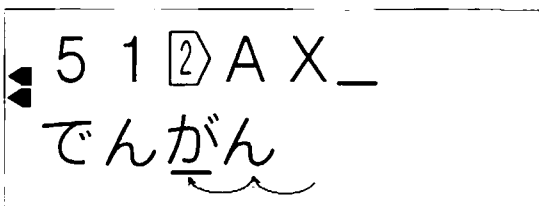
キーで文頭に一度に移動できます。

2) 変換画面のカーソルを移動する

変換画面内の文字の位置まで

読み短縮◀キーを使ってカーソルを移動します。

機能
小文字
□-マ文字
ひらがな
英数字



- 同様に **読み伸し**▶キーでカーソルを右に移動できます。

3. 3 入力した文字の編集

3

文字の入力の仕方

3. 3. 2 入力した文章を消す

1) 1文字の削除

例 「1文字削除」で「事務し室」の「し」を消す。

1. **読み短縮** ← キーを押して「し」のところまでカーソルを移動します。

機能
小文字
□-マ文字
ひらがな
英数字

① 事務し室

2. **削除** キーを押すとカーソルの上の1文字を削除できます。

機能
小文字
□-マ文字
ひらがな
英数字

① 事務室

同様に、変換画面に入力があるときは変換画面のカーソルの上の文字を削除できます。



もし、間違えてちがう文字を消してしまった時は

機能 →

文字復活
前候補

でその文字を復活させることができます。

2) 全文の削除

例 「全文削除」で「事務室」を一度に消す。

1. **機能** → **全文削除** **削除** キーを押すと確定文書の内容が一度に消去できます。

機能
小文字
□-マ文字
ひらがな
英数字

①

なお、変換画面に入力がある時は

機能 → **全文削除** **削除** キーはエラー

となります。



機能 → **全文削除** **削除**

で消去された文書は

機能 → **文字復活** **前候補**

で復活できません。

3. 3 入力した文字の編集

3. 3. 3 文字を挿入する

LM360Tは常に「文字の挿入」状態です。上書きする場合は先の操作でその文字を削除してから挿入してください。

例 「事務室」に「管理」を挿入して「事務管理室」に直します。

1. **読み短縮** キーを押して「室」のところでカーソルを移動します。

機能
小文字
□-マ
ひらがな
英数字

① 事務室
_

2. 「かんり」を入力します。

機能
小文字
□-マ
ひらがな
英数字

① 事務室
かんり_

変換 キーを押して変換します。

機能
小文字
□-マ
ひらがな
英数字

① 事務室
管理_

3. **確定** キーを押すと確定画面のカーソルの上に「管理」が挿入されます。

機能
小文字
□-マ
ひらがな
英数字

① 事務管理室
_

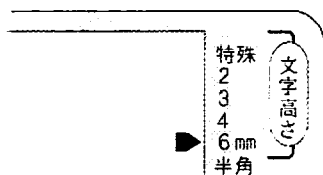
同様に変換画面も「ひらがなの挿入」です。挿入したい位置までカーソルをもって行って入力するとカーソルの上にひらがなが挿入されます。

4. 印刷する文字の大きさを変える

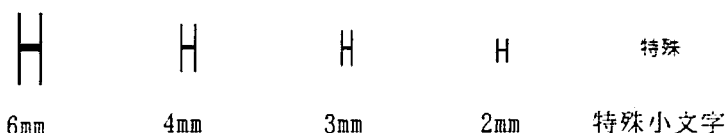
4. 1 文字の高さを変える

印刷する文字の高さは5種類の中から選択でき、文字ごとに変えられます。

1) 文字高さの種類



下の5種類の文字高さに対応して各々のインジケータがあります。このインジケータはこれから入力する文字がどの高さで入力されるかを示します。



2) 文字の高さはテーブル幅、改行数によって選択できる範囲があります。

通常（ピッチ印刷でない）、横印刷の例です

行数	文字高さの組み合わせ	テーブル種類			チューブ 全て
		12mm	9mm	5mm	
1行	6mm	○	○	×	×
	4mm	○	○	×	×
	3mm	○	○	○	○
	2mm	○	○	○	○
	特殊	○	○	○	○
2行	4mm+2mm	○	○	×	×
	3mm+3mm	○	○	×	×
	3mm+2mm	○	○	×	×
	2mm+2mm	○	○	×	×
	特殊+特殊	○	○	○	○
3行	特殊+特殊+特殊	○	○	×	×
4行	特殊+特殊+特殊+特殊	○	○	×	×

これ以外の設定は「高さオーバー」のエラー表示となり設定できません。

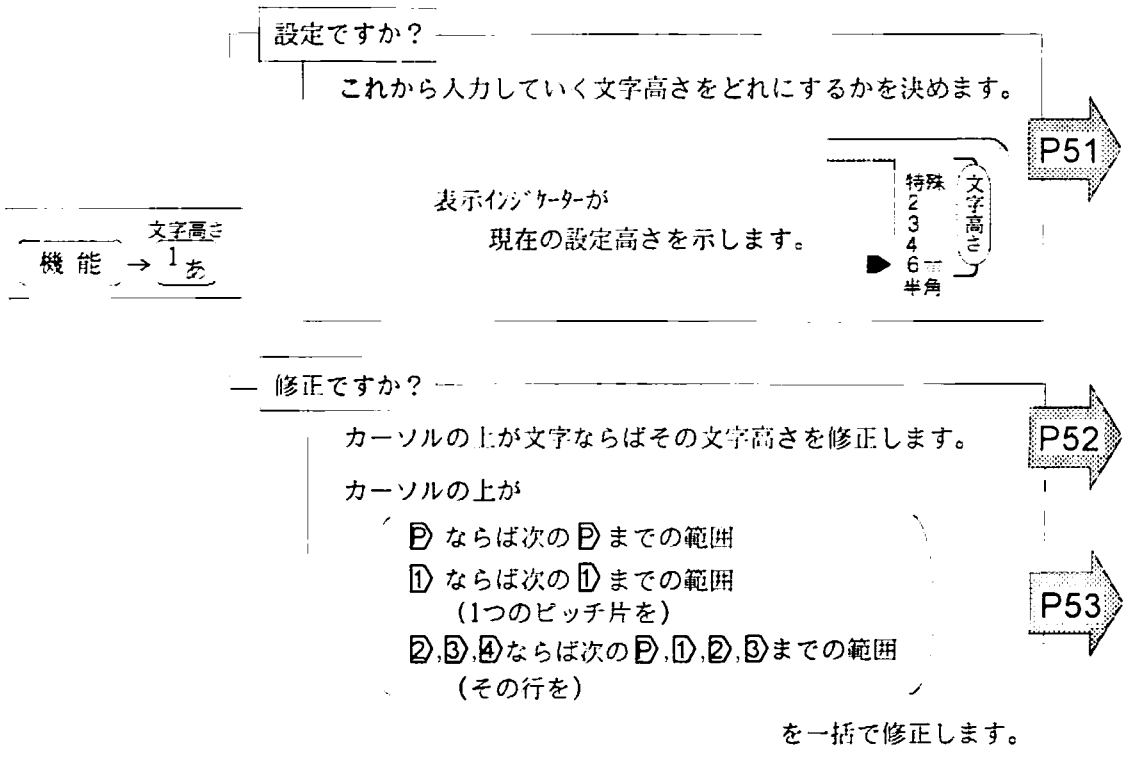
★ 特殊小文字は次の制限があります。

- 半角、倍角になりません。
(半角・倍角の設定であっても全角で印刷します)
- 他の文字高さと組み合わせることができません。
特殊小文字が選択できるのは、確定画面が全文クリアのときだけです。
同様に特殊小文字が選択されていると2～6mmの文字高さが選択できなくなりますので、確定画面の全文クリアを行って選択してください。

4. 1 文字の高さを変える

3) 文字高さの入力方法

機能 → ^{文字高さ}1 あ のキーイン後、LM360Tは文字高さの「設定」なのか「修正」なのかをきいてきます。「設定」というのは「これから新しく入力する文字の高さ」を意味しています。「修正」というのは「既に入力された文字高さを変更する」ことを意味します。



メモ 既に入力した文章に新しく文字を挿入する場合、挿入される文字は、周りの文字高さにかかわらずインジケータで表示されている設定の文字高さで挿入されます。

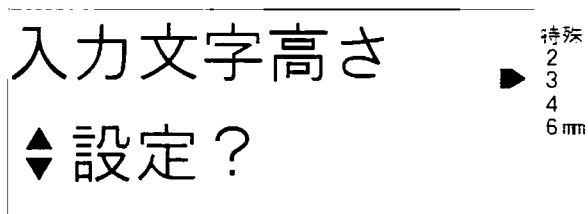
4

印刷する文字の大きさを定める

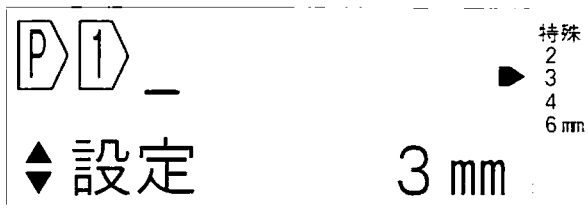
4. 1 文字の高さを変える

4. 1. 1 文字の高さを設定する

1. **機能** → **文字高さ** を押すと左の画面に変わります。



2. **確定** キーを押して「設定」を選択します。

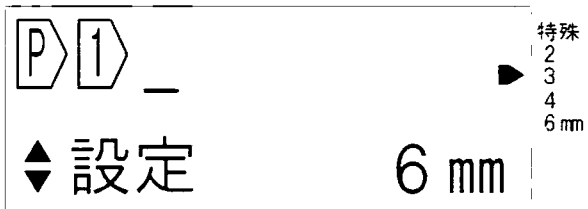


3. **前候補** キーを押すごとに文字高さの数字が下図のように変化します。
次候補 キーを押すと小さい方向に変化します。



特殊 → 2 mm → 3 mm → 4 mm → 6 mm

4. 設定したい文字の高さが表示されたら **確定** キーを押して選択します。



5. 設定された表示インジケータが点灯します。



4. 1 文字の高さを変える

4. 1. 2 1文字の高さを変える

4 mmの「1 2 3 A 4」の文字列の内「A」だけを6 mmにする。

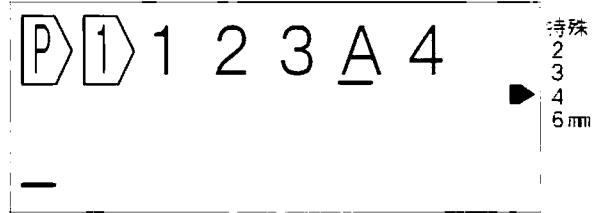
例

1 2 3 A 4 → 1 2 3 A 4

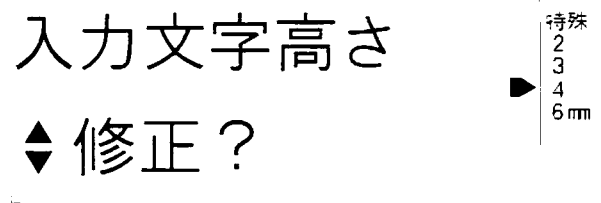
4

印刷する文字の大きさを覚える

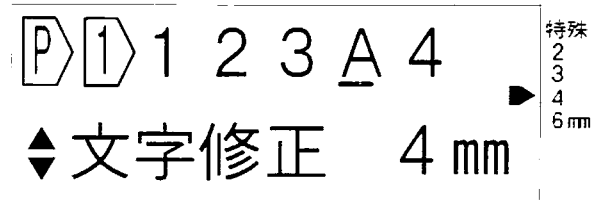
1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して
変えたい文字の下にカーソルを移動
します。



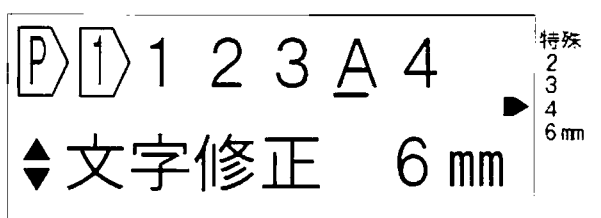
2. **機能** → **文字高さ** **あ** キーを押すと「設定」
か「修正」かをきいてきますので、



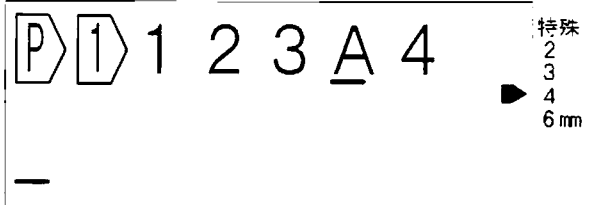
3. **前候補** か **次候補** を押して「修正」
を選択して **確定** キーを押します。
カーソルは文字の下ですので「1文字
の修正」になります。



3. **前候補** か **次候補** を押して「6 mm」
が表示されたら **確定** キーを押して
選択します。

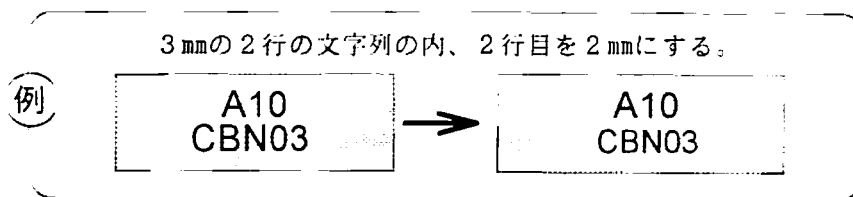


表示が戻ります。

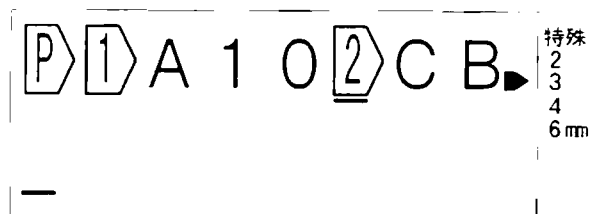


4. 1 文字の高さを変える

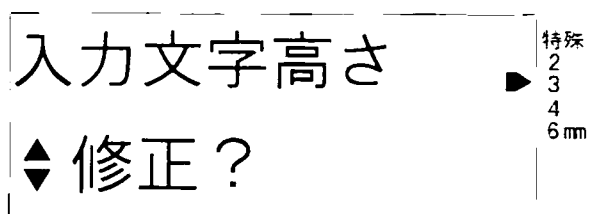
4. 1. 3 1行を一括で変更する



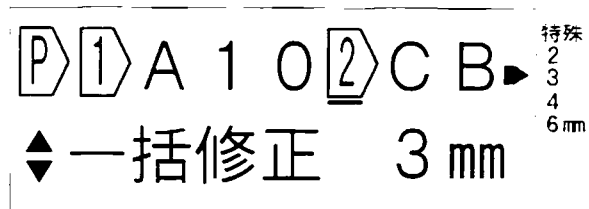
1. 読み短縮 や 読み伸し キーを押して
変えたい行のコードの下にカーソル
を移動します。



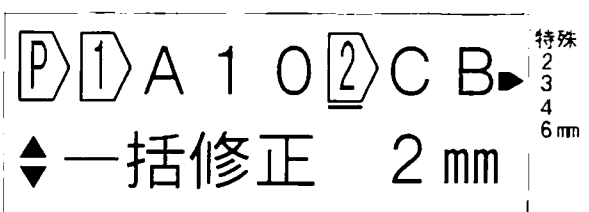
2. 機能 文字高さ → あ キーを押すと「設定」
か「修正」かをきいてきますので、



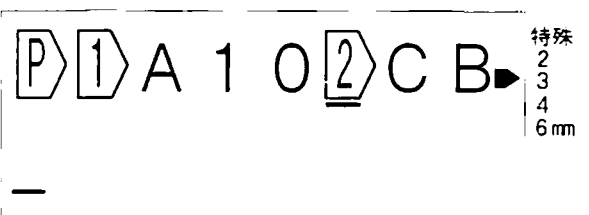
- 前候補 か 次候補 を押して「修正」
を選択して 確定 キーを押します。
カーソルは行コードの下ですので
「行の一括修正」になります。



3. 前候補 か 次候補 を押して「2mm」
が表示されたら 確定 キーを押して
選択します。



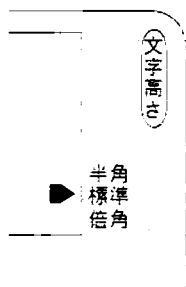
表示が戻ります。



4. 2 文字の幅を変える（半角・倍角に変える）

印刷する文字の幅は3種類の中から選択でき、文字ごとに変えられます。文字の幅の入力、修正方法は文字の高さの時と同じです。

1) 文字の幅の種類



下の3種類の文字幅に対応して各々のインジケータがあります。このインジケータはこれから入力する文字がどの幅で入力されるかを示します。

（カーソル位置の文字の幅は示していません）

半角

標準

倍角

★ 次の文字は半角・倍角になりません。

- 半角・倍角の印刷ができるのは英数字、記号、ひらがな、カタカナです。漢字等は半角の設定をしても全角で印刷されます。
- 同様に、文字の高さが「特殊小文字」の場合は、半角・倍角の設定であっても全角で印刷します。

4. 2 文字の幅を変える（半角・倍角に変える）

2) 文字の幅の入力方法

半角・倍角の設定・修正方法は「文字高さの入力方法」と同じです。

機能 → ^{半・倍角} 2い がキーインされると「設定」なのか「修正」なのかをきいてきます。

設定ですか？

これから入力していく半角・標準・倍角を決めます。

表示インジケータが
現在の設定を示します。

半角
標準
倍角

P56

機能 → ^{半・倍角} 2い

修正ですか？

カーソルの上が文字ならばその文字の幅設定を修正します。

カーソルの上が

- Ⓟ ならば次の Ⓟ までの範囲
- ① ならば次の ① までの範囲
(1つのピッチ片を)
- ②, ③, ④ ならば次の Ⓟ, ①, ②, ③ までの範囲
(その行を)

を一括で修正します。

P57



P58



既に入力済みの文章の中に文字を挿入する場合、挿入される文字は、周りの文字幅の設定にかかわらずインジケータで表示されている設定文字幅で挿入されます。

4. 2 文字の幅を変える（半角・倍角に変える）

4. 2. 1 文字の幅を設定する

1. **機能**   を押すと左の画面に変わります。

半角・倍角

◆ 設定？

▶ 半角
標準
倍角

2. **確定** キーを押して「設定」を選択します。

  _

◆ 設定

標準 ▶

半角
標準
倍角

3. **前候補** キーを押すごとに文字幅が下図のように変化します。

次候補 キーを押すと狭い方向に変化します。

半角 → 標準 → 倍角

  _

◆ 設定

倍角 ▶

半角
標準
倍角

4. 設定したい文字幅が表示されたら **確定** キーを押して選択します。


  _

◆ 設定

半角 ▶

半角
標準
倍角

5. 設定された表示インジケータが点灯します。

  _

▶ 半角
標準
倍角

4

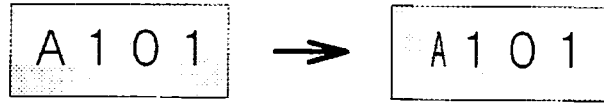
印刷する文字の大きさを調える

4. 2 文字の幅を変える（半角・倍角に変える）

4. 2. 2 1文字の幅を変える

標準幅の「A101」の文字列の内「A」だけを半角にする。

例



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して
変えたい文字の下にカーソルを移動
します。



半角
標準
倍角

2. **機能** → **半・倍角** **2** キーを押すと「設定」
か「修正」かをきいてきますので、

半角・倍角

◆修正？

半角
標準
倍角

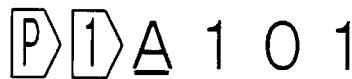
前候補 か **次候補** を押して「修正」
を選択して **確定** キーを押します。
カーソルは文字の下ですので「1文字
の修正」になります。



◆文字修正 標準

半角
標準
倍角

3. **前候補** か **次候補** を押して「半角」
が表示されたら **確定** キーを押して
選択します。



◆文字修正 半角

半角
標準
倍角

表示が戻ります。



半角
標準
倍角

4. 2 文字の幅を変える（半角・倍角に変える）

4. 2. 3 1行を一括で変更する

標準幅の2行の文字列の内、2行目を倍角にする。

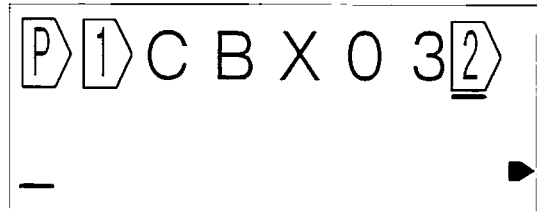
例

CBX03
A10



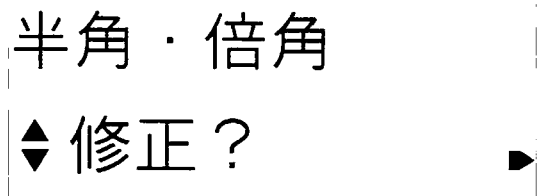
CBX03
A10

1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して
変えたい行のコードの下にカーソル
を移動します。



半角
標準
倍角

2. **機能** \rightarrow ^{半・倍角}₂ **い** キーを押すと「設定」
か「修正」かをきいてきますので、



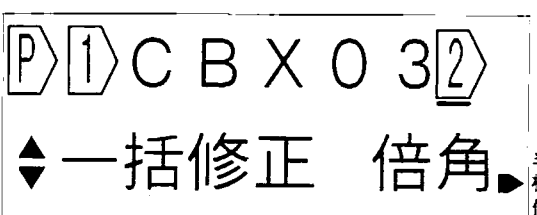
半角
標準
倍角

- 前候補** か **次候補** を押して「修正」
を選択して **確定** キーを押します。
カーソルは行コードの下ですので
「行の一括修正」になります。



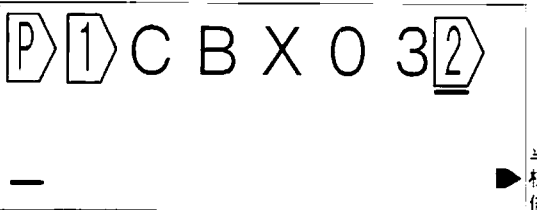
半角
標準
倍角

3. **前候補** か **次候補** を押して「倍角」
が表示されたら **確定** キーを押して
選択します。



半角
標準
倍角

表示が戻ります。



半角
標準
倍角

4

印刷する文字の大きさを変える

4. 3 文字の間隔を変える


印刷する文字間の設定方法は2通りあり、この設定は入力されている全文に有効です。
(1文字単位、行単位、ピッチ片単位の設定はできません。)

文字間の設定方法は2通りあります。1つは「文字と文字の間隔を極広、広い、標準、密着の4種類から選択するやり方」、もう一つは「多行間でも文字の桁を合わせるやり方」です。

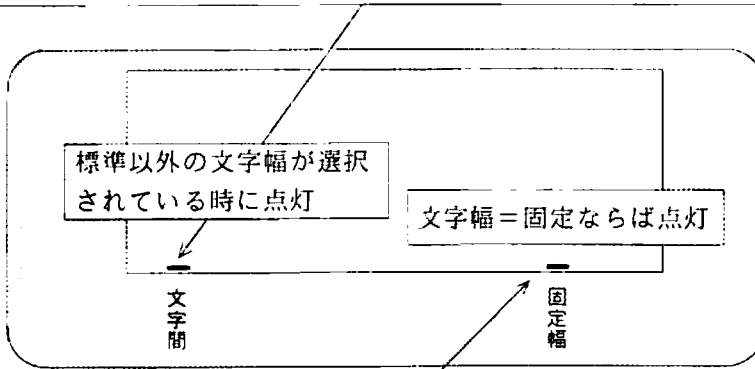
文字と文字の間隔を設定する

文字間は文字高さ、幅によらず固定値です。

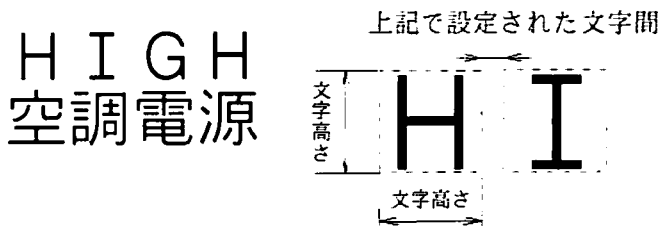
HIRO	密着 (文字間 = 0 mm)
HIRO	標準 (文字間 = 約 0.5 mm)
HIRO	広い (文字間 = 約 1 mm)
HIRO	極広 (文字間 = 約 3 mm)

文字間 

P60 



文字幅を固定して多行間でも文字の桁を合わせる



P61 

ただし、ピッチ印刷になっているとセンタリングが優先されますので、桁合わせにはなりません。

4. 3 文字の間隔を変える

4. 3. 1 文字の間隔を変える

1. **機能** → ^{文字間}3 を押すと左の画面に変わります。

文字間・文字幅？



文字間

文字間

2. **確定** を押すと左の画面に変わり、文字間の設定に入ります。

文字間



標準

文字間

3. **前候補** キーを押すごとに文字間隔が下図のように変化します。

次候補 キーを押すと狭い方向に変化します。

密着→標準→広い→極広

文字間



広い

文字間

4. 設定したい文字間隔が表示されたら **確定** キーを押して選択します。

文字間＝標準以外の設定をするとインジケーターが点灯します。

P 1 _

文字間

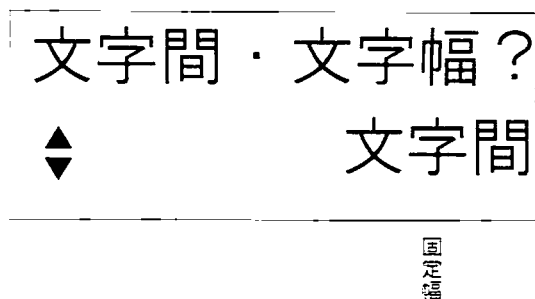
4

印刷する文字の大きさを定める

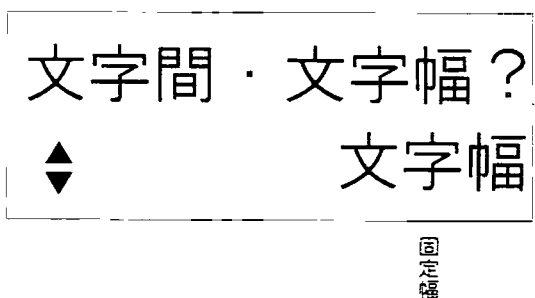
4. 3 文字の間隔を変える

4. 3. 2 文字幅を固定して桁合わせ

1. **機能** → **文字間** を押すと左の画面に変わります。

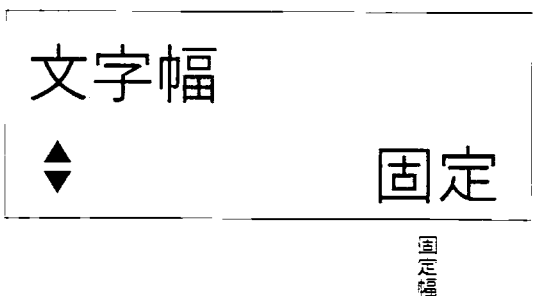


2. **前候補** か **次候補** キーを押して文字幅固定の設定画面にします。



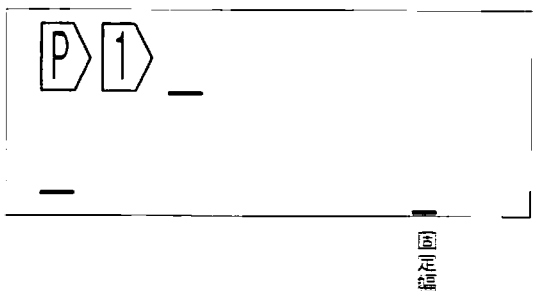
3. **確定** キーを押すと現在の設定の状態が表示されます。

- 前候補** **次候補** キーを使って「自動」「固定」の欲しい方を選択します。



4. **確定** キーを押して選択します。

文字幅＝自動以外の設定をするとインジケーターが点灯します。

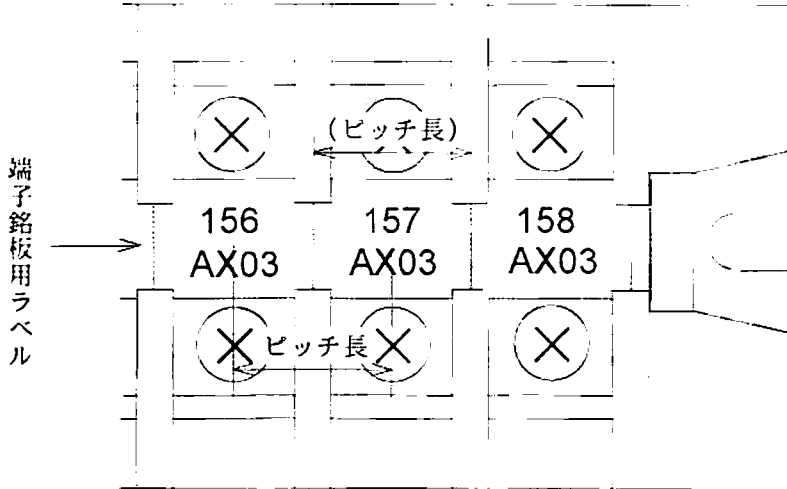


5. 端子銘板のラベルをつくる

5. 1 ピッチ印刷

5. 1. 1 ピッチ印刷とは

ピッチ印刷とは端子銘版用のラベル印刷や後述するチューブ印刷をするための機能で、端子間の長さ（ピッチ長）と印刷したい端子名をキー入力することで、その所定のピッチでその文字列を配置印刷します。



LM360Tのピッチ印刷機能では次のことができます。

1. 入力できる文字数が500文字ありますので、1ピッチ片に8文字使っても約50ケのピッチ片が一度に印刷できます。

1ピッチ片（3文字2行として）

①UX1②CBN

8文字

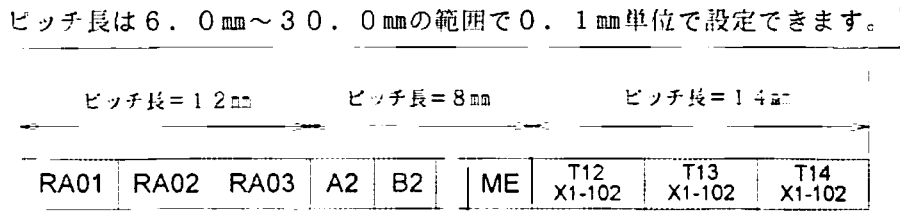
2. 縦ピッチと横ピッチができます。

縦ピッチ
(横ピッチで入力した
内容がワンタッチで
縦ピッチ印刷できます。)

156 AX03	157 AX03	158 AX03
-------------	-------------	-------------

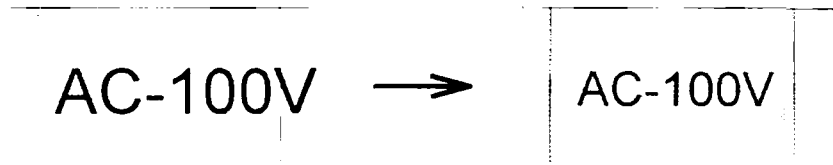
5. 1 ピッチ印刷

3. ピッチ長の異なる端子台を組み合わせたラベルも1枚で印刷できます。

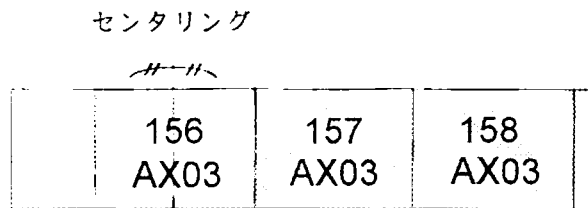


異なるピッチ長は1ラベルの中で5種類設定できます。

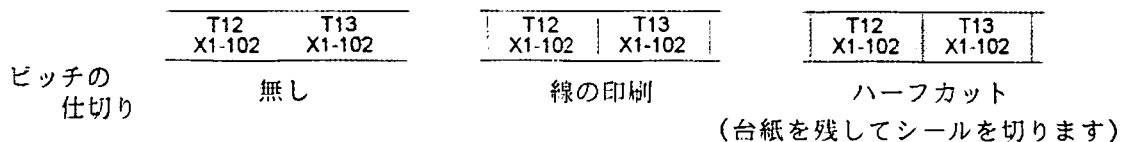
4. 「自動サイズ設定」にしますと、ピッチ長内にきれいに文字列が入るように文字高さや文字巾を自動設定します。



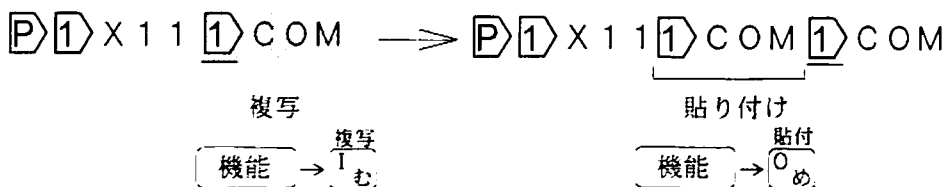
5. ピッチの中の文字列はきれいにセンタリングされて印刷されます。



6. ピッチの仕切りは（線の印刷、無し、ハーフカット）の3種類が選べます。



7. ピッチ片の複写/貼り付けができます。



5

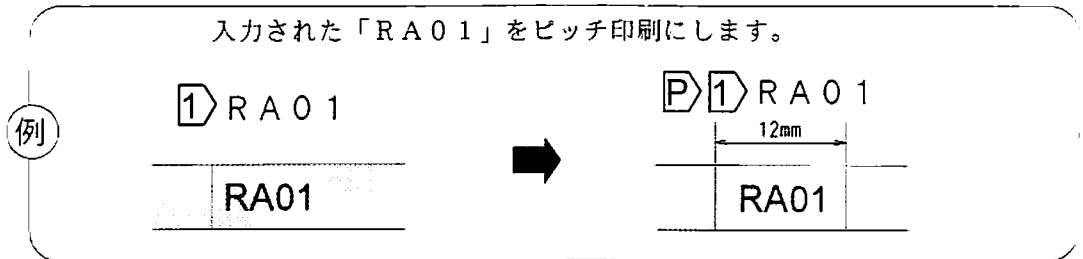
端子銘板のラベルを印刷する

5. 1 ピッチ印刷

5. 1. 2 ピッチマークとピッチ長の入力

ピッチマークの挿入の仕方について3通りの方法で説明します。

1) ピッチ入力をはじめる。(文頭へのピッチマークの挿入)



1. **機能** → ^{ピッチ}④_え キーを押すとピッチ長を聞いてきます。

ピッチ長

◆ 10.0 mm

2. 数字キーを押してピッチ長を入力します。
0.1mm単位で入力できます。

ピッチ長

◆ 12.0 mm

- メモ** この時に **前候補** か **次候補** を押してピッチ長を入力することもできます。
前候補 **次候補** キーはちょっと押した時は0.1mm単位で上下しますが押し続けると1.0mm単位で上下します。一度に大きくしたいときは押し続けてください。

3. **確定** を押すと設定されたピッチマークが文章の先頭に入ります。

P① RA01_

—

2) これからは異なるピッチ長で入力する。(文尾へのピッチマークの挿入)

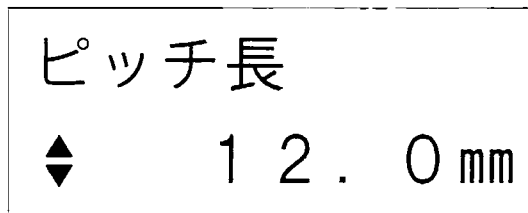
例 **P**1 RA01_ の先からピッチ長を変えて **P**1 RA01**P**1 S1_ と入力してみます。

The diagram illustrates the process of changing pitch lengths. On the left, a label 'RA01' is shown with a 12mm pitch. An arrow points to the right, where the label 'RA01' is followed by 'S1'. The 'RA01' part has a 12mm pitch, and the 'S1' part has an 8mm pitch.

1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して文書の最後の位置にカーソルを移動します。

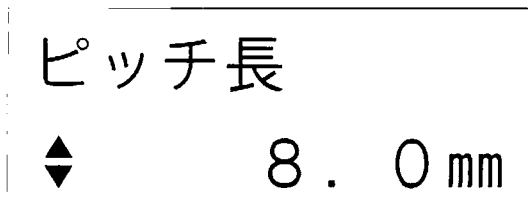


2. **機能** → **ピッチ** キーを押すとピッチ長を聞いてきます。



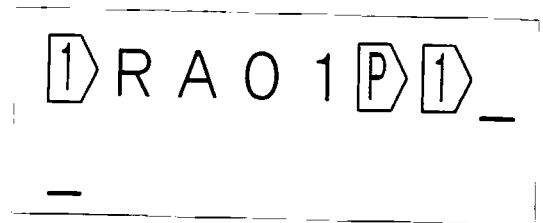
3. 数字キーか **前候補** **次候補** を使ってピッチ長を入力します。

次のページに続きます

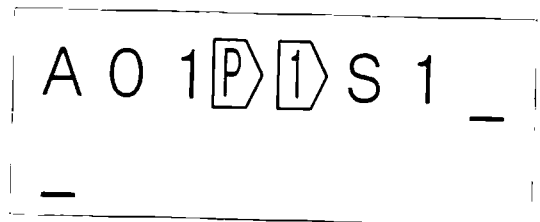


5. 1 ピッチ印刷

4. **確定** を押すと設定されたピッチマークがカーソルの位置に入り、ピッチ片の始まりを示す **1** も挿入されます。



5. **S** **1** と入力します。
これで、**印刷** を押すと「R A O 1」が12mmピッチ長で、「S 1」が8mmピッチ長で印刷されます。

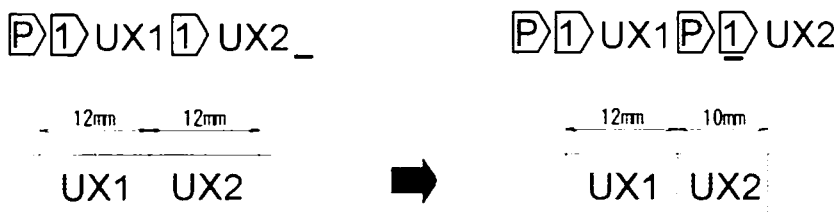


3) 入力された文書の途中からピッチ長を変える。

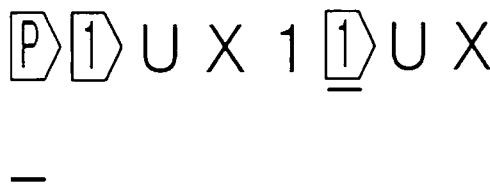
(文書の途中へのピッチマークの挿入)

12 mmのピッチ長になっているところを、途中から10 mmのピッチ長に変えます。

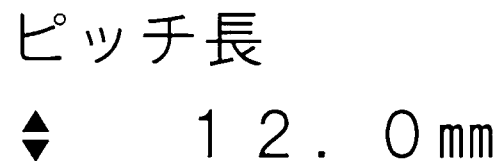
例



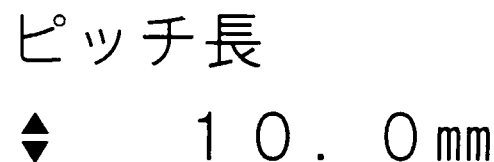
1. 読み縮小 \leftarrow や 読み伸し \rightarrow キーを押して
換えたい位置の $\boxed{1}$ の下にカーソル
を移動します。



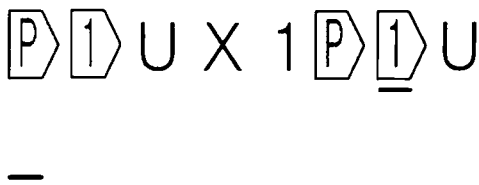
2. 機能 \rightarrow ^{ピッチ} 1 へ キーを押すとピッチ長
を聞いてきます。



3. 数字キーか 前候補 \uparrow / 次候補 \downarrow を使っ
てピッチ長を入力します。



4. 確定 を押すと設定されたピッチ
マークが $\boxed{1}$ の手前に入ります。



5. 1 ピッチ印刷

メモ

ピッチの入力の方法は次のように場合分けできます。

- ① ピッチ入力をはじめる=入力文書に **P** がまだ無い。

カーソルがどこにあっても
機能 → ^{ピッチ} **4** **え** を押せば入
力文書の先頭に **P** を挿入
します。

1 RA01 _
↓
P **1** RA01 _

- ② これからは新しいピッチ長で入力する = 入力文書の最後にカーソルがあればそこに **P** を挿入する。

カーソルを入力文書の最後に
移動して 機能 → ^{ピッチ} **4** **え** を押
すと **P** **1** が挿入されます。

P **1** RA01 _
↓
P **1** RA01 **P** **1** _

- ③ 入力された文書のここから先のピッチ長を変える
=カーソルから一番左側の **1** の手前に **P** を挿入する。

カーソルを変えたい **1** の近く (右側) に移動し、機能 → ^{ピッチ} **4** **え** を押すと
1 の手前に **P** が挿入されます。68ページの例では解りやすい為に **1**
の下にカーソルをもってきましたが、この **1** から次の **1** の間ならばかま
いません。

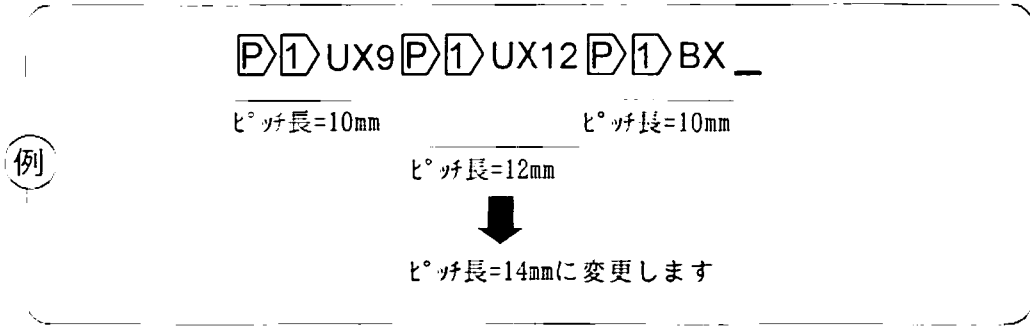
P **1** UX1 **1** UX2
↓
P **1** UX1 **P** **1** UX2

上記の②、③では挿入する手前のピッチ長と同じピッチ長を指定すると、
P マークは挿入されません。

5. 1. 3 ピッチ長の変更

既に入力されているピッチ長を変更するには、その **P** マークにカーソルを移動して

機能 → **ピッチ** を押して修正します。

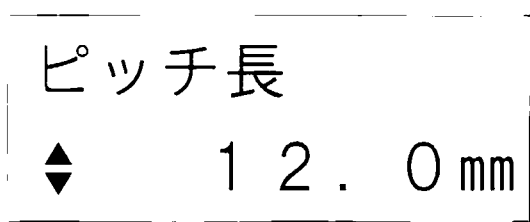


5 端子銘板のレベルを印刷する

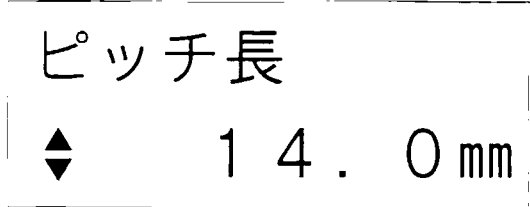
1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して変更したい **P** の下にカーソルを移動します。



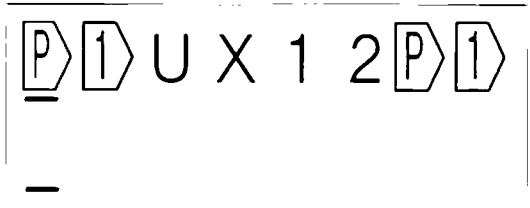
2. **機能** → **ピッチ** キーを押すと現在の設定値を表示します。



3. 数字キーか **前候補** / **次候補** を使ってピッチ長を入力します。



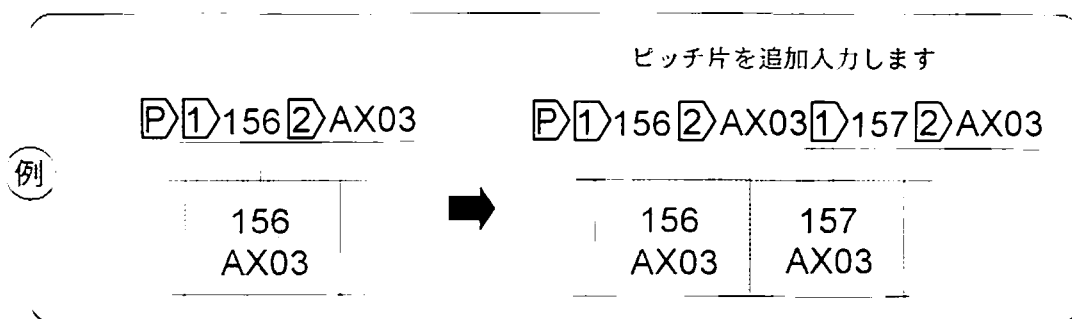
4. **確定** を押すと入力されたピッチ長に変更されます。



5. 2 ①②③④の意味と使い方

ピッチ印刷では ① マークは1行目の文章であることを示すと同時にピッチの区切りの意味もあります。②③④ はそれぞれ2、3、4行目の文章であることを示します。

ピッチ印刷ではない通常印刷の時の ① は「改ブロック」の意味がありますのでそれは117ページを参照して下さい。



5 6 ② A X 0 3 _

—

1. 改行
改変 を押してピッチの区切りにします。

6 ② A X 0 3 ① _

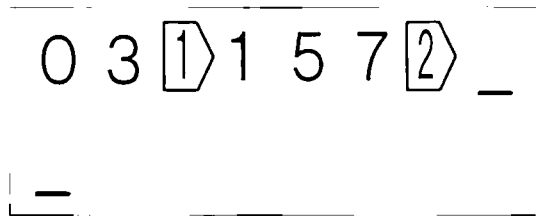
—

2. ① ⑤ ⑦ と押して1行目を入力します。

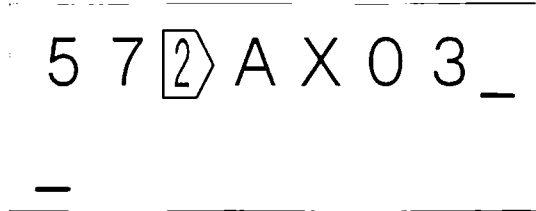
X 0 3 ① 1 5 7 _

—

3. **機能** → ^{改行} **改行** を押してピッチの2行目の入力の始まりにします。もし3行目の入力ならば表示は自動的に **③** になります。



4. **A X 0 ③** と押して2行目を入力します。



メモ 既にある文章の中に **①**、**②**、**③**、**④** を後から挿入することができます。文字列の長さが長すぎて1つのピッチ内に入らない時などは後から改行を入れることができます。ただし、改行マークの挿入と削除については注意が必要です。84ページと8.5 改行する(116ページ)も合わせてご覧ください。

5. 3 縦・横の設定

入力された文書を横書きでも、縦書きでも印刷できます。また、縦書きの印刷はピッチ印刷とそうでないときは異なります。

1) ピッチ印刷の時

①156②AX03①157②AX03①158②AX03

横書き印刷

縦書き印刷

156 AX03	157 AX03	158 AX03
-------------	-------------	-------------

156 AX03	157 AX03	158 AX03
-------------	-------------	-------------

ピッチごとに回転します。

2) ピッチ印刷でない通常印刷の時

①レタツイン②LM360

横書き印刷

縦書き印刷

レタツイン
LM360

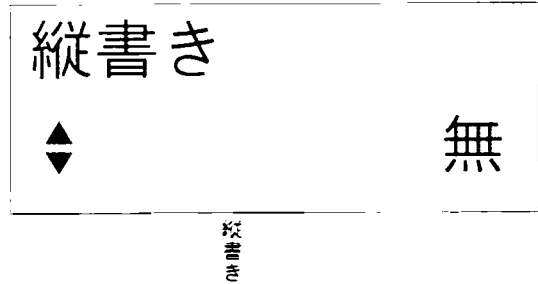
レタツイン
LM360

文字ごとに回転します。

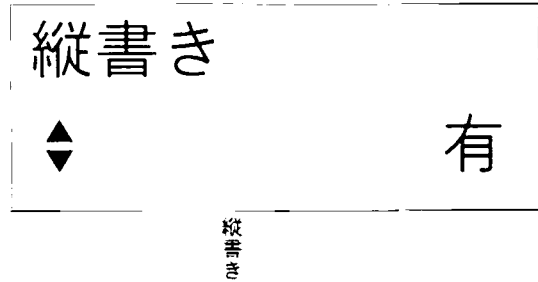
例

横書き印刷を縦書き印刷に設定します。

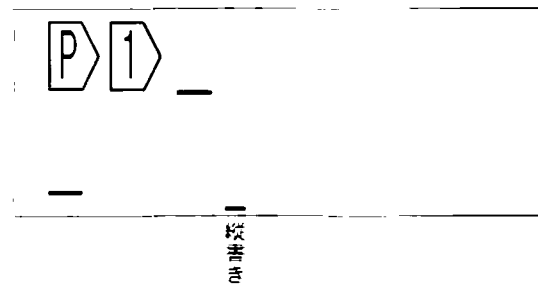
1. **機能** → **6** 縦・横 **は** を押すと左の画面に変わります。
「縦書き=無し」は横書き印刷のことです。



2. **前候補** **▲** または **次候補** **▼** キーを押して縦印刷を選択します。



3. **確定** キーを押して終了します。
縦印刷が選定されると、インジケータが点灯します。



なお、この操作は既に入力文書があってもかまいません。入力されている文書が縦方向に印刷されて出て来ます。



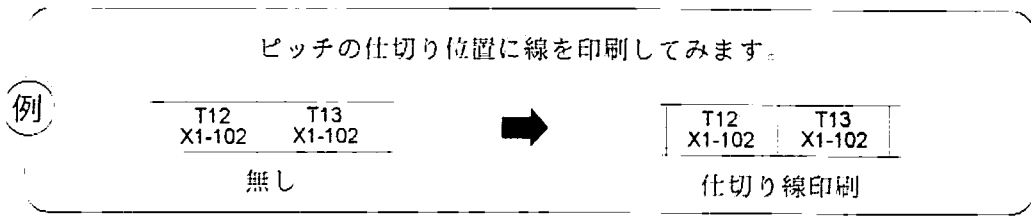
縦のピッチ印刷するときは、9mmや12mm幅のテープでも1行に6文字以上の入力をするとう「!ピッチオーバー」のエラー表示になります。改行して1行の文字数を減らしてください。
横ピッチと縦ピッチ印刷を混在させることはできません。すべてが横ピッチになるか縦ピッチになります。

5

端子銘板のラベルを印刷する

5. 4 ピッチのカット、仕切り線の設定

LM360Tはピッチの境目にハーフカットか、線の印刷を入れることができます。



1. **機能** → **ピッチカット** キーを押すと現在の状態を表示します。現在はピッチの境目に何も無いことを示しています。

ピッチカット

◆ ◆ 無し

2. **前候補** か **次候補** を押して仕切り「線」印刷を選択します

前候補 を押すと次のようになります。

無し → 有 → 線

ピッチカット

◆ ◆ 線

3. **確定** を押すと仕切り線印刷に設定されます。

P ① T 1 2 ② X 1

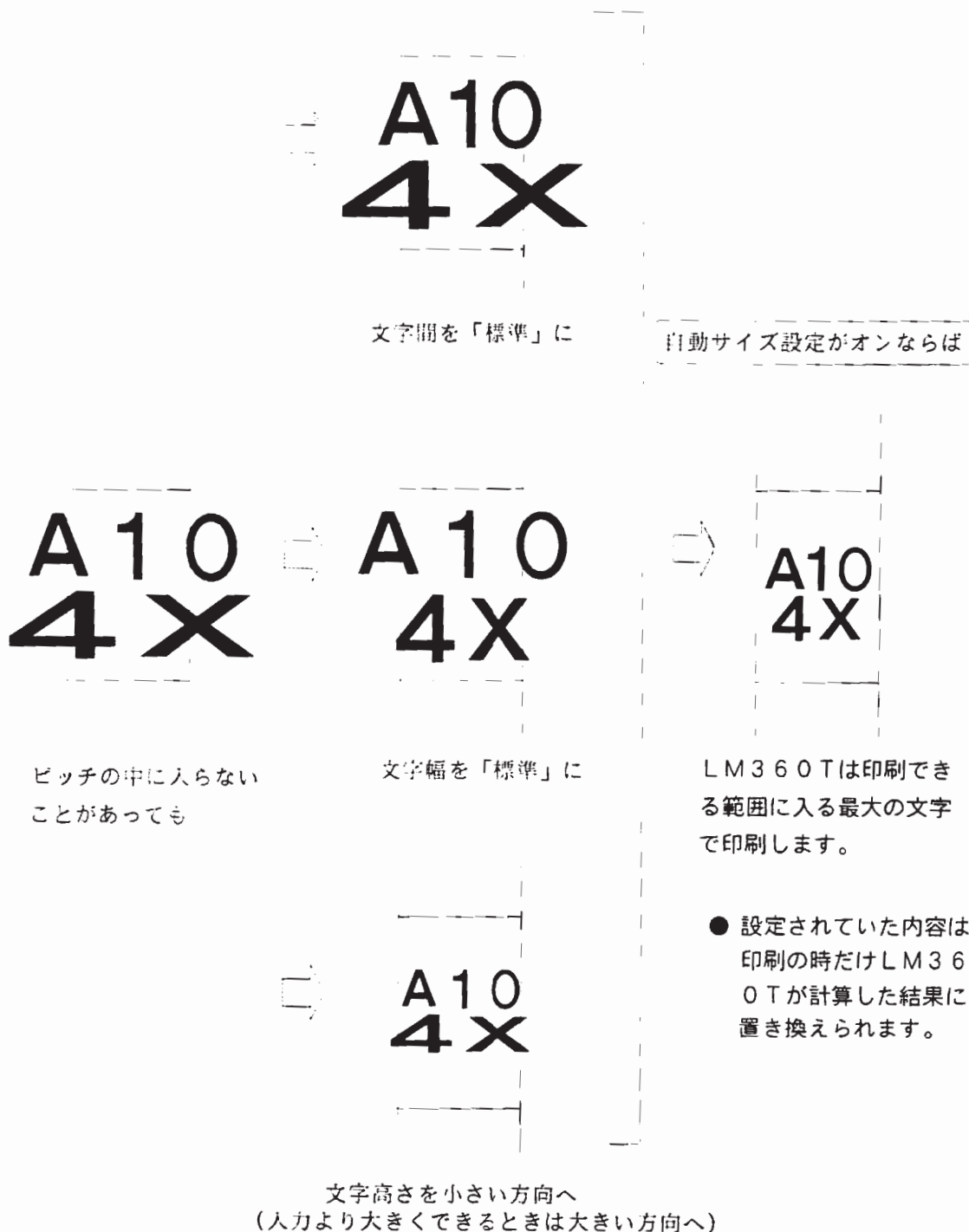
—

この設定はピッチ印刷から抜けて通常の印刷を行ってから、もう一度ピッチ印刷にもどった時も設定内容は保持されています。

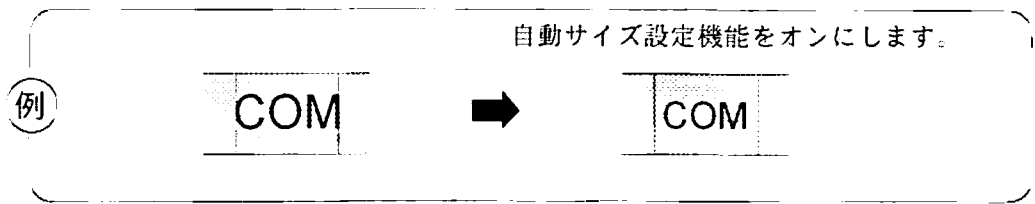
- ★ 10mm未満のピッチ長設定（6.0～9.9mm）の時に、ピッチカット=有でハーフカット指示にしますと、印刷時は設定値と異なって10mmのピッチ長カットになります。

5.5.1 文字の自動サイズ設定

ピッチ印刷では、指定のピッチ長の中に入るように文字の高さ、文字の間隔、文字の幅を調整して印刷する、自動サイズ設定機能をもっています。この機能はオフすることもできます。



5. 5 印刷をする



カーソルはどこにあってもかまいません。

P 1 COM _

1. **機能** → ^{オプション} **9** キーを押すと右の表示になります。



オプション
◆ 印字長？

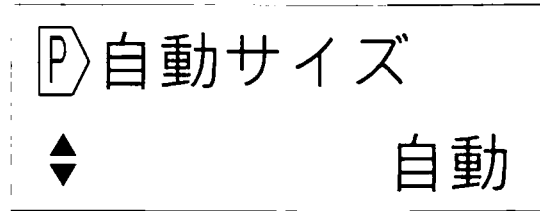
2. **前候補** か **次候補** を押して「ピッチ自動サイズ」のオン・オフ設定画面を表示させます。


オプション
◆ P 自動サイズ？

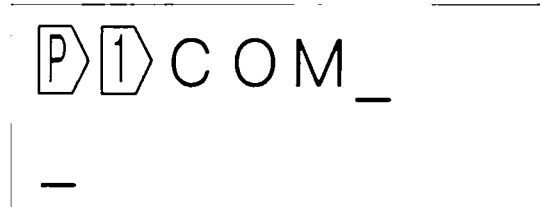
3. **確定** を押して「ピッチ自動サイズ」の設定画面を選びます。今、自動になっているか、OFFになっているかが表示されます。


P 自動サイズ
◆ OFF

4.  前候補 か  次候補 を押して「ピッチ自動サイズ」を自動にします。



5.  確定 を押して「ピッチ自動サイズ」を自動で設定終了します。



-  **メモ**
- ピッチ自動サイズ設定を オフ にすると、入力された文字の高さ、幅で印刷しようとするので「！高さオーバー」になることが多くなります。
 - 自動サイズ設定になると入力された文字の高さ、幅、間隔がいったんキャンセルされ、LM360Tが一番適切な設定に変えます。その範囲は、
文字高さは特殊小文字、2mm、3mm、4mmで（6mmはありません）、
文字幅は標準、
文字間隔は標準
から選択します。もし、どの組み合わせでも指定のピッチ長に入らないときは「！高さオーバー」のエラーとなります。
 - 自動サイズ設定のときは1ピッチ片内での、文字の高さ・幅は 自動選択された1種類に統一されます。
 - 自動サイズ設定は印刷のときだけ、文字の高さ、幅、間隔を変更して印刷しますが、印刷が終わったら入力された設定値に戻ります。

5. 5 印刷をする

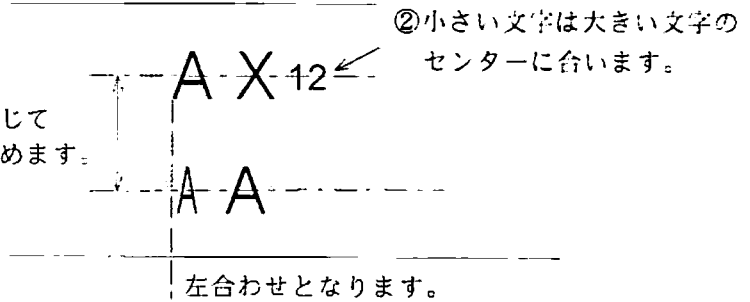
5. 5. 2 文字の配置

LM360Tで印刷される文字の配置です。ピッチ印刷、縦横印刷によって次のようになっていますので参考にしてください。

入力例	① AX12	② AA
文字サイズ	3 3 2 2	3 3
文字幅	標 標 標 標	半 標

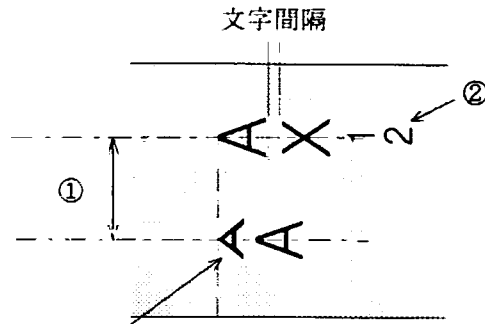
通常 of 横印刷

① 改行間隔はテープの幅に応じて自動的にLM360Tが決めます。



通常 of 縦印刷

横印刷で半角・倍角指定された文字は
縦印刷では上下に半・倍になります。



上合わせとなります。

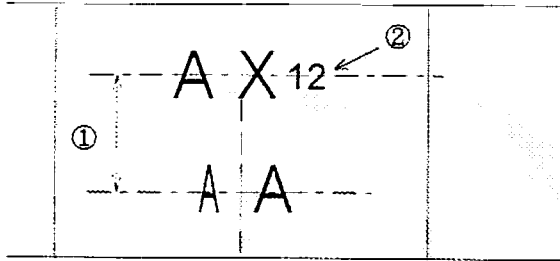
5.5 印刷をする

ピッチ印刷のときで、「自動サイズ設定」がオフのときの例です。自動サイズ設定がオンでは文字のサイズは1ピッチ内で1種類に統一され、文字幅、文字間は「標準」になります。

入力例	P	1	A X 1 2	2	A A
文字サイズ			3 3 2 2		3 3 mm
文字幅			標 標 標 標		半 標

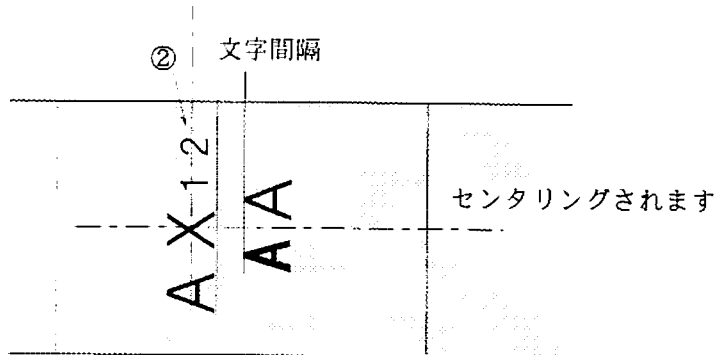
5 端子銘板のミルを印刷する

ピッチの横印刷



センタリングされます。

ピッチの縦印刷



5.5 印刷をする

5.5.3 1 mを越える印刷の時は

1 m以上連続で印刷するときは、印刷部（サーマルヘッド）の加熱防止のために一時停止します。一定時間止まった後に、自動的に残りの印刷を再開します。

1. **印刷** キーを押すと印刷がはじまり、「印刷中・・・」の表示がでます。

印刷中・・・

2. 印刷の長さが1 mを越えるところで「継続印刷処理中」を点滅表示して印刷を一時停止します。

印刷中・・・
継続印刷処理中

3. しばらくそのままにすると、自動的に印刷を再開します。
表示は「継続印刷中・・・」に変わります。

継続印刷中・・・

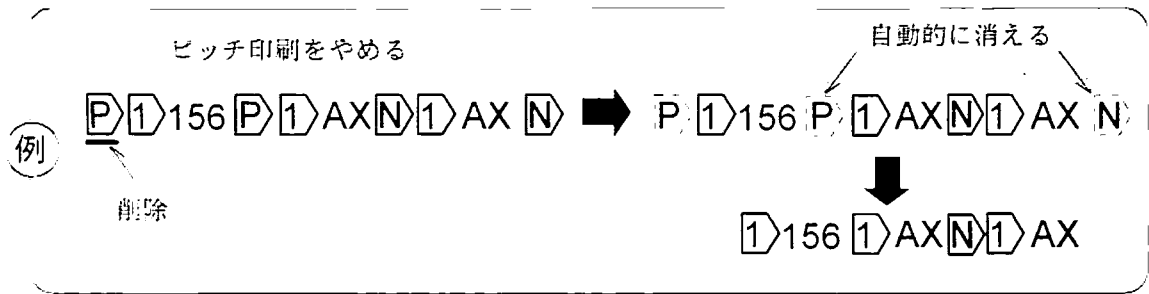


- 継続印刷できる全長は5 mまでです。これを越えるときは**印刷** キーが押された時に「!全長オーバー」のエラー表示をして印刷されません。
- 印刷の印刷長さが1 mをこえるたびに、一時停止します。

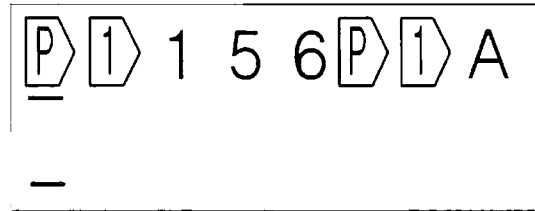
5.6 マークの削除

5.6.1 ピッチ印刷をやめる

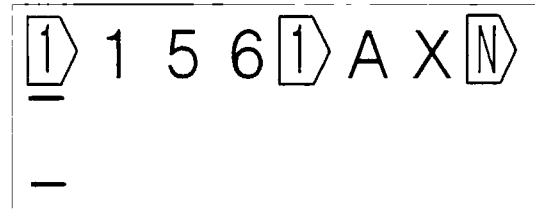
ピッチ印刷をやめて通常の印刷にするには、「全文削除」で入力文書を全てクリアするか、先頭のピッチマークを削除してください。



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して文書の先頭の **P** に移動します。



2. **削除** を押します。



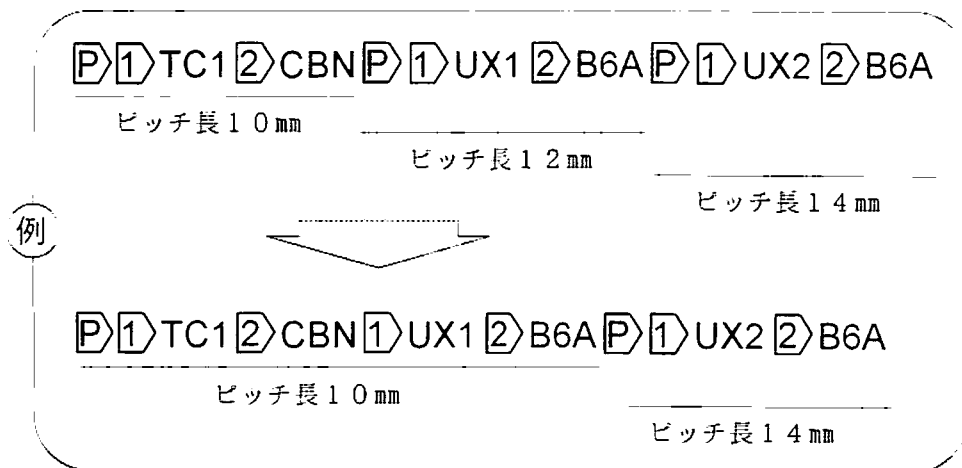
このとき、次のことを自動的に起こします。

- ① 文中にピッチマーク **P** があれば、全部消していきます。
- ② 文中の連番マーク **N** は最初のマークを残して、あとは消していきます。
- ③ これで消された **P** **N** は **機能** → **文字復活前候補** で復活しません。

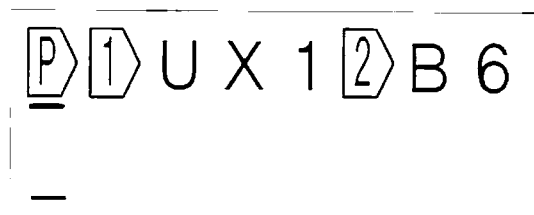
5. 6 マークの削除

5. 6. 2 文中のピッチマークの削除

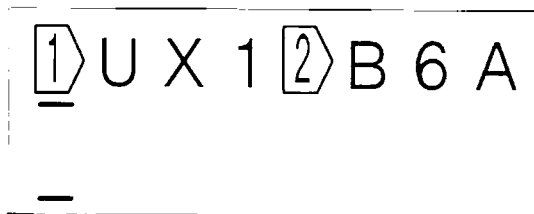
ピッチマークを削除することでそのピッチマーク以降のピッチ長を手前のピッチ長と同じにすることができます。



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して削除したい **P** の下にカーソルを移動します。



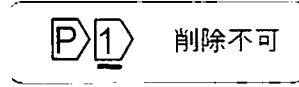
2. **削除** キーを押すと **P** 表示が削除されます。



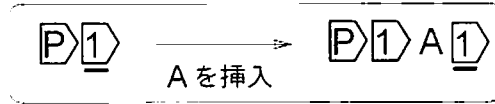
5.6.3 改行マークの削除と挿入

①、②、③、④のマークを削除・挿入するときには次に述べる注意が必要です。

- 1) **①**の様に**②**が手前にあると**①**は削除できません。まず**②**を削除してから**①**を削除してください。



また、**②**間に文字を入力するとその文字の先頭に強制的に**①**がつきます。



- 2) 例えば3行あるときに、2行目の改行マークを消すと3行目の改行マークが**②**に変わります。

①A**①****②**CNT**③**VGC

A1	
CNT	
VGC	



①A**①**CNT**②**VGC

A1CNT	
VGC	

この時 CNTの文字の高さなどの設定値は**②**のときの数値のままです。

上の2)とは逆のケースで

- 3) 例えば2行あるときに、この2行の間にもう一行挿入するときは、以前の2行目の改行マークは**③**に変わります。

①A**①**CNT**②**VGC

A1CNT	
VGC	

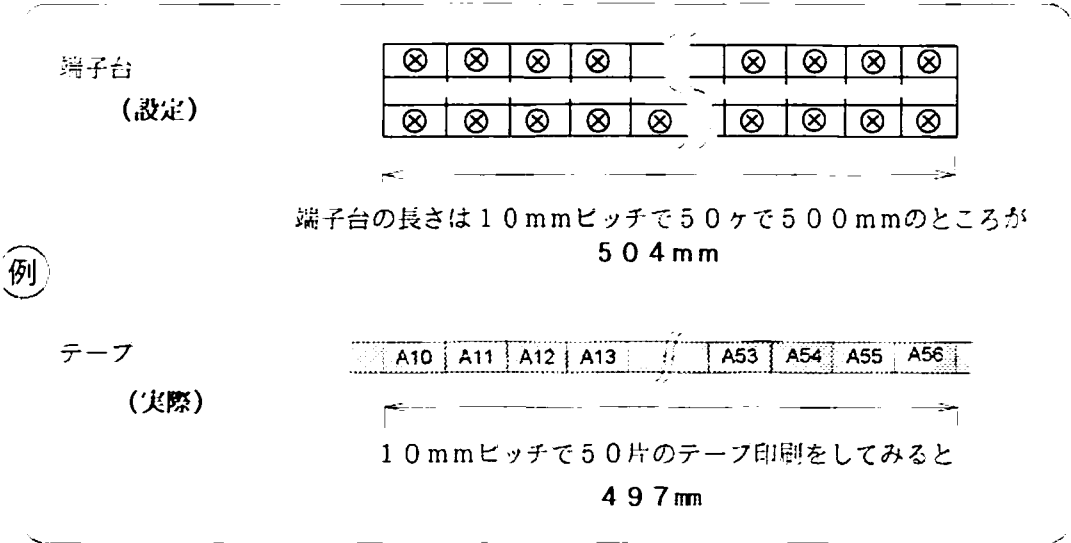


①A**①****②**CNT**③**VGC

A1	
CNT	
VGC	

5.7 ピッチ長の補正機能

端子台はつなげると計算上の長さより長くなったり、また、本機も周りの温度・湿度によってテープの滑りが生じて入力した長さより短かめに出てきたりすることがあります。本機には、端子台の長さとしてテープの長さを合わせるピッチ長の補正機能があります。



1. **機能** → **9** ^{オプション} を押してオプションを選ぶ画面にします。

オプション
◆ 印字長?

2. **前候補** か **次候補** を押して「ピッチ長補正」の設定をえらびます。

オプション
◆ ピッチ長補正?

3. 今設定されている補正值を表示します。初めての入力ならば、右のように0mmを表示します。

→ 設定 0mm
実際 0mm



設定、実際の数値は **削除** キーを押すと0になります。
 設定、実際共に0のときは補正されず、クリアになります。

4. 「設定」には **例** ではかった端子台の長さを入力します。
5 **0** **4** と入力して **次候補** を押し「実際」の入力に移動します。

→設定	5 0 4 mm
実際	0 mm

5. 「実際」には、出てきたテープの長さをキーで入力します。
4 **9** **7** と入力して **確定** を押し補正值入力を終わります。

設定	5 0 4 mm
→実際	4 9 7 mm

6. これで **印刷** キーを押して印刷すれば、500mmの全長で印刷します。

P	1	A	N	_
_				



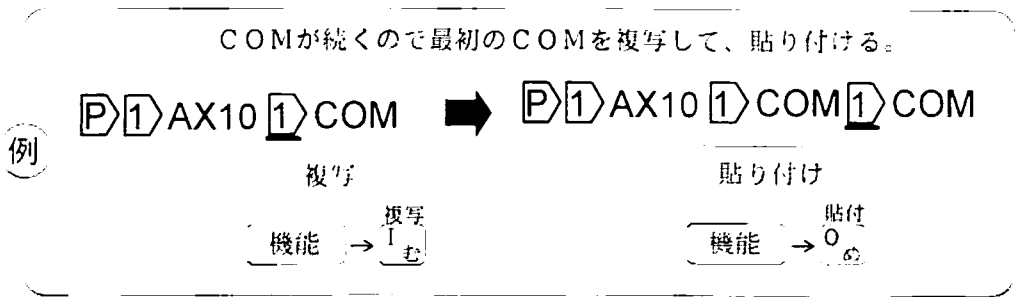
- 補正值は電池でメモリーバックアップされます。また、5、9、12mmテープ個別に記憶します。5mmのテープを使用して補正值を入力しても、9mmテープを使うときは、9mmテープ用の補正值を入力してください。ただし、過去5mmテープの入力がしてあれば、5mmテープに戻ったときに再入力の必要はありません。なお、チューブ印刷でもピッチ補正が有効ですが、その補正值は必ず5mmテープとして記憶されます。
- 一度、補正值が入力されていると、その後、ピッチ長やピッチ数を変えても再入力の必要はありません。ただし、テープ/リボンの固体差によってずれてきたときは、もう一度測って入れなおして下さい。最初に入れる補正はできるだけ長い(1mに近く)例で入力しておく、誤差は少なくなります。

5

端子銘板のレベルを印刷する

5. 8 入力内容の複写、貼り付け

同じ内容のピッチ片が続くような時は、最初のピッチ片を複写して別のところに貼り付けることができます。



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して複写したいピッチ片の **P** または **1** にカーソルを移動します。

X 1 0 **1** C O M

- メモ** **P** の上にカーソルがある時は、そのピッチ長も複写されます。
- 1** の上にカーソルがある時は、ピッチ片の内容が複写されます。

2. **機能** → **1** を押してピッチ片の内容を読み取ります。(複写)

X 1 0 **1** C O M

複写

3. **読み短縮** や **読み伸し** を押して貼り付けたい位置にカーソルを移動します。今回の例では、同じ位置に貼り付けますので、移動させません。

X 1 0 **1** C O M

4. **機能** → **0** を押して複写した内容をカーソルの位置に書込みます。(貼付)

X 1 0 **1** C O M **1**

貼付

6. チューブに印刷する

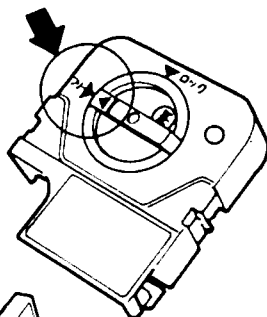
6. 1 チューブアタッチメントのセット

LM360Tはチューブアタッチメントを取り付けると、一般のチューブにも印刷することができます。ご使用できるチューブは下記の通りになっています。チューブカセットの場合は15ページを参照してください。

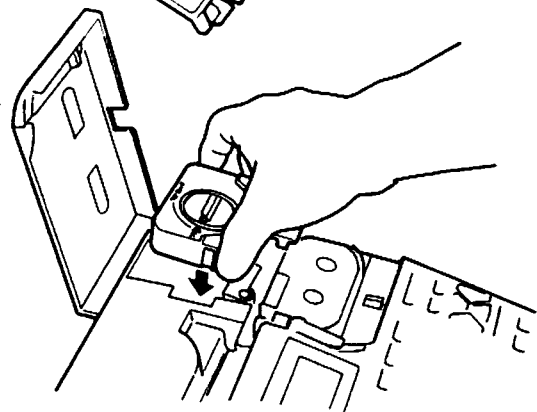
	適用内径	使用温度
マックス製チューブ	Φ3.2、Φ3.6、Φ4.2、Φ5.2	10℃～35℃
一般市販チューブ	Φ3.2、Φ3.6	15℃*1～35℃

*1: 低温モード (参照 100ページ) 使用時

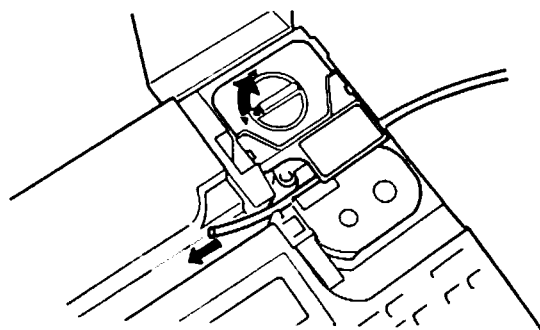
1. アタッチメントがフリー状態になっていることを確認して下さい。
ロック状態では、LM360Tにセットできません。



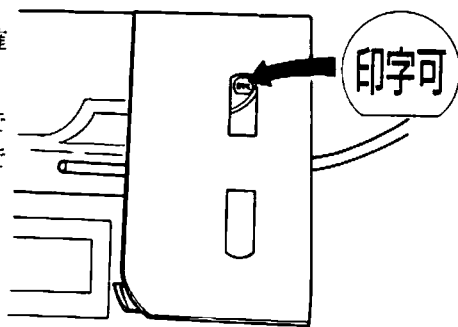
2. 先にインクリボンセットして、図のように真上からセットして下さい。
(電源がONになっていれば、カセットカバーを開けるとOFFになります。ただし、乾電池がセットされていればカセットカバーを閉じた後、もう一度ONにすれば、入力・設定内容が戻ります。)



3. 横からチューブを差し込み、その先端をカッター部から3cm位出します。
続けてアタッチメント上部のつまみをロック位置までまわします。



4. カセットカバーを閉めて、その上部のアクリル窓から緑の印字可が見える事を確かめて下さい。
見えない時はロックされていませので今一度カバーを開けてロックの位置までつまみを回して下さい。



6. 1 チューブアタッチメントのセット

チューブアタッチメントがセットされていると、電源ONの時は常に下記のようなメッセージがでますので、チューブの種類を入力してください。また、ご使用のチューブの種類を変えたいときも、カセットカバーを開けて電源をOFFにし、新しいチューブを差し込んでカバーを閉めて、電源キーをONにしたら、メッセージに従ってチューブの種類を入力してください。

6

チューブに印刷する

5. キーを押して電源をONにすると、
マックス製のチューブ か
一般の市販チューブ かを聞いてきます。

チューブ選択
◆ MAXチューブ

6. か を押して種類を選択して キーを押します。
次はその径を聞いてきます。

チューブ径
◆ Φ 3. 6

メモ MAXチューブを選択するとΦ3. 2、Φ3. 6、Φ4. 2、Φ5. 2
一般チューブを選択すると Φ3. 2、Φ3. 6
の内径のチューブを選択できます。一般チューブは上記2種類ですが、Φ3. 6以上の内径の市販チューブをお使いになると、チューブの送り不良になったり、印刷がカスレたりします。

7. か を押して径を選択して キーを押します。

チューブ径
◆ Φ 3. 2

8. 乾電池がセットされていると電源OFFになった時の確定された入力内容が戻ります。

P 1 R A 0 1 _
_

6. 2 チューブ長の入力

チューブ長の入力は端子銘板用のラベルの時と同様にピッチ長を使います。



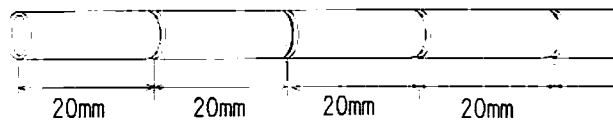
チューブを一定の間隔でハーフカットし、その間に文字を入れる機能は、**P** **1** で実現されます。下記の説明以外にも 5. 1、5. 2 に詳細な内容がありますので、合わせてご覧ください。



チューブアタッチメント使用のチューブ印刷の時は、端子銘板ラベルの時に比べ、印刷できる領域が約 2 mm 短くなりますので、チューブ長は余裕のある長さで入力して下さい。

例

20 mm の長さのチューブを作成します。



1. **機能** → **1** キーを押すとピッチ長 (チューブ長) を聞いてきます

ピッチ長

◆ 10. 0 mm

2. 数字キーを押してピッチ長 (チューブ長) を入力します。

2 **0** **0** と入力します。

ピッチ長

◆ 20. 0 mm



この時に **前候補** か **次候補** を押してピッチ長を入力することもできます。
前候補 **次候補** キーはチョッと押した時は 0. 1 mm 単位で上下しますが押し続けると 1. 0 mm 単位で上下します。一度に大きくしたいときは押し続けてください。

3. **確定** を押すと設定されたピッチマークが文章の先頭に入ります。

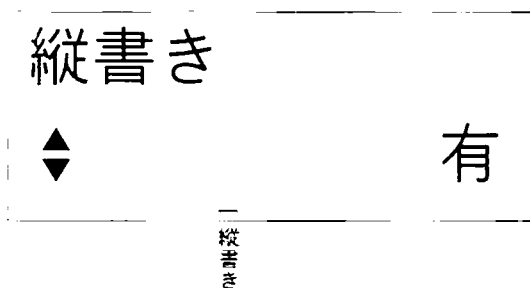
P **1** _

6. 3 チューブの横書きと HALF カットの設定

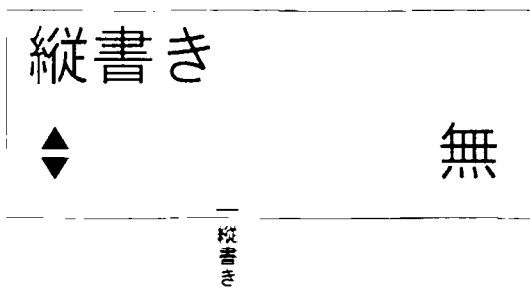
チューブ印刷では、横書きで HALF カットをしますが、LM360T は下記のように簡単にその切り替えを行えます。

横書きに設定する

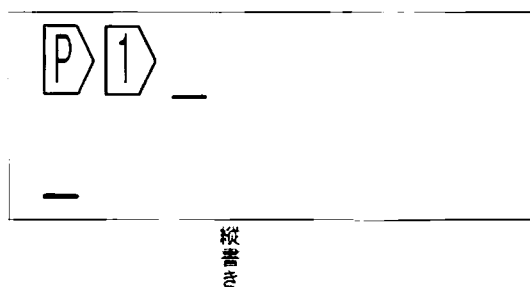
1. **機能** → **縦・横** を押すと左の画面に変わります。
「縦書き = 有」は縦書き印刷のことで、この時インジケータが点灯しています。



2. **前候補** または **次候補** キーを押して横書き印刷を選択します。



3. **確定** キーを押して終了します。
横書き印刷が選定されると、インジケータが消灯します。



6

チューブに印刷する



「5. 3 縦・横の設定」(73 ページ) に詳細に述べていますので、合わせてご覧ください。

6. 3 チューブの横書きと HALF カットの設定

HALF カットに設定する

1. **機能** → **ピッチカット** キーを押すと現在の状態を表示します。現在、チューブの境目にカットが入っていません。

ピッチカット



無

2. **前候補** か **次候補** を押して HALF カットを選択します。

前候補 を押すと次のように変わります。

無 → 有 → 線

ピッチカット



有

3. **確定** を押すと HALF カットに設定されます。

P 1 _

_

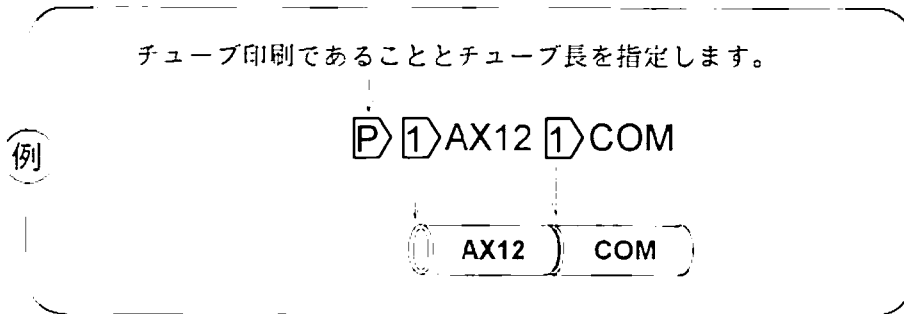


「5. 4 ピッチのカット、仕切り線の設定」(75ページ)に詳細に述べていますので、合わせてご覧ください。

6. 4 チューブのカット位置の指定

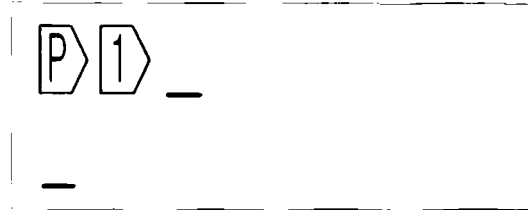
夫々のチューブ片に入る文字列の区切り（ハーフカット位置）は $\boxed{1}$ で指定します。

$\boxed{1}$ は $\boxed{\text{数字}}$ キーで入力できます。

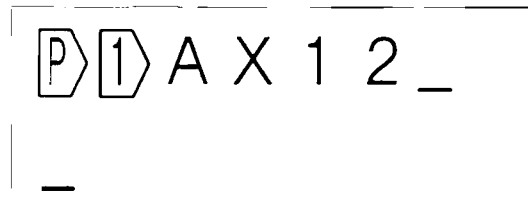


6

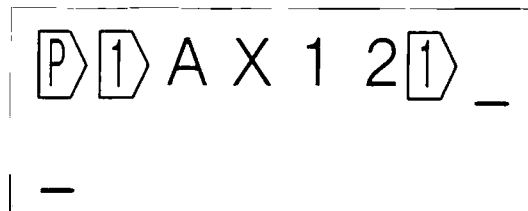
チューブ印刷する



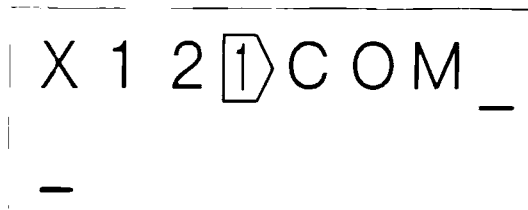
1. \boxed{A} \boxed{X} $\boxed{1}$ $\boxed{2}$
最初のチューブ片の内容を入力します。



2. $\boxed{\text{数字}}$ キーを押してチューブ片の区切りとします。





3. \boxed{C} \boxed{O} \boxed{M}
次のチューブ片の内容を入力します。





6. 5 印刷をする


6. 5. 1 文字の自動サイズ設定


LM360Tは一つのチューブ片に入る最大の大きさの文字を自動的に選択する機能があります。この文字数ならばどのぐらいの文字高さ、文字幅の文字が入るかを気にせずに入力をすることができます。


1.  ^{オプション} →  キーを押すと右の表示になります。



オプション
◆ 印字長？


2.  か  を押して「ピッチ自動サイズ」のオン・オフ設定画面を表示させます。


オプション
◆  自動サイズ？



3.  を押して「ピッチ自動サイズ」の設定画面を選びます。今、自動になっているか、OFFになっているかが表示されます。

 自動サイズ
◆ OFF

4.  か  を押して「ピッチ自動サイズ」を自動にします。

 自動サイズ
◆ 自動

5.  を押して「ピッチ自動サイズ」を自動で設定終了します。

  _
_



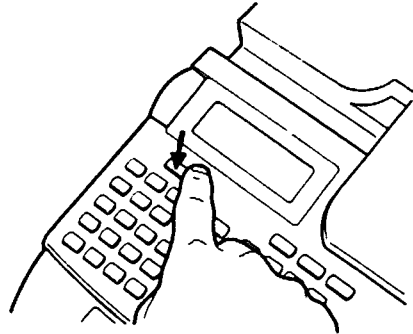
「5. 5. 1 文字の自動サイズ設定」（76ページ）に詳細に述べていますので、合わせてご覧ください。

6. 5. 2 印刷の開始・中断と1 mを越える時の一時停止

入力された内容を印刷するには〔印刷〕キーを押します。もし、印刷内容が1 mを越えるときは印刷を一時停止し、一定時間後に自動的に印刷を再開します。

印刷の中断は〔終了/取消〕キーを使用します。

1. 〔印刷〕キーを押して入力内容の印刷を始めます



2. 印刷中は右の表示がされます。

印刷中 . . .

3. この時〔終了/取消〕キーを押すと印刷を中断し入力状態に戻ります。

X 1 2 ① COM _

4. 印刷が1 mを越える時は右の「継続印刷処理中」の表示が点滅します。

印刷中 . . .
継続印刷処理中

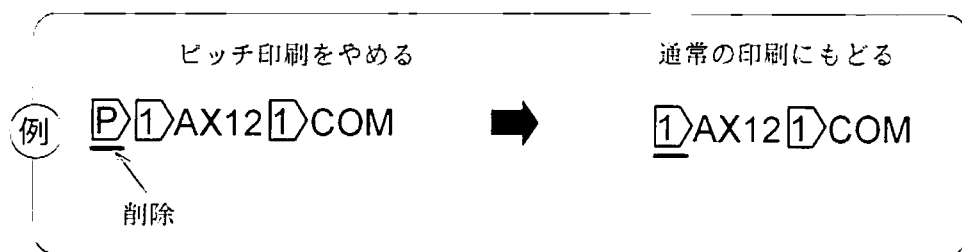
5. しばらくすると自動的に右の表示になって印刷を続けます。

継続印刷中 . . .

★ 継続印刷は5 mまでです。5 mを越えるときは〔印刷〕キーを押した時にエラーとなります。

6.6 チューブ印刷をやめる

チューブ印刷をやめて通常の印刷にするには、「全文削除」で入力文書を全てクリアするか、先頭のピッチマークを削除してください。下記の例は先頭のピッチマークを削除してチューブ印刷をやめる方法です。



1. **読み短縮** キーを押して文書の先頭の **P** にカーソルを移動します。

P 1 A X 1 2 1 C

2. **削除** を押します。

1 A X 1 2 1 C O

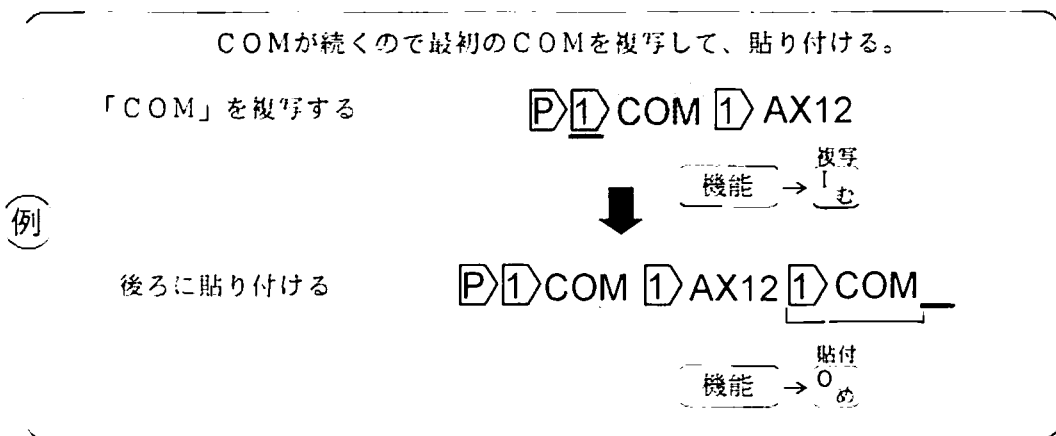


メモ

- 他にピッチマーク **P** があれば、全て削除します。
- 文中の連番マーク **N** は最初のマークを残して、他は削除します。

6.7 入力内容の複写と貼り付け

同じ内容のチューブ片が続く時は、前のチューブ片を複写して別のところに貼り付けることができます。



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して複写したいピッチ片の **1** にカーソルを移動します。

P 1 COM 1 AX

—

2. **機能** → **1** **む** を押してピッチ片の内容を読み取ります。(複写)

P 1 COM 1 AX

— 複写

3. **読み短縮** や **読み伸し** を押して貼り付けたい位置にカーソルを移動します。

OM 1 AX 1 2 _

—

4. **機能** → **0** **め** を押して複写した内容をカーソルの位置に書込みます。(貼付)

X 1 2 1 COM _

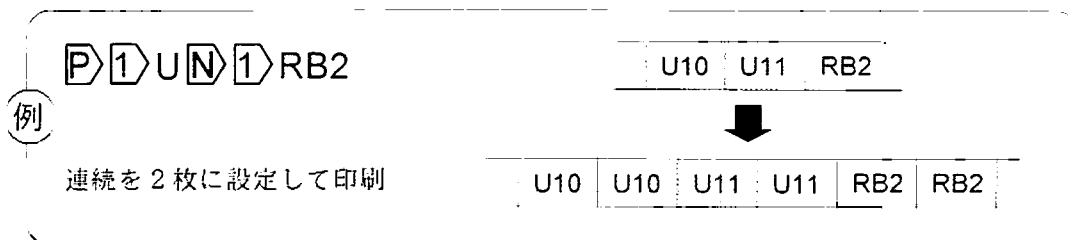
— 貼付

6

チューブに印刷する

6. 8 連番・連続機能との組み合わせ

チューブ印刷で連続機能を使うと複数枚1セットで印刷することができます。



1. 機能 → ^{連続}8 キーを押すと右の表示になり、連続印刷する枚数をきいてきます。

連続印刷

◆ 1枚

2. 数字キーで2を入力するか、
前候補 を押して「2枚」にします。

連続印刷

◆ 2枚

3. 確定 を押すとカットをいれるかどうかきいてきますので 前候補 か 次候補 で選んでください。

連続カット

◆ 無

メモ P が入力されているときは「ピッチカット」が優先されて、連続カットはどんな設定をしても無効です。

P のない通常の印刷では、逆に「連続カット」が優先され、ピッチカットが無効になります。

4. 確定 を押して設定を終了し、印刷 キーを押すと上の例のピッチ2枚ずつの印刷がでできます。また、連番がある場合も、その連番が対で印刷されて出てきます。

低温（20℃以下）の時には、一般のチューブは固くなって滑りやすくなったり、通常以上の高エネルギーで印字する必要があります。このような症状が出ましたら次のような操作で「低温モード」に設定して下さい。

1. **機能** → ^{オプション}**9** キーを押すと右の表示になります。

オプション
◆ 印字長？

2. **前候補** か **次候補** を押して「低温モード」の設定画面を表示させます。

オプション
◆ 低温モード？

3. **確定** を押して「低温モード」の設定画面を選びます。今、低温モード＝有（低温対応印字）になっているか、無（通常印字）になっているかが表示されます。

低温モード
◆ 無

4. **前候補** か **次候補** を押して「有」にします。

低温モード
◆ 有

5. **確定** を押して「低温モード」を「有」で設定終了します。


P 1 _
_





お願い 低温対応モードでは印字エネルギーを上げ、印字速度を遅くします。通常温度で使用するとインクリボンが切れることもありますので外気温が15℃程度で、一般のチューブを使ったときに、印刷が縮む（すべる）、印刷がかすれるといった症状があるときにお使い下さい。

6. 10 6と9、bと6、lと1の区別について

LM360Tはチューブに印刷した時に、上下の判別のつきにくい文字（6、9、b、*l*等）のために特殊な字体が用意されています。



6、6.の選択（9との区別）

 3. 1. 7 6と6、6の切り替え（39ページ）

1.   キーを押してオプションの画面にしたら  キーを押して「6、9印字」選択画面にし、 キーを押します。

オプション


◆ 6、9印字？




2.  キーを押して6、9の数字にアンダーバーをつけるか、点をつけるかを選択して  キーを押します。

6、9印字

◆ 6、9



筆記体文字の選択（bと6、*l*と1の区別）

 3. 1. 6 7種アベット筆記体の入力（38ページ）

1.   を押すと記号の種類をきいてきます。「筆記体？」の表示で  を押してください。

機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① X 1 _
◆ 筆記体？

2. 小文字の筆記体が表示されますので  キーを押してカーソルを文字の下に移動し  キーを押します。

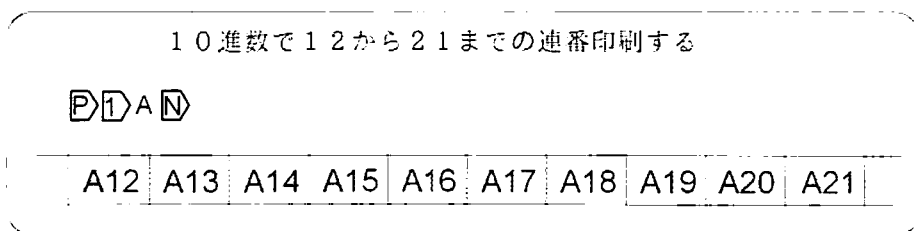
機能
小文字
ローマ字
ひらがな
英数字

① X 1 _
a b c d e f g h

7. 連番を使う

7. 1 連番印刷とは

連番印刷とは開始する数値から終了する数値までを1つずつ増加・減少させて印刷していく機能です。



LM360Tの連番機能では次のことができます。

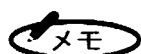
1. 連番させる進数の種類を4種類の中から選べます。

10進数：1～9,10,11～19,20,21・・・

8進数：1～7,10,11～17,20,21～・・・

16進数：1～9,A,B,C,D,E,F,10,11～・・・

アルファベット：A,B,C,D,E,F,G,H,I,J,K,L,M,N,O,P,Q,R,S,T,U,V,W,X,Y,Z



6,9または6,9が選択されている場合は、連番中に印刷される6,9も6,9や6,9になります。

2. 連番設定はピッチ印刷（チューブ印刷）ならば1つの文章に15回まで入力できます。

P1 U N 1 C B N 1 X N …… 1 A N 1 G N 0

① ② ③ ④ ⑤

①②③～④⑤とも異なる連番設定ができます。

- 1ピッチ長内には1つの N しか入りません。
- ピッチ印刷でない通常の印刷では1つの N しか入りません。

7. 1 連番印刷とは

3. 連番設定は **N** で表示しますので色々な場所に置くことができます。

最下位に・・・	A N 0	A3	A4	A5	A6	A7	A8
途中の桁を上げる・・・	2 N 0	2A3	2B3	2C3	2D3	2E3	2F3
最上位の桁を上げる・・・	N X1	5X1	6X1	7X1	8X1	9X1	AX1

7

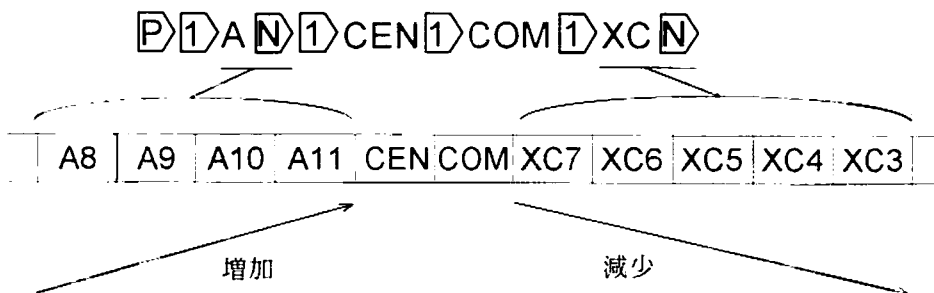
連番を使う

4. 入力された桁数に合わせて増加・減少していきます。

開始：8	A8	A9	A10	A11	A12
終了：12					

開始：008	A008	A009	A010	A011	A012
終了：012					

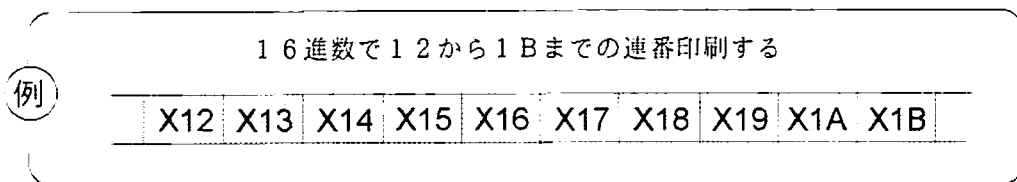
5. 連番は増加方向、減少方向のどちらでも選べ、しかも混在できます。



7. 2 入力の方法

7. 2. 1 連番マークの入力

ピッチ印刷（チューブ印刷）のときは、異なる連番の設定を15回まで入力できます。設定は連番の種類で4種類、始まりと終了が入力できます。



P 1 X _

連番

1. 機能 → ^{連番}₅ お キーを押すと連番の種類をきいてきます。

進数は？



8進数

2. [▼]次候補 を押すごとに下図のように変化します。
^{前候補} ▲ は下図の矢印が逆方向に変化します。

進数は？






16進数

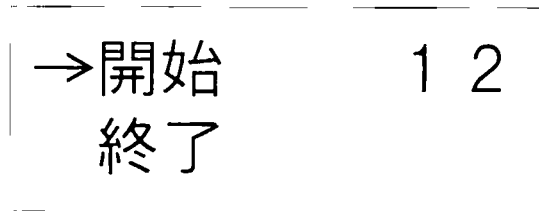
8進数 → 10進数 → 16進数 → アルファベット



3. 確定 を押すと開始数値と終了数値をきいてきます。
数値やアルファベットはキー入力です。


→ 開始
終了



4.   と押して開始の数値を入力をします。

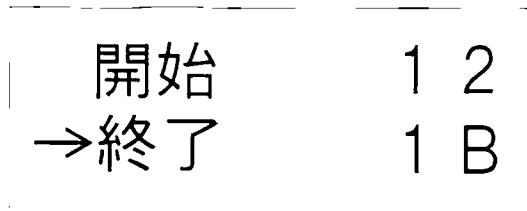
入力し終わったら  キーを押して終了の数値の入力にうつります。




5.   と押して終了の数値を入力をします。

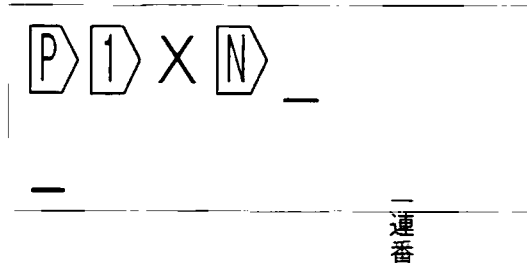
 キーを押すと開始の数値にカーソルを移して入力をやり直すことができます。

このように 、 キーは開始数値と終了数値の間のカーソルの移動に使い、入力をやり直すことができます。



6.  を押すとカーソル位置に連番マークが挿入されます。

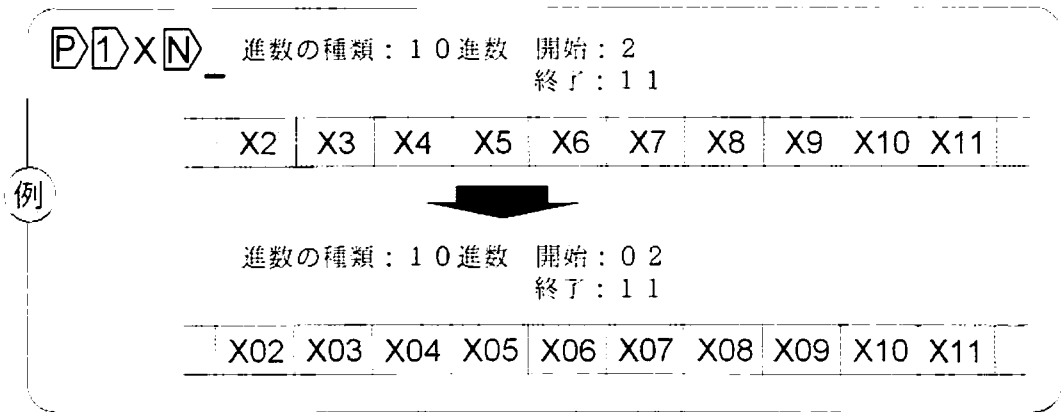
また、入力文書に連番マークがあることを示すインジケータが点灯します。



- 1ピッチ長内に入れられる連番マークは1つです。
- ピッチ印刷ではない通常の印刷では、入力できる連番マークは1つです。

7. 2 入力の方法

7. 2. 2 連番マークの編集



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して
換えたい連番マークまでカーソルを
移動します。



—

—
連番

2. **機能** → **進番** **お** キーを押すと現在
設定されている連番の種類が表示
されます。
これは変更しませんので **確定**
を押します。

進数は？



10進数

3. 現在設定されている開始、終了の
数値が表示されます。

この時 **前候補**、**次候補** キーに
よってカーソルを開始、終了の数
値に移動でき、必要な方を変更で
きます。

→開始 2
終了 11

4. **削除** キーを押して前の内容を削除します。

→開始	
終了	1 1

5. **0** **2** と新しい数値を入力します。

→開始	0 2
終了	1 1

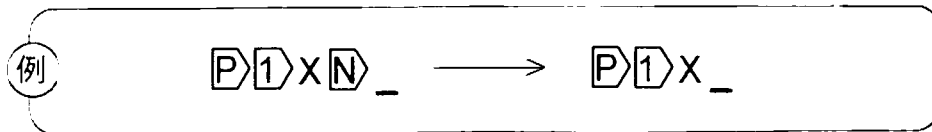
6. **確定** キーを押して変更を終了します。

P	1	X	N
—			
連番			

7. 2 入力の方法

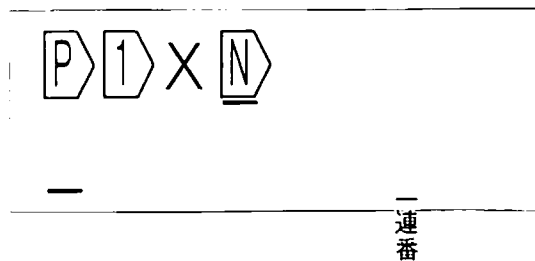
7. 2. 3 連番マークの削除

連番マークは普通の文字と同じで、削除キーで削除することができます。

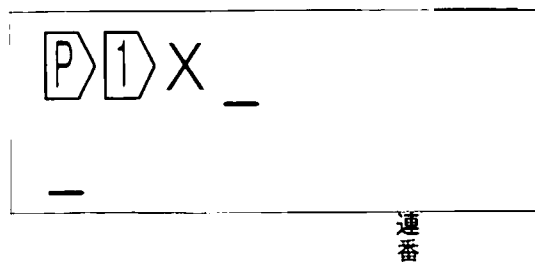


1. **読み短縮** キーを押して消したい連番マークのところまでカーソルを移動します。

(変換画面には何も入力がないこと)



2. **削除** キーを押して連番マークを削除します。



★ 一度消してしまった連番マークは **機能** → **文字復活
前候補** キーで復活させることができません。

8. その他の印刷の機能

8. 1 連続印刷

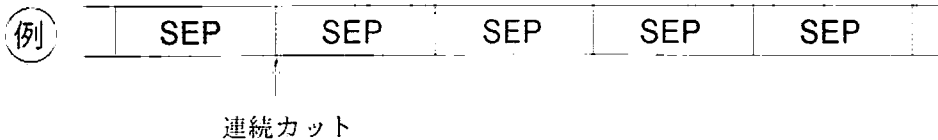
同じ内容で何枚も印刷したいときに、連続印刷の枚数を指定できます。



P の入力されている文書の場合は

6. 8 連番・連続機能との組み合わせ (99 ページ) をご覧ください。

① SEP を連続5枚、カットを入れて印刷する



① SEP _

連続

1. **機能** → ^{連続} **8** キーを押すと右の表示になり、連続印刷する枚数をきいてきます。

連続印刷



1枚

連続

2. 数値キーで印刷枚数を入力します。

5 を押してください。

数値キー以外にも **前候補** **次候補** を使って設定することもできます。

連続印刷

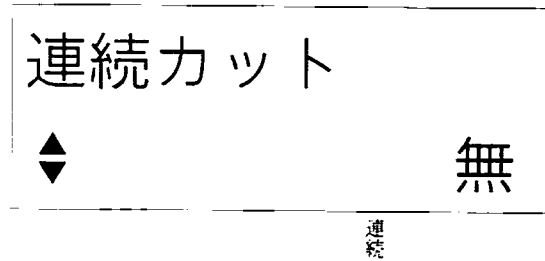


5枚

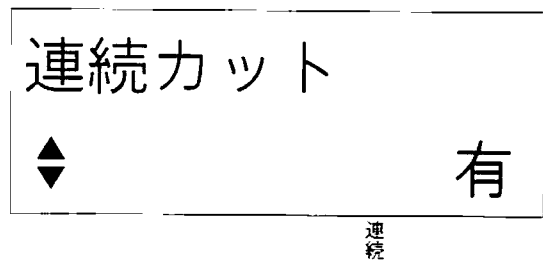
連続

- 連続の枚数は最大50枚までです。

3. **確定** を押すとカットをいれるかどうかきいてきます。

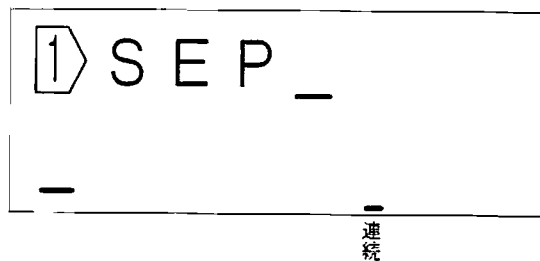


4. **前候補** か **次候補** を押して「有」にします。



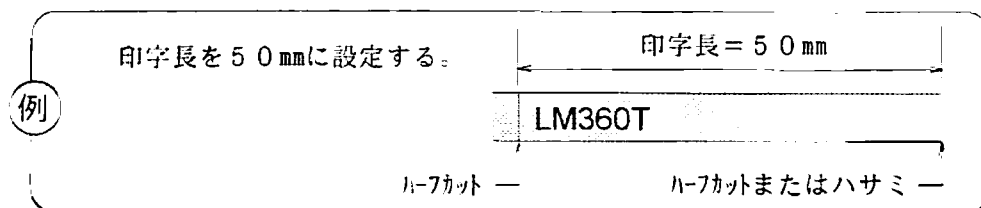
- ★ 通常印刷 (**P** の無い) の時の連続カット「有」は 入力文書の印刷開始位置にハーフカットが入ります。

5. **確定** を押して設定を終了し、**印刷** キーを押すと「SEP」が5枚、ハーフカットされながら印刷されます。
連続枚数が1枚以外ならばインジケーターが点灯します。



8. 2 設定した長さの印刷をする

あらかじめ印刷されて出てくるテープ・チューブの長さを指定できます。
ただし、**P** の入っている文書では、この指定は無効です。



1. **機能** → **9** ^{オプション} を押すと左の画面に変わります。

オプション
◆ 印字長？

印
字
長

2. **確定** を押すと左の画面に変わり、
印字長の設定に入ります。

印字長
◆ 自動

印
字
長

3. 数値キーで **5** **0** と入力します。
また、**前候補** **次候補** キーを使って
設定することもできます。

印字長を自動に設定したいときは、
このときに **削除** キーを押
します。

印字長
◆ 50 mm

印
字
長

4. **確定** キーを押して終了します。
印字長 = 自動以外の設定をすると
インジケーターが点灯します。

なお、設定できる範囲は
10 mm ~ 300 mm までです。

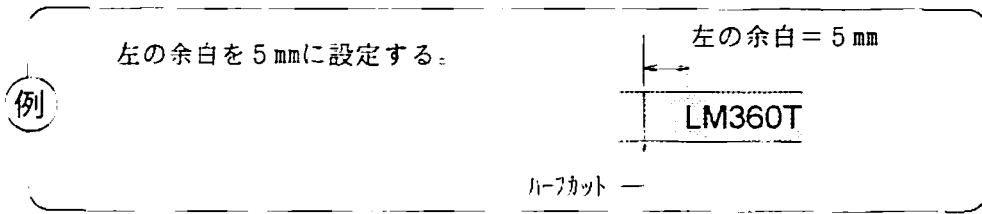
P **1** L M 3 6 0 T

印
字
長

8. 3 印刷の左右の余白を決める

ラベルの両端の余白の長さが入力できます。

ただし、**P** の入っている文書では、この指定は無効です。



例は左の余白の場合ですが、右の余白のときも同じですので、() 内で示しました。

1. **機能** ^{オプション} → **9** を押すと左の画面に変わります。

オプション
◆ 印字長？

2. **次候補** を押して「左マージン」(右マージン) を表示させます。

オプション
◆ 左マージン？

3. **確定** を押すと左マージン(右マージン) の設定に入ります。

左マージン
◆ 2 mm

4. 数値キーで **5** と入力します。
また、**前候補** **次候補** キーを使って設定することもできます。
設定範囲は 2 mm ~ 30 mm までです。

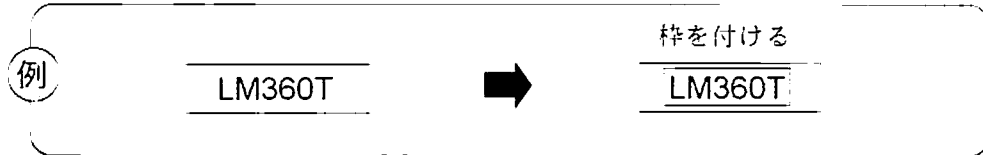
左マージン
◆ 5 mm

5. **確定** を押して設定を完了します。

P **1** L M 3 6 0 T
—

8. 4 枠囲みをいれる

枠囲みを「有」に設定すると、文章が四角い枠で囲まれて印刷されます。



1. **機能** → **9** オプション を押すと左の画面に変わります。

オプション
◆印字長？

2. **次候補** を押して「枠囲み」を表示させます。

オプション
◆**枠囲み**？

3. **確定** を押すと左の画面に変わり、枠囲みの有無設定に入ります。

枠囲み
◆ **無**

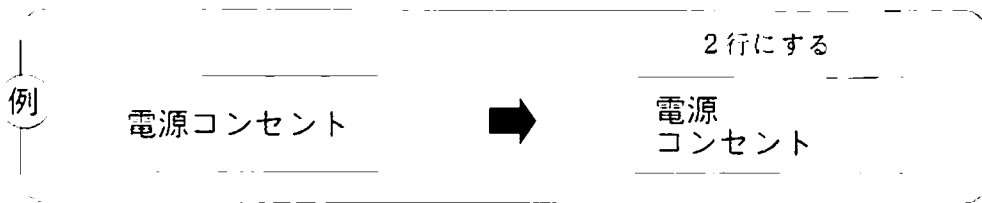
4. **前候補** か **次候補** キーを押して「有」を表示させます。

枠囲み
◆ **有**

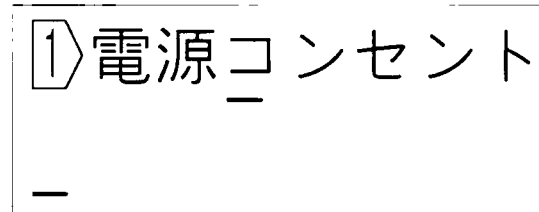
5. **確定** を押して設定を終了します。
枠囲み＝「有」の設定をするとインジケーターが点灯します。

P **1** L M 3 6 0 T
— —
枠囲み

最大4行までの改行ができます。いままでの説明のなかでも何度かでてきていますので、5.2 ①②③④の意味と使い方(71ページ)、84ページも参考にしてください。



1. **読み短縮** や **読み伸し** キーを押して改行したい文字の下にカーソルを移動します。



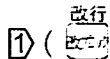
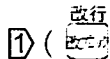
2. **機能** → **改行** キーを押して2行目改行マークを挿入します。








メモ

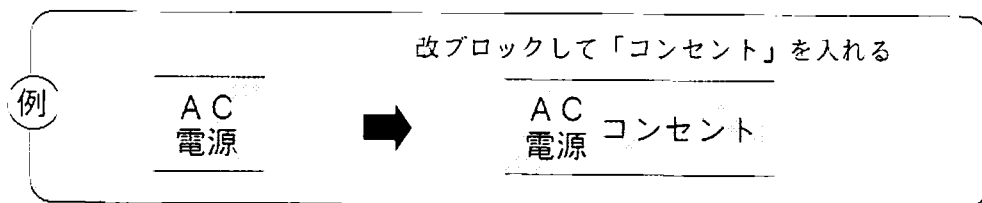
テープ・チューブの種類と文字の高さによって改行できる数が異なります。通常の印刷時に「!行数オーバー」の表示がでましたら、49ページに表がありますので参考にしてください。



8. 6 改ブロックする



通常の印刷のとき  () は改ブロックの機能になります。




改ブロックを使うと1枚のラベルに1行書きや2行、3行書きがいっしょにあるラベルを作ることができます。

 ピッチ印刷のときはピッチの区切りになりますので
5.2     の意味と使い方 (71ページ)
を参照してください。




 A C  電源 _
_

1.  キーを押して改ブロックマーク  を挿入します。

 A C  電源  _
_

2. 「コンセント」を入力します。

源  コンセント _
_

9. その他の機能

9. 1 オートパワーオフの取消

オートパワー機能がオンになっていますと、約5分間何のキー操作も行われなかったときは節電のために自動的に電源が切れます。メモリーカードの電池交換の際は、オートパワー機能オンのままですとメモリー内容が消えてしまうことがありますので、電池交換の作業中は次の操作でオートパワー機能をオフにしてください。

例 オートパワー機能をオフにする。(キー操作を5分間しなくとも電源が
きれない。)

1. **機能** → **9** を押すと左の画面に変わります。

オプション
◆印字長？

2. **次候補** または **前候補** を押して
「パワーオフ」を表示させます。

オプション
◆パワーオフ？

3. **確定** を押すと今の設定の「有/
無」が表示されます。
「パワーオフ=有」がオートパワー
オフの機能がオンで、「パワーオフ
=無」がオフです。

パワーオフ
◆ 有

4. **次候補** または **前候補** を押して
「無」にし、**確定** を押して設定
を終了します。

パワーオフ
◆ 無

「キー音=有」に設定されていますと、キーが押されるごとに「ピッ」という音がしてキーが押されたことを知らせます。この音は「キー音=無」に設定することで鳴らないようにできます。

例 キーを押しても「ピッ」という音がでないようにする。

1. **機能** → **9** を押すと左の画面に変わります。

オプション
◆印字長？

2. **次候補** 又は **前候補** を押して「キー音」を表示させます。

オプション
◆キー音？

3. **確定** を押すと今の設定の「有/無」が表示されます。
「キー音=有」がキー入力のたびに「ピッ」音を出し、「キー音=無」で音を出しません。

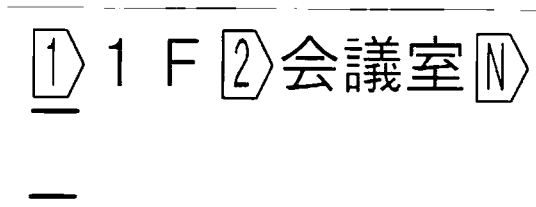
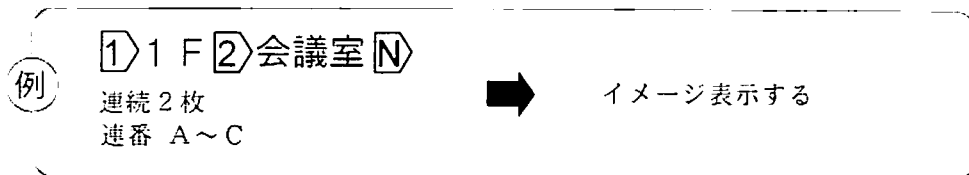
キー音
◆ 有

4. **次候補** または **前候補** を押して「無」にし、**確定** を押して設定を終了します。

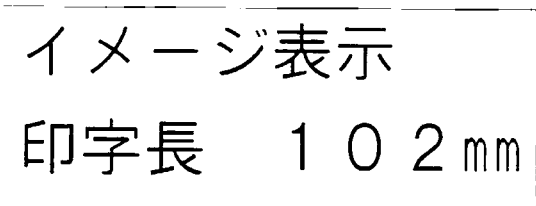
キー音
◆ 無

9.3 イメージ表示

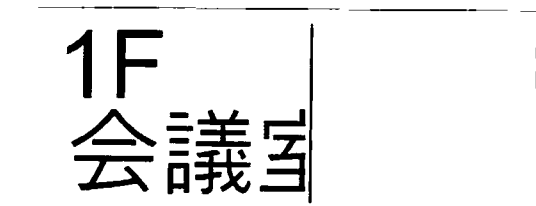
テープに印刷する内容をあらかじめ表示することができます。複雑な設定をしたので印刷前に印刷内容を確認するとき、印字したら何mmのテープが出てくるか等を知りたいときにつかいます。



1. 機能 → ^{イメージ}P を押すと、印刷したら全長で何mmの文字の長さになるかを表示します。



2. 印字する内容を表示していきます。
もし、入力に連続が複数枚設定してあっても表示されるのは1枚分です。
また、連番は開始の数値だけが表示されます。



3. イメージの表示が終わったら連続の設定枚数と連番の増減値を表示します。(ピッチ印刷では、連番の増減値が表示されません。)



変換が面倒な言葉やよく使う記号の並びなどは、番号で登録しておいて、その番号で呼び出して使うことができます。登録できるのは、最大5文字で30番地までです。

9. 4. 1 語句を登録する。

例 「制御の模式図」の「模式図」をNo.12に登録する。

1. **機能** ^{語句登録} → **呼び出し** を押すと左の画面に変わります。

2. **次候補** または **前候補** を押して登録を表示させ **確定** を押します。

次候補 を押すごとに表示は次の様になります。**前候補** は逆回りします。

呼び出し → 登録 → 削除 → 初期化

3. 登録する語句の先頭の文字はどれかをきいてきますので、**読み短縮** や **読み伸し** キーを押してカーソルを移動します。

① 制御の模式図

語句登録

◆ 呼び出し？

語句登録

◆ 登録？

① 制御の模式図

登録開始位置？

9. 4 語句登録

4. **確定** を押すと語句登録する先頭の文字が白黒反転し、「登録終了位置」をきいてきます。

① 制御の**模**式 ㊄
登録終了位置？

5. **読み出し** を押して登録して登録する語句の最後尾にカーソルを移動します。この時、移動すると白黒反転の範囲も広がります。**読み短縮** キーで戻すこともできます。

① 制御の**模**式 ㊄
登録終了位置？

6. **確定** キーを押して語句登録の範囲入力を終了すると、この語句を何番に登録するかをきいてきます。番号と、そこに登録されている内容を表示します。

登録番号？
1. 空調制御

7. **次候補** または **前候補** キーを押して No. 1 2 にします。このとき **次候補** キーが番号の増加方向になります。

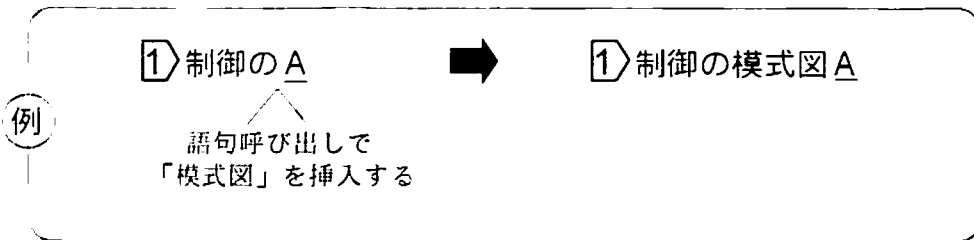
登録番号？
1 2.

8. **確定** キーを押して登録を終了させます。

① 制御の**模**式 ㊄
—

★ **P** ① ② ③ ④ **N** の入っている語句は登録できません。

9. 4. 2 登録してある語句を呼び出す



1. **読み短縮** や **読み押し** キーを押して
カーソルを語句呼び出しをしたい
位置に移動します。

①制御のA
—

2. **機能** → **空白** 語句登録 を押すと左の画
面が変わりますので、**確定** キー
を押します。

語句登録
◆呼び出し？

3. **次候補** または **前候補** キーを押して
No. 1 2にします。

登録番号？
1 2. 模式図

4. **確定** キーを押すと呼び出した語句
が挿入されます。

①制御の模式図A
—


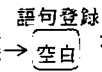
9
その他の機能

9. 4 語句登録

9. 4. 3 登録した語句を削除する




語句の登録は、すでに内容がある番号に登録するときは「上書き」になりますので特に削除する必要はありませんが、整理のために削除していくには次のようにします。

例) 登録されている No. 3 の語句を削除する。

1.   を押すと左の画面に変わります。



語句登録

◆呼び出し？

2.  または  を押して「削除」を表示させ  を押します。


語句登録

◆削除？

3.  または  キーを押して No. 3 にします。

登録削除

3. 外入り電源

4.  キーを押すと No. 3 の語句が削除されます。

1 _
_

9. 4. 4 登録した語句をすべて削除する

1. **機能** → **空白** を押すと左の画面に変わります。

語句登録

◆呼び出し？

2. **次候補** または **前候補** を押して「初期化」を表示させ、**確定** を押します。

語句登録

◆初期化？

3. 本当に全部消していいかどうか確認してきます。
確定 押せばすべて消します。
終了/取消 押せば全消去をやめて、入力画面にもどります。

登録初期化
実行？

4. **確定** キーを押してすべての登録された語句が消え、入力画面にもどります。

1
—
—

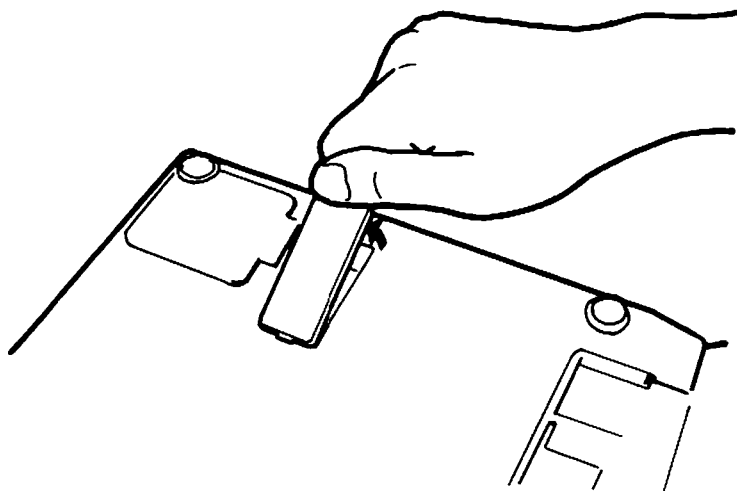
9

その他の機能

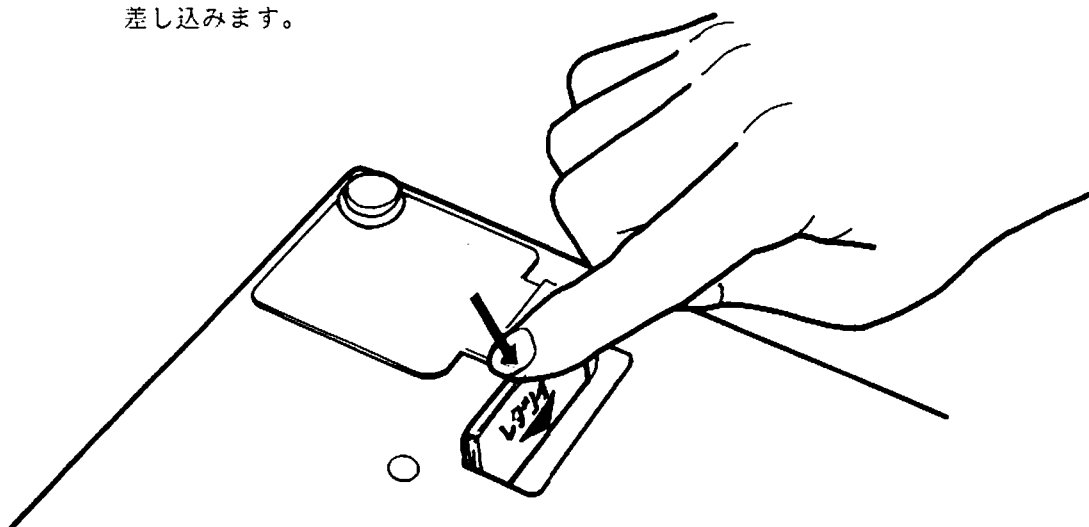
10. メモリーカードの使い方

10.1 メモリーカードの入れ方

1. メモリーカードを抜き差しするときは、LM360Tの電源をオフにしてください。
2. LM360Tを裏返し、メモリーカードカバーを開けます。





3. メモリーカードの表面を手前にして、奥の壁に沿わせて突き当たるまで差し込みます。



参照 新しいメモリーカードをお使いのときは、134ページを参考にしてメモリーカードにリチウム電池を入れてください。

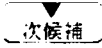


10.2 メモリーカードの初期化の仕方

メモリーカードはご購入後、次の操作で「初期化」を行ってください。また、いままでLM300、LM350でご利用のメモリーカードも一度LM360Tで「初期化」をしないとご利用になれません。

1.  →  を押します。

初めてLM360Tでこのカードを使うときは、3. がなく、すぐに

4. になります。

2. すでにLM360Tで使用していたカードを「初期化」したいときは、 または  を押して右の表示を出して  を押してください。

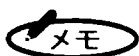
文書登録

◆初期化？


3. 本当に「初期化」してもいいか、確認してきます。

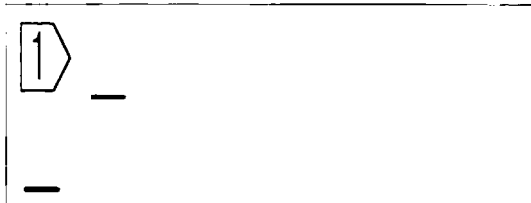
登録初期化

実行？



この「初期化」を行うとメモリーカードに記憶されていた内容はすべて消えますのでご注意ください。

4.  を押すと初期化が始まり、終了すると入力画面にもどります。



10

メモリーカードの使い方

10.3 文書の登録

入力画面に表示されている文書（500文字分すべての入力）とその設定内容をメモリーカードに記憶します。登録できる数は1枚のメモリーカードで12通り用意されています。

例

P **1** **RE** **N** **2** **SS1** を今設定されている内容（文字サイズや連続枚数等）ごとメモリーカードのNo. 4に登録する。

1. **機能** → ^{カード} **0** _ほ を押すと左の画面に変わります。

2. **次候補** または **前候補** を押して「登録」を表示させ、**確定** を押します。

3. **次候補** または **前候補** を押して登録したい番号が空いているか確認しながらさがします。
もし、登録内容が無いときは右の様に表示されます。
なお、**次候補** が番号の増加方向です。

4. **確定** を押して登録を終了すると入力画面にもどります。

文書登録

◆呼び出し？

文書登録

◆登録？

登録番号

4

登録無

P **1** **RE** **N** **2** **SS**

メモ

既に登録内容がある番号に登録すると、それまで登録していた内容を消去して「上書き」の記憶をおこないます。

例 No. 4に登録されている **P1REN2SS1** を呼び出します。

1. **機能** → **カード** を押すと左の画面に変わります。「呼び出し」をします
確定 を押します。

文書登録
◆呼び出し？

2. **次候補** または **前候補** を押して呼び出したい番号を表示で確認しながらさがします。
次候補 が番号の増加方向です。

呼出番号 4
P1REN2SS

3. **確定** を押して呼び出しをおこないます。
このとき、入力画面の内容や、設定していた内容は「呼び出し」た内容に変わります。

P1REN2SS

10.5 登録文書の削除

文書の登録は、すでに内容がある番号に登録するときは「上書き」になりますので特に削除する必要はありませんが、整理のために削除していくには次のようにします。

例 No. 4に登録されている **P** **1** **RE** **N** **2** **SS1** を削除します。

1. **機能** → **0** ^{カード} **ほ** を押すと左の画面に変わります。

文書登録

◆呼び出し？

2. **次候補** または **前候補** を押して「削除」を表示させ、**確定** を押します。

文書登録

◆削除？

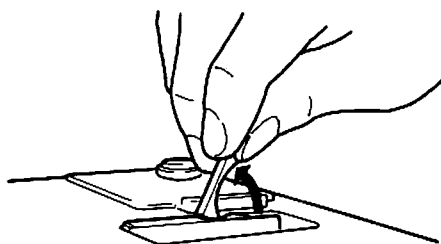
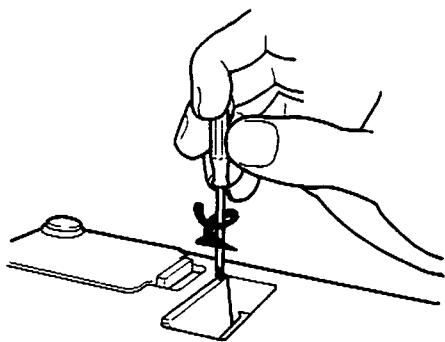
3. **次候補** または **前候補** を押して削除したい番号を表示で確認していきます。
なお、**次候補** が番号の増加方向です。

削除番号 4
P **1** **RE** **N** **2** **SS**

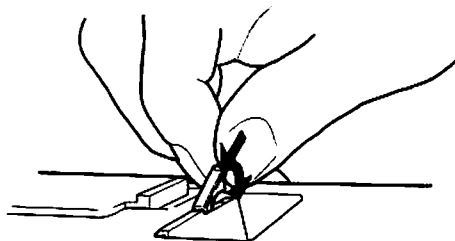
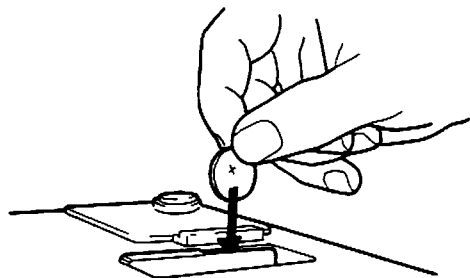
10.6 メモリーカードの電池交換

準備として、小型のプラスドライバー（メモリーカードに付属していたもの）と市販の「CR2025」リチウム電池を1ヶをご用意ください。

1. LM360Tの電源をONにして、オートパワー機能をオフ（119ページ）にします。
2. 本体を裏返し、メモリーカードカバーをとります。
3. プラスドライバーでネジをとります。
4. 電池のフタをつまみとります。



5. 電池を取り出し、新しい電池を差し込みます。
6. フタを電池を押すようにしながら、ツメから差し込みます。



7. ネジ止めして終了です。オートパワー機能をもう一度オンにしてください。新品のリチウム電池をセットしますと、約3年メモリーカードに登録された内容を記憶できます。カード操作時に「!カード電池交換」が表示されましたら交換時期です。

⚠ 警告



リチウム電池（ボタン電池）はお子様の手の届かないところに保管して下さい。メモリーカードにはリチウム電池が使われています。万一誤ってリチウム電池を飲み込んでしまった時は、すぐに医師の指示を受けてください。

10

メモリーカードの使い方

1 1 . 資料

1 2 . メンテナンス

1 3 . 消耗品・オプション一覧

11.1 ローマ字入力表

あ	A	YI WU	あ	LA		き	KYA		て	THA			
い	I		い	LI		き	KYI		て	THI			
う	U		い	LU		き	KYU		て	THU			
え	E		い	LE	き	KYE	て	THE					
お	O		い	LO	き	KYO	て	THO					
か	KA	CHI	が	GA		ぎ	GYA		で	DHA			
き	KI		が	GI		ぎ	GYI		で	DHI			
く	KU		が	GU		ぎ	GYU		で	DHU			
け	KE		げ	GE	ぎ	GYE	で	DHE					
こ	KO		ご	GO	ぎ	GYO	で	DHO					
さ	SA	JI	ざ	ZA		じ	SYA	SHA	じゃ	ZYA	JYA	JA	
し	SI		ざ	ZI		じ	SYI	じ	SYI	じ	ZYI	ZYI	
す	SU		ざ	ZU		じ	SYU	じ	SYU	じ	ZYU	JYU	JU
せ	SE		ざ	ZE		じ	SYE	じ	SYE	じ	ZYE	JYE	JE
そ	SO		ざ	ZO		じ	SYO	じ	SYO	じ	ZYO	JYO	JO
た	TA		だ	DA		ぢ	DYA	ぢ	DYA	ぢ	TYA	CHA	CYA
ち	TI		ぢ	DI		ぢ	DYI	ぢ	DYI	ぢ	TYI		CYI
つ	TU	ぢ	DU	ぢ	DYU	ぢ	DYU	ぢ	TYU	CHU	CYU		
つ	TE		で	DE	ぢ	DYE	ぢ	DYE	ぢ	TYE	CHE	CYE	
と	TO		ど	DO	ぢ	DYO	ぢ	DYO	ぢ	TYO	CHO	CYO	
な	NA	FU	に	NYA		ひ	HYA		び	BYA			
に	NI		に	NYI		ひ	HYI		び	BYI			
ぬ	NU		に	NYU		ひ	HYU		び	BYU			
ね	NE		に	NYE		ひ	HYE		び	BYE			
の	NO		に	NYO		ひ	HYO		び	BYO			
は	HA		ば	BA		び	PA						
ひ	HI		ば	BI		び	PI		び	PU			
ふ	HU		ば	BU		び	PU		び	PE			
へ	HE		ば	BE		び	PE		び	PO			
ほ	HO		ば	BO		び	PO						
ま	MA		み	MYA		ふ	FA		び	PYA			
み	MI		み	MYI		ふ	FI		び	PYI			
む	MU		み	MYU		ふ	FI		び	PYU			
め	ME		み	MYE		ふ	FE		び	PYE			
も	MO		み	MYO		ふ	FO		び	PYO			
や	YA	ゃ	LYA										
		ゅ	LTU										
		ゅ	LYU										
ゆ	YU												
い	YE												
え	YO												
ら	RA		り	RYA									
り	RI		り	RYI									
る	RU		り	RYU									
れ	RE		り	RYE									
ろ	RO		り	RYO									
わ	WA												
う	WI												
う	WE												
え	WO												
を	NN												
ん	NN												

項目	記号								項目	記号									
数字	'93	'94	'95	'96	'97	'98	'99	'00	上付文字	0	1	2	3	4	5	6	7		
	'01	'02								8	9	-	+	()	a	b		
	10	11	12							c	x	y	z	α	β	γ			
	I	II	III	IV	V	VI	VII	VIII		下付文字	0	1	2	3	4	5	6	7	
	IX	X									8	9	-	+	()	a	b	
	i	ii	iii	iv	v	vi	vii	viii			c	x	y	z	α	β	γ		
	ix	x									電設①	♂	♀	±	⊕	⊖	⊗	⊙	⊚
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧				⊛	⊜	⊝	⊞	⊟	⊠	⊡	⊢
	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯				⊣	⊤	⊥	⊦	⊧	⊨		
	⑰	⑱	⑲	⑳								⊩	⊪	⊫	⊬	⊭	⊮	⊯	⊰
ギリシャ	A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	電設②			⊱	⊲	⊳	⊴	⊵	⊶	⊷	⊸
	I	K	Λ	M	N	Ξ	O	Π				⊹	⊺	⊻	⊼	⊽	⊾	⊿	
	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω				⊚	⊛	⊜	⊝	⊞	⊟	⊠	⊡
	α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ		⊢		⊣	⊤	⊥	⊦	⊧	⊨	⊩	
	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π		⊪		⊫	⊬	⊭	⊮	⊯	⊰	⊱	
	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω		その他		ヴ	カ	ケ					
	英字丸囲い	Ⓐ	Ⓑ	Ⓒ	Ⓓ	Ⓔ	Ⓕ	Ⓖ			Ⓗ	唄	伎	嘸	粹	嗜	播	狷	喝
		Ⓘ	Ⓝ	Ⓞ	Ⓟ	Ⓠ	Ⓡ	Ⓢ			Ⓣ	葛	喝	既	卿	俠	僅	軀	倦
		Ⓚ	Ⓛ	Ⓜ	Ⓝ	Ⓟ	Ⓠ	Ⓡ			Ⓢ	鹼	麴	飶	屢	會	繡	蝕	啄
		Ⓚ	Ⓛ	Ⓜ	Ⓝ	Ⓟ	Ⓠ	Ⓡ			Ⓢ	巽	箏	塚	摑	鄭	填	瀆	潑
Ⓚ		Ⓛ	Ⓜ	Ⓝ	Ⓟ	Ⓠ	Ⓡ	Ⓢ	麵		萊	搔	吉	高	焮	痲	痊		
単位	mm	cm	km	mm ²	cm ²	m ²	km ²	mm ³	痘		瘙	癩	癩	窠	癰	孛	祗		
	cm ³	m ³	cc	ml	dl	l	mg	kg	舐		眈	黎	鬱	鷗	蟬	啞	飴		
	Å	°C	°K	mA	kΩ	kW	Hz	%	溢		恢	焰	噉						
	%	cal	¥	\$	¢	£			事務記号		筆記体	a	b	c	d	e	f	g	h
	Ⓜ	am	pm							i		j	k	l	m	n	o	p	
								q		r		s	t	u	v	w	x		
								y		z									

11 資料

11.3 漢字JISコード表

記号

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2 1 2			、	。	，	．	・	∶	∷	？	！	ˆ	˚	˘	˙	˚
3	^	—	—	、	ゞ	ゞ	ゞ	〃	全	々	↗	○	—	—	—	/
4	\	~	∥		…	..	‘	’	“	”	()	[]	[]
5	{	}	<	>	《	》	「	」	『	』	【	】	+	-	±	×
6	÷	=	≠	<	>	≤	≥	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	¥
7	\$	¢	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	
2 2 2		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	≡	

ひらがな

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2 4 2		あ	あ	い	い	う	う	え	え	お	お	か	が	き	ぎ	く
3	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
4	だ	ち	ち	っ	っ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
5	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	り	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
6	む	め	も	ゃ	ゃ	ゅ	ゅ	よ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	わ
7	ゐ	ゑ	を	ん												

カタカナ

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2 5 2		ア	ア	イ	イ	ウ	ウ	エ	エ	オ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
3	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
4	ダ	チ	チ	ッ	ッ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
5	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
6	ム	メ	モ	ャ	ャ	ユ	ユ	ヨ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ワ
7	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	カ	ケ									

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3 0 2		亜	啞	娃	阿	哀	愛	挨	始	逢	葵	茜	穉	惡	握	渥
3	旭	葦	芦	鱒	梓	庄	幹	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
4	粟	裕	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	困
5	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
6	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	忝	溢	逸
7	稻	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3 1 2		院	陰	隱	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鷓	窺	丑
3	碓	白	渦	噓	唄	鬱	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閨	樽	云	運
4	雲	荏	餌	馥	營	嬰	影	映	曳	榮	永	泳	洩	瑛	盈	穎
5	穎	英	衛	詠	銳	液	疫	益	馱	悅	謁	越	閱	榎	厭	円
6	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焰	煙	燕	猿	縁
7	艷	苑	園	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奧	往	応	
3 2 2		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鶯	鷗	黄	岡	冲	荻	億
3	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穩	音	下	化	仮	何
4	伽	伽	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
5	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
6	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
7	介	会	解	回	塊	壞	廻	快	怪	悔	恢	懷	戒	拐	改	
3 3 2		魁	晦	械	海	灰	界	皆	繪	芥	蟹	開	階	貝	凱	効
3	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	湮	馨	蛙
4	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓	擴	攪	格	核	殼	獲	確	穫
5	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	樂	額	顎	掛	笠	檉
6	檀	梶	鰍	瀉	割	喝	恰	括	活	渴	滑	葛	褐	轄	且	鯉
7	叶	椈	樺	鞞	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	嚙	鴨	栢	茅	萱	

11

資料

1 1 . 3 漢字 J I S コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3 4 2		粥	刈	苻	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勸	卷	喚	堪	姦
3	完	官	寬	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歡
4	汗	漢	澗	灌	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
5	莞	觀	諫	貫	還	鑑	間	閑	闕	陷	韓	館	館	丸	含	岸
6	巖	玩	癌	眼	岩	翫	贗	雁	頑	顏	願	企	伎	危	喜	器
7	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3 5 2		機	歸	毅	氣	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3	軌	輝	飢	騎	鬼	龜	偽	儀	妓	宜	戲	技	擬	欺	儀	疑
4	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
5	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
6	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
7	巨	拒	拗	拳	渠	虛	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3 6 2		供	俠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峽	強
3	疆	怯	恐	恭	挾	教	橋	況	狂	狹	矯	胸	脅	興	蕎	鄉
4	鏡	響	饗	驚	仰	凝	堯	曉	業	局	曲	極	玉	桐	籽	僅
5	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
6	謹	近	金	吟	銀	九	俱	句	区	狗	玖	矩	苦	軀	驅	馱
7	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3 7 2		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	衆	栗	縲	桑	鋤	勲	君
3	薰	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
4	契	形	徑	惠	慶	慧	憩	揭	携	敬	景	桂	溪	畦	稽	系
5	經	繼	繫	野	莖	荊	螢	計	詣	警	輕	頸	鷄	芸	迎	鯨
6	劇	戟	擊	激	隙	朽	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
7	俟	倦	健	兼	券	劍	喧	圈	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3 8 2		檢	樞	牽	犬	獻	研	硯	絹	梟	肩	見	謙	賢	軒	遣
3	鍵	險	頭	駿	齧	元	原	蔽	幻	弦	減	源	玄	現	絃	絃
4	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
5	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
6	伍	午	吳	吾	娛	後	御	悟	梧	檣	瑚	碁	語	誤	護	翻
7	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3 9 2		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
4	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
5	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	醉	鉦	砢	鋼	閤	降
6	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	趨	克	刻
7	告	国	穀	酷	鵠	黑	獄	漉	腰	甌	忽	惚	骨	狛	込	
3 A 2		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3	紺	艮	魂	些	佐	又	唆	嵯	左	差	查	沙	瑳	砂	詐	鎖
4	娑	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
5	歲	濟	災	采	犀	碎	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	劑	在
6	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	柵	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
7	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3 B 2		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雜	臯	鯖	捌	鑄	鮫	皿	晒
3	三	傘	參	山	慘	撒	散	棧	燦	珊	産	算	纂	蚕	讚	贊
4	酸	餐	斬	暫	殘	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
5	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
6	死	氏	獅	社	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
7	諮	資	賜	雌	飼	齒	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	

11
資料

1 1 . 3 漢字 J I S コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3 C 2		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3	式	識	鷗	竺	軸	穴	零	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
4	疾	質	寔	蔀	篠	悒	柴	芝	屢	蕊	縞	舍	写	射	捨	赦
5	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
6	酌	积	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
7	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3 D 2		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繡	習	臭	舟	蒐
3	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	從	戎
4	柔	汁	洪	獸	縱	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	肅	塾	熟
5	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
6	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
7	署	書	薯	諸	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3 E 2		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	獎	妾	娼	宵	将	小	少
3	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
4	樟	樵	沼	消	涉	湘	燒	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
5	笑	粧	紹	肖	萑	蔣	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醬
6	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乘	冗	剩	城	場	壤	嬖	常
7	情	擾	条	杖	淨	狀	疊	穰	蒸	讓	釀	錠	囑	埴	飾	
3 F 2		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3	唇	娠	寢	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
4	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
5	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	韌	筍	諏	須	酢	凶	厨
6	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粹	翠	衰	遂	醉	錐	錘	隨
7	瑞	髓	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	楫	菅	頗	雀	裾	

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4 0 2		澄	摺	寸	世	瀨	畝	是	淒	制	勢	姓	征	性	成	政
3	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4	誓	請	逝	醒	青	静	齐	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
5	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	撰	折	設
6	窃	節	說	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	專	尖	川	戰
7	扇	撰	栓	梅	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4 1 2		織	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	踐	選	遷	錢	銑	閃	鮮
3	前	善	漸	然	全	禪	繕	膳	糲	噌	塑	岨	措	曾	曾	楚
4	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
5	双	叢	倉	喪	壯	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	搜	掃	挿	搔
6	操	早	曹	巢	槍	槽	漕	燥	争	瘦	相	窓	糟	総	綜	聡
7	草	莊	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騷	像	増	憎	
4 2 2		臟	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
3	属	賊	族	統	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4	太	汰	詫	唾	墮	妥	惰	打	柁	舵	楫	陀	駄	驢	体	堆
5	対	耐	岱	帶	待	怠	態	戴	替	泰	滯	胎	腿	苔	袋	貸
6	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
7	宅	托	扱	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	珮	蛸	只	
4 3 2		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	豎	迪	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
3	丹	单	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	筭	綻	耽
4	胆	蛋	誕	鍛	团	壇	彈	断	暖	檀	段	男	談	值	知	地
5	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遲	馳	築	畜	竹	筑	蓄
6	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
7	註	酎	鑄	駐	樗	瀦	猪	芋	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	

11
資料

1 1 . 3 漢字 J I S コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4 4 2		帖	帳	庁	弔	張	彫	徵	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
3	聽	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	鈔	長	頂	鳥	勅	抄	直	朕
4	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	拇	搦
5	槻	佃	漬	柘	辻	薦	綴	鋸	椿	潰	坪	壺	孀	紬	爪	吊
6	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
7	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	遞	
4 5 2		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鎬	溺	哲
3	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	軫	顛
4	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
5	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
6	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	棣	棟
7	盜	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	禱	等	答	筒	糖	統	到	
4 6 2		董	蕩	藤	討	騰	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	鬪	働
3	動	同	堂	導	懂	撞	洞	瞳	童	胴	苟	道	銅	峠	鴉	匿
4	得	徳	洸	特	督	禿	篤	毒	独	読	析	椽	凸	突	椽	届
5	鳶	苦	寅	酉	滌	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	吞	曇	鈍
6	奈	那	内	乍	凧	薙	謎	灘	捺	鍋	樞	馴	繩	啜	南	楠
7	軟	難	汝	二	尼	弑	迹	勾	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4 7 2		如	尿	菲	任	妊	忍	認	濡	襦	祢	寧	葱	猫	熱	年
3	念	捻	撚	燃	粘	乃	迺	之	楚	囊	惱	濃	納	能	腦	膿
4	農	硯	蚤	巴	把	播	霸	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
5	俳	廢	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
6	楫	煤	猥	買	売	賠	陪	這	蠅	秤	矧	菽	伯	剥	博	拍
7	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麥	

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4 8 2		函	箱	谿	箸	肇	筍	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	澆	癸
3	醜	髮	伐	罰	技	筏	闊	鳩	嘶	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4	叛	帆	搬	斑	板	汜	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
5	采	煩	頒	飯	挽	晚	番	盤	磬	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
6	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
7	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵琶	眉	美	
4 9 2		鼻	柎	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
3	桧	姬	媛	紐	百	謬	佞	彪	標	冰	漂	瓢	票	表	評	豹
4	廟	描	病	秒	苗	錨	蒜	蛭	鱈	品	彬	斌	浜	瀕	貧	
5	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	富	布	府	怖	扶	敷
6	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
7	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	露	伏	副	復	幅	服	
4 A 2		福	腹	複	覆	淵	弗	弘	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
3	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	篋
5	偏	變	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	媿	弁	鞭	保	舖	鋪
6	圃	捕	步	甫	補	輔	穗	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
7	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4 B 2		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豐	邦	鋒
3	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉞	防	吠	頰	北	僕	卜	墨
5	撲	朴	牧	睦	穆	釳	勃	沒	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
6	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	每	哩	槓	幕	膜	枕	鯖	枉
7	鱒	榭	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	仄	蕪	磨	万	慢	滿	

11

資料

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4C2		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
3	耗	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鷓	棕	婿	娘	冥	名	命
4	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麵	摸	模
5	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	默	目	柰	勿	餅
6	尤	戾	糲	貰	問	悶	紋	門	匆	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
7	矢	厄	役	約	藥	訊	躍	靖	柳	藪	鎗	愉	愈	油	癒	
4D2		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
3	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4	譽	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	搖	擁	曜	楊	樣	洋	溶
5	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謠	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
6	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	來	萊	賴	雷	洛	絡	落	酪
7	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覽	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E2		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	律	掠	略	劉	流	溜
3	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虞	了	亮	僚	兩	凌
4	寮	料	梁	涼	獵	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
5	綠	倫	厘	林	淋	熐	琳	臨	輪	隣	鱗	璠	璠	璠	淚	累
6	類	令	伶	例	冷	勵	嶺	伶	玲	礼	苓	鈴	隸	零	靈	麗
7	齡	曆	歷	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F2		蓮	連	鍊	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	勞	婁	廊	弄	朗
3	樓	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蝻	郎	六	麓	祿	肋	錄
4	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	梓	驚	互	亘	鰐	詫	藁	蕨
5	椀	灣	碗	腕												

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5 0 2		弋	丂	丕	个	丩	、	井	丿	乂	乖	乘	亂	丿	豫	事
3	舒	弋	于	亞	亟	一	亢	京	毫	亘	从	仍	仄	仆	仂	仗
4	仞	仞	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5	佩	佰	侑	佯	來	侖	儘	倪	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	佛
6	俾	倚	倨	倔	倪	控	倅	倅	倣	倡	倩	倬	倭	俯	們	倆
7	偃	假	會	偕	修	偈	做	偕	惚	偷	傀	倣	傅	偃	傲	
5 1 2		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僭	僮	價	僵	儉	僑	儂
3	儘	儕	儔	儕	儕	儕	儕	儕	儕	兀	兒	兌	免	兢	競	
4	兩	兪	兮	冀	冂	回	册	冉	冏	冑	冑	冕	冑	冑	冑	冑
5	寫	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
6	凰	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑	冑
7	劓	剔	剪	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝	剝
5 2 2		辦	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬	劬
3	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸	勸
4	夊	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅	卅
5	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥	厥
6	呀	听	吭	吼	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮	吮
7	咒	呻	咀	嗽	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄	咄
5 3 2		咫	晒	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤	咤
3	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
4	喟	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞	啞
5	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤	嗤
6	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫	噫
7	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤	噤



資料

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5 4 2		圀	國	圍	圓	團	圖	嗇	圓	圪	圻	圯	圼	圽	圿	坏
3	坩	垂	岱	坡	坨	坨	垓	垠	圻	垓	垓	垓	垓	垓	垓	垓
4	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒
5	墅	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒	埒
6	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘	壘
7	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭	夭
5 5 2		奸	妁	妝	佞	佞	妣	妣	姆	姨	姜	妍	姘	姚	娥	娟
3	娑	娜	娉	娉	姍	姍	姍	姍	娶	婢	婪	媚	媪	媪	媪	媪
4	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽	媽
5	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孃	孩	孰	孳	孳	學	孳	孳	孳
6	它	宦	宸	冤	寇	寇	寔	寐	寤	寤	寤	寤	寤	寤	寤	寤
7	寶	尅	將	專	對	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅	尅
5 6 2		屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐	屐
3	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬	岬
4	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯	峯
5	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺	嶺
6	巫	己	卮	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑	帑
7	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟	幟
5 7 2		廖	廣	廝	廚	廬	廢	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡	廡
3	井	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃	弃
4	互	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖	彖
5	徒	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙	徙
6	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙	怙
7	協	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆	恆

11. 3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5 8 2		悄	悛	悻	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
3	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
4	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
6	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
7	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵	悵
5 9 2		戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛	戛
3	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
4	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
5	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
6	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
7	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌	扌
5 A 2		據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據	據
3	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬	攬
4	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收	收
5	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟	斟
6	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨
7	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨	晨
5 B 2		曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄	曄
3	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧	朧
4	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰
5	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰	柰
6	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳	梳
7	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵	梵

11 資料

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5C2		楫	棧	棕	椶	椒	接	棗	棟	桤	棹	棠	楨	桷	椏	櫛
3	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
4	楡	栲	棟	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑
5	榻	檠	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑
6	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑
7	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑	榑
5D2		櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
3	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛	櫛
4	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵	欵
5	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮	殮
6	糜	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈	氈
7	汾	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
5E2		汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨	汨
3	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌	洌
4	淦	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸	涸
5	湮	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂	滂
6	滿	渝	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游	游
7	溥	滂	溟	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁	潁
5F2		漾	漓	滷	澆	潺	潑	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁	澁
3	澎	潘	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂	濂
4	濱	濮	濛	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉	瀉
5	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾	瀾
6	烙	焉	烽	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜	焜
7	煩	熨	熬	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨	熨

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
602		燄	燿	燦	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	俎	片	牀	牆
3	牋	牘	牴	牾	犁	犂	犇	犒	犖	犢	犧	犹	豺	狃	狃	狄
4	狎	狒	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎	狎
5	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥	猥
6	玻	珀	珥	珮	珞	璠	璡	璢	璣	璤	璥	璦	璢	璣	璤	璥
7	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑤	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	瓚	
612		瓠	瓣	舄	舄	瓮	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌	甌
3	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑	萑
4	畧	畫	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧	畧
5	痂	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔	疔
6	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂	痂
7	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰	瘰
622		癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩	癩
3	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
4	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇	眇
5	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜	辜
6	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟	轟
7	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚	碚
632		磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧	磧
3	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕	祕
4	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬	秬
5	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉	穉
6	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶	窶
7	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦	竦



資料

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6 4 2		筐	笄	筍	笋	筌	笈	筵	筥	筭	筭	笱	笊	笊	筵	筵
3	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
4	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
5	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵	筵
6	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
7	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐	籐
6 5 2		紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
3	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
4	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
5	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
7	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂	紂
6 6 2		罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
3	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
4	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
5	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
7	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇	罇
6 7 2		脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍
3	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍
4	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍
5	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍
6	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍
7	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍	脍

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6 8 2		茵	茴	茗	茲	茱	荀	茹	苻	苔	茯	茫	茗	荔	莅	蒞
3	莪	蒼	莢	莖	莫	莎	蒻	莊	茶	菟	荳	葱	莠	莉	苈	菴
4	萱	董	萑	菽	萃	菘	萋	菁	蒔	萇	菠	菲	萍	范	萌	莽
5	萸	菱	蔴	葭	菽	萼	萼	葎	葦	葫	菊	葭	蒂	葩	葆	萬
6	葯	施	蒿	蒨	葢	兼	蒿	蒟	蒞	蒼	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
7	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
6 9 2		蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
3	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
4	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
5	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
6	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
7	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
6 A 2		蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
3	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
4	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
5	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
6	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
7	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
6 B 2		蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
3	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
4	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
5	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
6	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟
7	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟	蒟



葎

11.3 漢字JISコード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6C2		諫	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	讖	讞	訃	詒	
3	谿	豈	腕	豎	豐	豕	豢	豕	豕	豕	貳	貳	貳	貳	貳	貳
4	貌	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍	貍
5	賽	賺	賻	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄	贄
6	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅	赅
7	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟	跟
6D2		蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
3	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇	蹇
4	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
5	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
6	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻	輻
7	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓	迓
6E2		遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏	遏
3	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
4	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈	邈
5	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫	醫
6	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵	釵
7	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔	鈔
6F2		鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚
3	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚
4	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚
5	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚	鎚
6	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏	閏
7	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關	關

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7 0 2		陝	陟	陟	陞	陬	陞	陞	隕	隗	險	隧	隱	隴	隴	隴
3	隶	隸	隹	隹	雋	雋	雍	襍	雜	霍	隹	霄	霽	霽	霽	霽
4	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏	霏
5	靜	靠	醜	醜	醜	勒	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
6	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞	鞞
7	韶	韵	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌	頌
7 1 2		頤	頤	頤	頤	颯	颯	颯	颯	颯	颯	飩	飩	飩	飩	飩
3	舖	餘	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴	飴
4	饑	饒	饒	饒	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮	馮
5	馮	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱	駱
6	駱	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕	驕
7	體	髒	髓	髓	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒
7 2 2		髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒	髒
3	魄	魃	魏	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃	魃
4	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
5	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
6	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓	鮓
7	馱	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩	鳩
7 3 2		鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
3	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠	鵠
4	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
5	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
6	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
7	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚	鸚
7 4 2		堯	楨	遙	瑤											

11

資料

11.4 主な仕様

入力方法	ローマ字/かな入力、英数字入力
かな漢字変換方法	熟語変換、単漢字変換
辞書語数	48,000語
文字種類	<ul style="list-style-type: none"> ●JIS C 6226-1983を基本とする 漢字JIS第一水準約2,900文字JIS第二水準約3,300文字 その他JIS準拠(かな、カナ、英数字等) ●オリジナル記号(単位、電説記号、丸囲み英数字等約270文字)
文字サイズ	2・3・4・6mm(文字天地)、半角・倍角、特殊文字1.3mm(文字天地)
書体	オリジナル細角ゴシック
印刷方式	熱転写シリアルドットマトリクス、印字密度300ドット/インチ
テープカット	自動ハーフカットおよびマニュアルカット(切り離し)
入力文字数	最大499文字(ただし、非ピッチ印刷で1行印字時)
表示方式	LCDドットマトリクス 128×40画素 表示文字数8桁2行 インジケータ付
内部メモリー	語句登録 5文字×30ファイル
外部メモリー	専用メモリーカード LM-MR300 ・・・LM-300と同じカードがご使用になれます。 最大499文字×12ファイル
電源方式	アルカリ単2乾電池×4本、 もしくは付属のACアダプタLM-AD300
外部寸法	200mm(幅)×290mm(奥行き)×62mm(高さ) ・・・LM-360T本体
重量	1.2Kg(携帯ケース、カセット、電池を除いて)
動作保証温度	5℃～35℃(印字保証10℃～35℃、ただし一般の市販チューブを除く)
保存温度	-10℃～45℃(カセット、電池は除く)
オートパワーオフ	約5分間
付属品	<ul style="list-style-type: none"> <li style="width: 50%;">●アルカリ乾電池(単2)4本 <li style="width: 50%;">●ACアダプタ1ヶ <li style="width: 50%;">●テープカセット(5、9mm幅・白)各1巻 <li style="width: 50%;">●チューブカセット(内径3.2、3.6相当)各1巻 <li style="width: 50%;">●インクリボンカセット(黒)1巻 <li style="width: 50%;">●チューブアタッチメント1ヶ

※テープカセット、チューブカセット、詰め替えチューブ、メモリーカードはLM-300専用品が共通にお使いいただけます。インクリボンカセット、ハーフカットユニットはLM310T/360T用をご使用ください。

表示内容	意味と対応
! 高さオーバー	通常の印刷で指定の文字高さで印刷するとテープ幅を越えたり、改行数が多くて入りきれないときに表示されます。
! 印字長オーバー	通常の印刷で「印字長設定」で入力された印字長より文書が長いときに表示されます。
! ピッチオーバー	ピッチ印刷で自動設定で文字を縮小しても入りきらない、または自動縮小OFFで指定の文字高さ・幅では入らないときに表示されます。エラー表示がでなくなるまで文字数を減らしたり、改行を入れてみたり、半角や文字高さを1ランク下げるか等をして下さい。
! 全長オーバー	1文書（区切り無し）の全長が1mを越えてしまいます。
! 行数オーバー	テープ幅に対して改行できる数に上限があります。この上限以上の改行数のときに表示されます。
! 文字数オーバー	確定入力できる文字数はピッチマーク、改行マーク、連番マークを含めて500文字までですが、これを越えて入力しようとしています。
! P ₁ 数オーバー	ピッチマークの入力数が5を越えようとしてしました。
! N ₁ 数オーバー	ピッチ印刷のときに、連番マークの入力数が15を越えようとしてしました。通常の印刷のときは連番マークは1つしか入りません。
! 文字入力エラー	先頭のピッチマークの上に文字を入力しようとしてしました。
! 連番入力エラー	先頭のピッチマークの上に連番マークを入力しようとしてしました。
! カッター異常	ハーフカッターが動きませんでした。新品の乾電池に交換するか、アダプタを接続して電源を入れなおして下さい。その後、カッター部にテープの切れ端や異物がないか、確認してください。
! 電池交換	乾電池の残りが少なくなってきました。お早めに電池を新品に交換してしてください。このまま印刷を続けると、「!カッター異常」になるか、印刷されない文字がでできます。
! 電池不足	電池の残りがなくて、もう動作ができません。
全登録 メモリー初期化	乾電池によるバックアップがないために本体に記憶されている内容が全て消えました。（お買い求めになって初めて電源をONしたときは必ずおこります。）
! カセット 無	カセットがセットされていません。もし、セットしているのでしたら、いまいちど完全に装着されているか、カセットカバーが閉まっているかお確かめください。
! 複写オーバー	複写指定の文字数が50文字を越えました。
! 複写 無	複写の操作がされていないのに貼付を行いました。
! 複写位置 不適	複写キーが押された時にカーソルが P ₁ にありません。
! 貼付位置 不適	P ₁ マークを含む文書をピッチ印刷でない文書に貼付しようとしてしました。

12.1 エラーメッセージ一覧

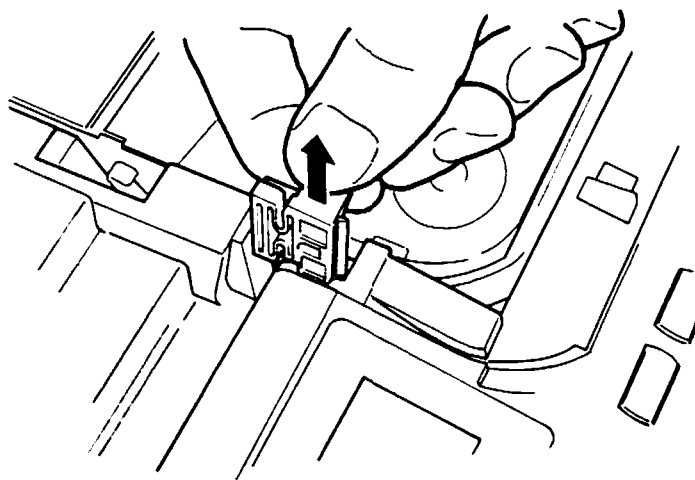
表示内容	意味と対応
! 該当辞書 無	内蔵の辞書にない読みを漢字変換しようとしています。単漢字変換か、JISコード入力で漢字に変換して下さい。
! 登録 不可	語句登録またはメモリーカードへの登録で、入力されている文書がないのに登録しようとしたときに表示されます。また、語句登録で登録できない内容を登録しようとしたり、カーソル位置が間違っているときも表示されます。
! 文書 無	印刷するときに入力されている文書がないとき、メモリーカードから登録文書がないのに呼び出そうとしたときに表示されます。
! 呼出 不可	語句を呼び出すときに、内容が登録されていない番号を指定したときに表示されます。
! 位置 不適	語句登録で登録開始位置がピッチマーク、改行マーク、連番マークのときに表示されます。語句登録にこれらのマークは登録できません。
! 範囲 不適	語句登録の登録終了位置の指定のときに、登録範囲が5文字を越えていたり、範囲の中にピッチマーク、改行マーク、連番マークが入っているときに表示されます。
! 修正 不可	カーソル位置が間違っているときや、入力文書に対して修正変更できないときに表示されます。例えば、特殊小文字で入力されていた文章を別のサイズに修正しようとしたときです。
! カード電池交換	メモリーカードのリチウム電池が残り少なくなっています。お早めに交換してください。
! カード電池不足	メモリーカードのリチウム電池がほとんどありません。この状態では登録ができなくなります。
! データ異常	メモリーカードの登録内容がおかしくなっています。
! データ初期化	メモリーカードを初めてLM360Tに挿入して使うときに、メモリーカードの内容を「初期化」します。この「初期化」を行うとメモリーカードの内容は全て消えてしまいます。(LM300、LM350でご使用になったメモリーカードは初期化されません。)
! カード無	メモリーカードが挿入されていないのにメモリーカードを使用しようとしました。
! イメージ不可	入力文書がなかったり、文字サイズが特殊小文字のときはイメージ表示できません。
! 数値 不適	数値入力された値が入力できる範囲 (min~max) 外です。

12. 2 ハーフカットユニットの交換

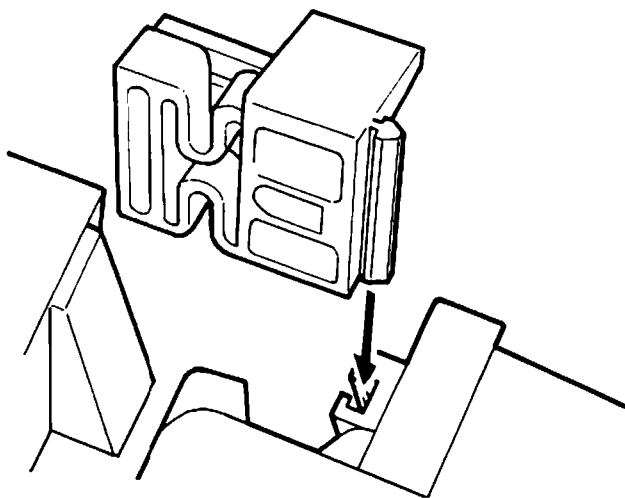
ハーフカッターの寿命は、5000カットが目安となります。

切れなくなったり、剥離紙まで深く切れすぎたりしだしたら、別売のハーフカッターカートリッジ（2枚入り）をお買い求めの上、交換してください。

1. カセットカバーを開けます。
2. 赤いつまみを持ち上げはずします。



3. 新しいハーフカッターユニットのレール部を白いガイド溝に差し込みます。



お願い LM-300、LM-350用のハーフカッターユニット（黄色）はご使用になれません。

LM-310T、360T用の赤い LM-HC300Tをお使い下さい。

LM-HC300Tは、LM-300、LM350でもご使用できます。

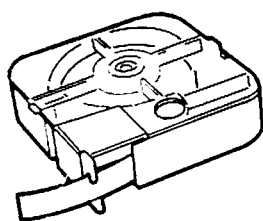
12

メンテナンス

13 消耗品・オプション品一覧

下記の内、◎印品はLM-300専用品が共通にお使いいただけます。無印品はLM310T・360Tの専用品をお使い下さい。

5mm巾／9mm巾 (8m巻) : ¥700
 ◎【テープカセット】 12mm巾 (8m巻) : ¥800



	白	透明	黄色
5mm巾テープ	LM-TP305W	LM-TP305T	LM-TP305Y
9mm巾テープ	LM-TP309W	LM-TP309T	LM-TP309Y
12mm巾テープ	LM-TP312W		LM-TP312Y

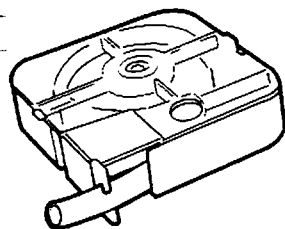
◎【チューブカセット】・白 2m巻き ¥600

- 内径φ3.2mm相当 ○ LM-TU332
- 内径φ3.6mm相当 ○ LM-TU336
- 内径φ4.2mm相当 ○ LM-TU342
- 内径φ5.2mm相当 ○ LM-TU352

◎【詰め替えチューブ】

・白 1.8m巻き10巻入り ¥3,000

- LM-TU332BOX
- LM-TU336BOX

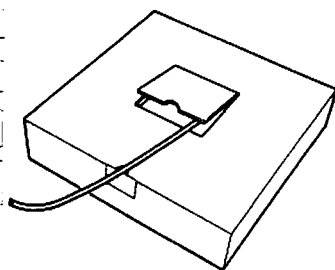


13

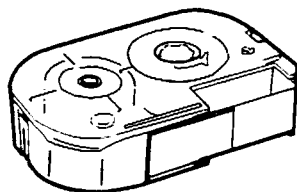
消耗品・オプション品

【マックス丸チューブ】

- 内径φ3.2mm相当 100m ¥2,000 ○ LM-TU332T
- 内径φ3.6mm相当 100m ¥2,000 ○ LM-TU336T
- 内径φ4.2mm相当 80m ¥2,500 ○ LM-TU342T
- 内径φ5.2mm相当 80m ¥2,500 ○ LM-TU352T



【インクリボンカセット】・テープ約4巻分の長さ ¥1200

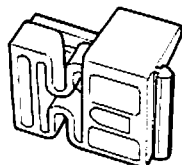


黒: LM-IR312BT

赤: LM-IR312RT

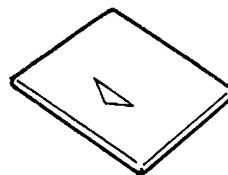
【ハーフカッターユニット】

・1箱2ヶ入り ¥1200



LM-HC300T

◎【メモリーカード】・¥9000



LM-MR300